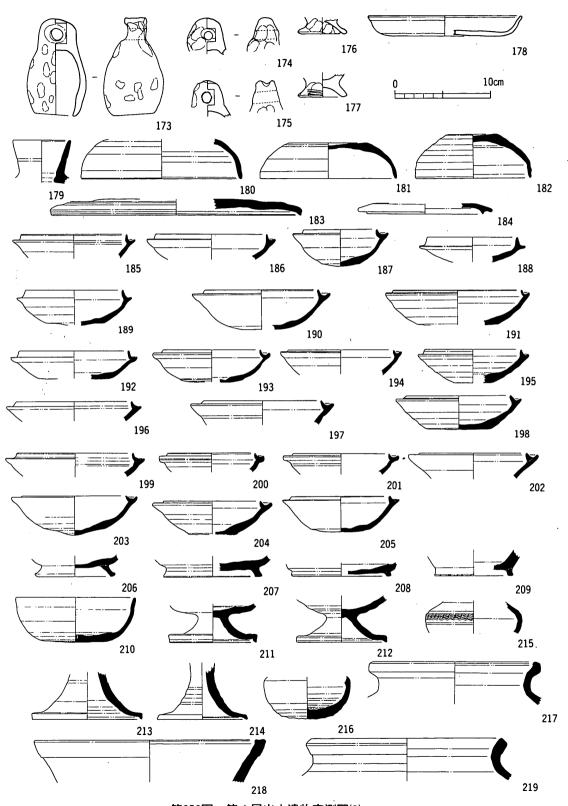


第252図 第4層出土遺物実測図(8)



第253図 第4層出土遺物実測図(9)

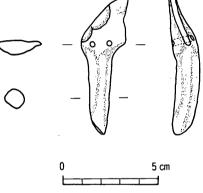
176、177は製塩土器の脚台部である。

(2) 土製品 (第252図169~172, 第253図173~175, 第254図)

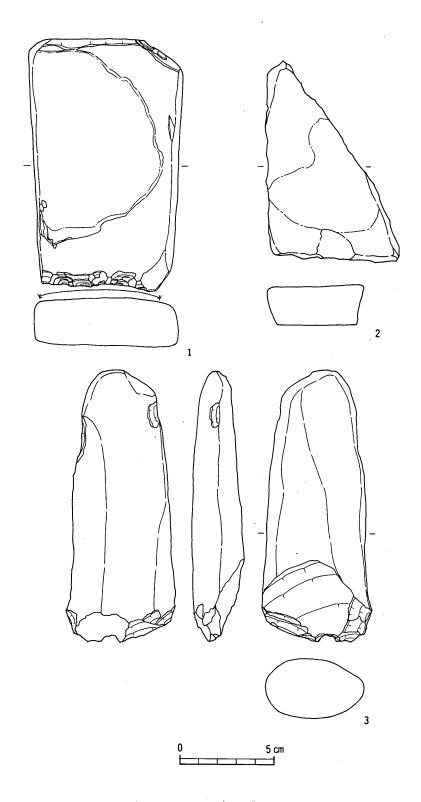
169~172は支脚形土製品と考えられるが、形態は総て異なる。170、172は上面が傾斜することから複数を用いることによって容器を固定したことは容易に推測できる。しかしながら171は両端が共に水平な円筒形であるために単品で用いられたものであろう。169については上部欠損のために使用形態を復元することは難しいがやや傾きを有する点から170、172に類する形態が考えられる。

飯蛸壺形土製品 3 点を図化した。いずれも釣手部に一孔を穿ったいわゆる「釣鐘形」の形態であるが、175の釣手部上端部は凹面化しており、溝状を呈している。釣鐘形の飯蛸壺形土製品の使用形態については、上端部の穿孔に紐掛けをおこなったことが穿孔周辺の摩耗から明らかである。したがってこの溝状部分がロープワークに用いられたことも想像に難くない。なおこの形態の差異を時期差とすることは現状では不可能である。

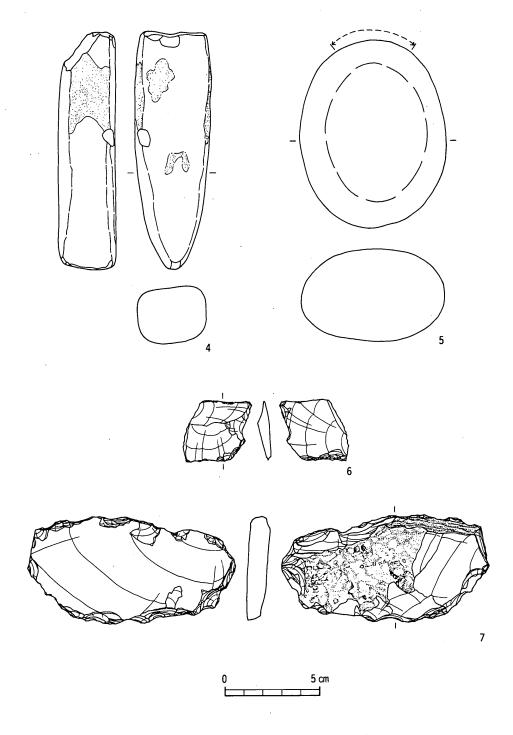
第254図は最大径1.2cmの先端部が細い棒状部分と幅2.4cm以上の扁平な部分から成る土製品である。両部分の接点に径0.2cmの孔が2個並行して穿たれている。



第254図 第4層出土不明遺物実測図



第255図 第4層出土石器実測図(1)



第256図 第4層出土石器実測図(2)

(3) 石器 (第255, 256図)

砥石(1)は全面を加工して方形の板状の形態に成形する。作業面は広い2面と考えられ、長軸方向の使用痕がみられる。

砥石(2)は側面2面に未成形の自然面を残す。広い2面に長軸方向の使用痕がみられる。 磨製石斧が2点出土している。

3の原形は蛤刃の形態と考えられるが、刃部の大部分を欠損している。しかしながら破損後も 剝離調整を施すことにより新たに製品として使用したことが判る。この二次的な刃部の摩耗は著 しい。基部の側縁部に微小ではあるが、凹面化した部位が認められる。これは石斧柄の装着によ り生じた紐擦れの痕跡と考えられる。

4の柱状石斧は中央構造線の断層崖において産出される結晶片岩を原材料としている。全面に 長軸方向の使用痕が認められるが、特に刃部の摩耗が著しく、その鋭利さを留めていない。さら に基部に敲打の痕跡が明瞭な点からくさびとしての使途も考えられよう。基部側縁部に装着時の 紐擦れの痕跡が残る。

5 は砂岩の円礫を成形した磨石である。製作あるいは使用による造岩鉱物の噴出が全面に認められる。側縁部の一端部に敲打痕が残るが、これは磨る使途とともに潰す使途が存在したことを 裏付けるものである。例えば竪果類の調理などに用いられたものと考えられる。

削器と考えられる資料が1点(6)出土している。両側面から剝離調整を施すことにより刃部を形成する。破損以前においては長方形の形態の器形が想定されることから小型の石包丁の可能性を有する遺物である。

7は外湾刃タイプの磨製石包丁を模した打製石包丁である。片面に荒い自然面を残す。抉りは 有しない。

(4) 鉄製品 (第243図 2~10)

2は鏃身部にくびれを有する銅鏃を模した形態の鉄鏃である。鏃身部は厚さ 7 mmを測り, 先端部が丸く成形されているために鋭利さを欠く。この点から殺傷力は決して高くないことが判る。 基部には矢柄の木質部が遺存する。

3は使途不明の遺物である。径0.9cm,長さ3.7cmの棒状部分の両端部が扁平に肥厚する形態であり、特に一端が円形に成形される。肉眼観察のみでは両端部に特殊な造作が存在するか否かを判断することは不可能である。

4,5はヤリガンナである。4は刃部が二等辺三角形を呈する形態であり、中心軸に直交する 方向に弱い湾曲を有する。茎部は長方形の断面形態である。5は刃部の湾曲および反を有しない 形態である。

6 は先端部が尖る棒状の遺物であるが、製品の使途については全く判らない。あるいは残存部分が茎部または基部であり、先端部を欠くものであろうか。

- 7,9についても使途不明である。7は断面形態が長方形の板状の遺物であり、9は端部が屈曲する形態である。
- 8,10は鉄鏃の茎部と考えられる。8は鏃身部の一部が遺存しており、先端部の拡がる形態であることが判る。

(5) 銅製品 (第257図)

銅鏡2面が出土している。

1は外区と極一部の内区が遺存する。外区は平縁の形態であり、幅3.2cm、最大の厚さ0.6cmを 測る。断面形態は台形状を呈するが、内区との境部分の傾斜が縁辺部に比して緩い。外区に施さ れた文様は2条の鋸歯文帯間に2条の平行波文帯を有する複波鋸歯文様である。内区は厚さ0.15 cmを測り、鏡の中心から放射状に櫛歯文様が施される。なお、復元される直径は約18.6cmである。 また、外区の切断部分が両面共に精緻である点から人為的に打欠かれたことも考えられよう。

ところで、当資料については内区の文様帯が全く遺存しないために鏡の形式を明確にすることができないが、平縁の外区に複波鋸歯文が施文される例としては後漢以降の方格規矩鏡に多くを 認めることができる。

2の遺存状態は極めて悪く、外帯と中帯の一部を残すのみである。外帯は明らかに平行しない 複数の弧文が施され、いわゆる重弧文を形成する。中帯は放射状に間隔の広い櫛歯文が施され、 その内部に無文帯が構成されている。

これらの特徴から中帯の無文帯を花文の一部と認定することにより内行花文鏡に類する資料と考えられる。

復元径は16cmを超える。

(6) 土師器 (第253図178)

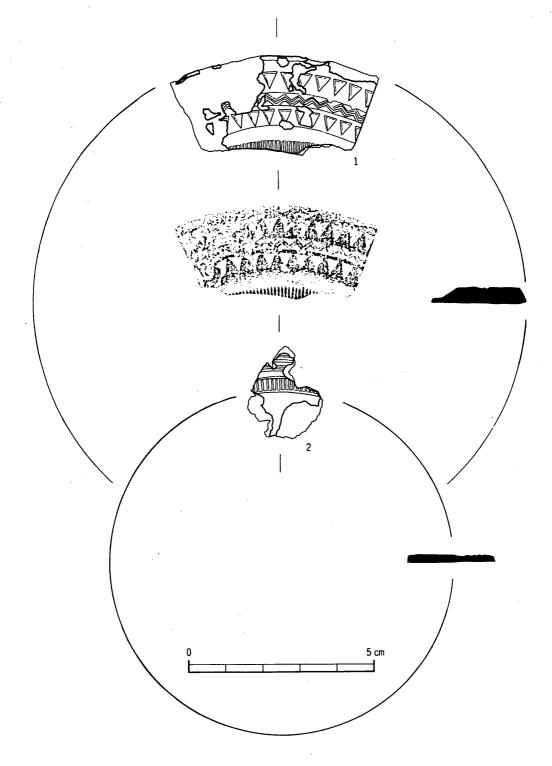
178は赤色に発色する土師器の杯である。口縁端部は内面に沈線を施すことによりやや玉縁状に仕上げる。造作は特に内面において丁寧であり、ヘラミガキ調整後ナデ調整を施す。奈良県平城京跡S K870およびS K2113出土の資料に酷似する器形がみられることから8世紀後半頃の遺物と考えられる。

(7) 須恵器 (第253図179~219)

179は提瓶あるいは平瓶の口頸部と考えられる資料である。

蓋杯

 $180\sim182$ は II 型式第 $4\sim6$ 段階の遺物に類する形態の杯蓋であるが、180については頂部を回転ヘラケズリ調整によって仕上げるが、他は未調整またはナデ調整を施すのみである。この点に製作手段の簡略化がみられる。183は器高は低いが、復元径が26cmを超える大型の器形であり、端部をやや外反気味に屈曲する形態である。8 世紀中頃の時期に比定できよう。185は特に器高が低い。端部内面に小型のかえしを有するが、既にかえしの機能は消失化の傾向にあると考えられる。



第257図 第4層出土銅鏡実測図

III型式第3段階の遺物に類するであろう。

杯身は径10cm前後の小型品が多い。185, 186, 188, 192についてはほぼ直立するかえしを有するが,その他は短く内傾した形態であることから2種類に大別することが可能であると考えている。しかしながらこの形態差を時期差といえるには情報不足の感が強く,性急すぎるであろう。そこで,ここでは共に $180\sim182$ の蓋杯同様II型式第 $4\sim6$ 段階頃の遺物として柔軟な時期幅を与えておきたい。

206~208は高台を有する杯身であるが、杯部については大部分を失っている。206の高台は器壁が薄く、外方へ広く開く形態である。207はやや外方へ開く高台を有する。その器壁は厚く成形されており、安定感のある造作である。208の高台は断面形態が方形を呈し、やや外方へ開く。ただし、高さは低く、小型である。

高杯

214がやや長脚であるのに対して他は短脚の形態である。211にみる様に脚端部を下方に折り返すことにより突出した形態とすることからII型式第6段階の資料と考えたい。

瓱

215, 216は 聴の 胴部の一部と考えられる。

壺

217~219は大型の壺の口縁部である。

(計)

- 1 大山真充他『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報 (WII) 下川津遺跡 II』, 1987年。によると同遺跡において検出された飯蛸壺焼成土城より出土した8世紀前半の飯蛸壺形土製品は総て釣手部に溝を有することが判る。したがって173, 174の形態は8世紀前半までには使用されなくなることも考えられる。
- 2 樋口隆康『古鏡』, 1979年。なお, 本資料については樋口隆康氏(前京都大学)の御教示が得られたので, お礼申しあげたい。
- 3 奈良国立文化財研究所考古第2調査室『平城宮内出土土器標準資料』(プリント), 1974年。
- 4 平城京跡S K2101出土遺物 (750年頃) に類似する資料をみることができる。奈良国立文化財研 究所考古第 2 調査室、1947年。

3. 第4層包蔵の自然礫群伴出遺物(第258図)

11-G区の第4層中において検出された円礫群中より一括出土した弥生土器群について報告する。 壺形土器

1は二重口縁の形態であり、口縁部はやや肥厚気味に立ち上がる。3は大型の器形が考えられよう。

甕形土器

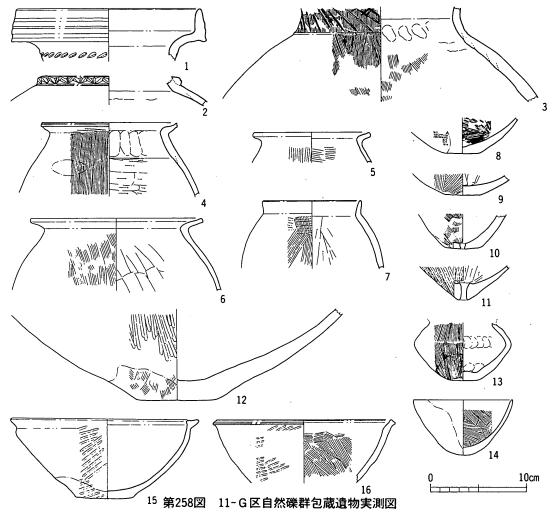
4~6の口縁部はく字に外反し、上端部が、やや突出するために受け口状を呈する。いずれも 肩の張らない胴部形態が考えられる。7はほぼ直立する短い口縁部を有する。

鉢形土器

15は口縁端部を水平気味に広く肥厚する。16については胴部形態は15に似るが、口縁端部はナデ調整を施すことにより若干肥厚する。

その他の器種

甑形土器の底部が2点出土しており、10は平底、11は尖底の器形である。



4. 第3層出土遺物

(1) 弥生土器 (第261図 1~19)

壺形土器

1~5はやや外傾する頸部と水平気味に開口する口縁部を有するが、なかでも2、4の口縁部の屈曲はほぼ直角に近い。端部は上下に肥厚し、端面を凹面化した後に刻目、凹線文を施す。

6, 7は二重口縁の形態である。

髙杯形土器

14は口縁端部を外部へ拡張することにより水平な面を形成する。屈曲部以下の部位に比して口縁部が極めて短い形態である。

鉢形土器

大型品1点を図化したが、口径に比して器高の小さい浅い器形である。

その他の器種

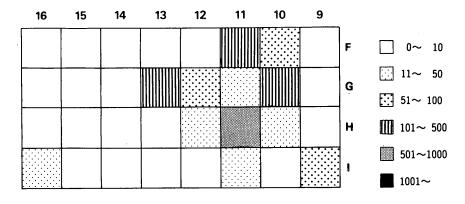
17は小型の甕形土器である。頸部に焼成前に穿たれた1個の孔を有することから,紐掛けを行なって使用したことが想像できる。しかしながら焼成後に底部に穿孔を施したことによってこの遺物の容器としての機能は失われている。この点についてはもちろん単孔式甑形土器として用いられたことも考えられようが,果して焼成後の穿孔による甑形土器の作製は存在するのであろうか。また遺物が小型品であることも実用的ではないことを意図しているものと思われる。しかしながらこれらの点については解決し得ていない。

18は鉢形土器の小型品である。短い頸部を有する。

19は珠算玉形の胴部を有する小型の壺形土器である。外面はヘラミガキ調整により丁寧な仕上げが施されている。

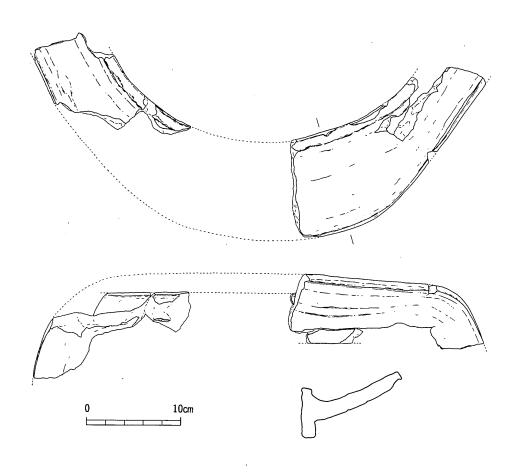
(2) 土製品 (第260図, 第262図21, 22)

釣鐘形の飯蛸壺形土製品2点が出土している。いずれも釣手部上端部に溝を有する形態である。

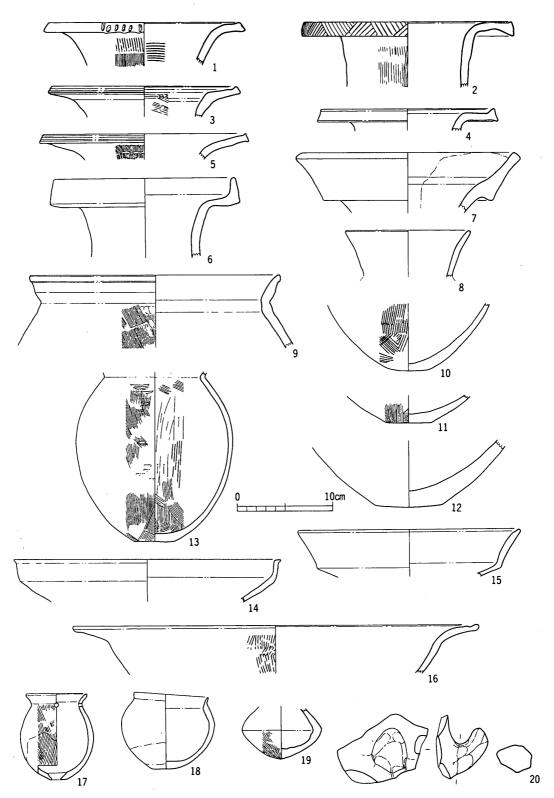


第259回 第3層弥生土器地区別分布図

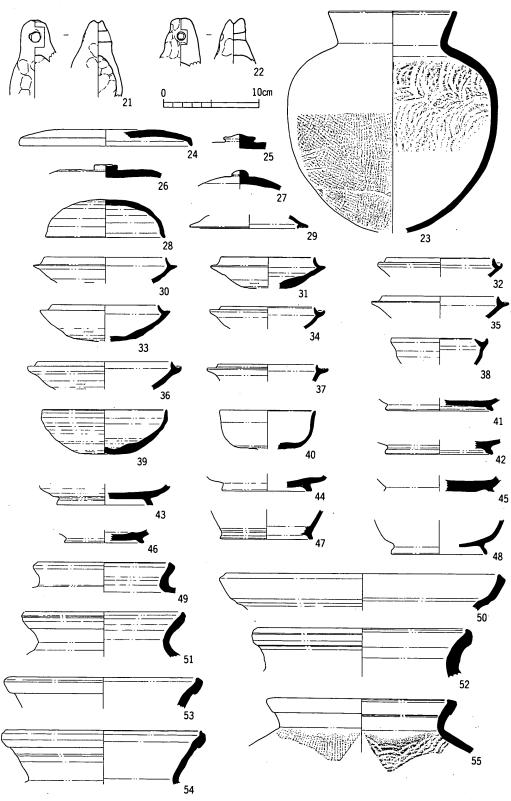
移動式の竈 (第260図) が出土している。全面のひさし状の部位と炊き口、煮沸容器を固定する部位の一部が遺存するのみであるために原形を復元することは難しいが、ひさし状部位の最高部が本体の上端部を超える規模である点が特徴である。ところで、上端部の復元径は約38cmを測ることから大型の容器の煮沸に用いられたことが推測できる。しかしながら、煮沸容器としての釜、甑などの器種とのセット関係を把握する資料は得られなかった。本資料は時期の明確な遺物を伴っていないために時期を特定することは不可能である。



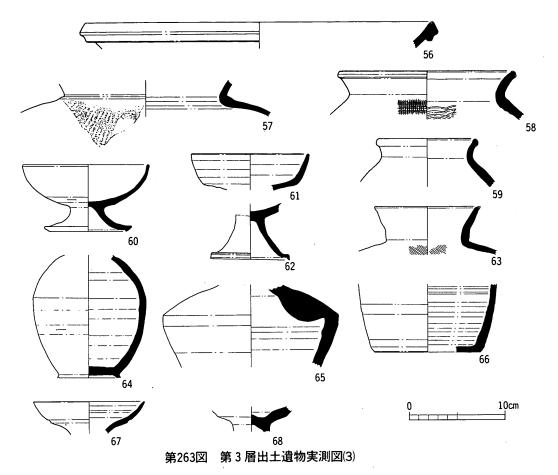
第260図 第3層出土竈実測図



第261図 第3層出土遺物実測図(1)



第262図 第3層出土遺物実測図(2)



(3) 石器 (第265図)

砥石(1)は厚さ3.4cm前後の板状の形態であり、両側面を作業面としている。

2は直刃を有する長方形の形態の抉入り打製石包丁である。側縁部について両面から剝離調整 を施すことにより刃部を形成しているが、既に摩耗が著しい。さらに背部についても原石から剝 片を採取する段階において鋭利なエッジが形成されており、しかも細かい剝離調整が施されてい るために刃部としての利用も十分可能であると考えられる。

(4) 鉄製品 (第243図1,14)

1は使途は不明であるが、円形の断面形態を有し、先端部ほど細い成形である。先端部の屈曲 は実用によって生じたものと考えられる。

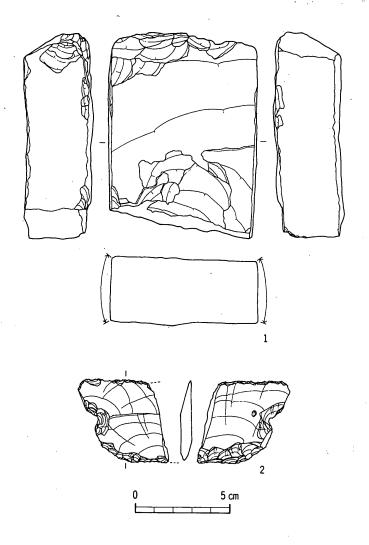
なお出土層序は明らかでないが、本調査開始当初の試掘調査により出土した鉄鎌1点(14)を 報告しておきたい。先端部と基部を欠くが、身部に湾曲が認められる。

(5) 黒色土器 (第264図)

椀形の器形である。著しく摩耗しているために高台部が原形を保っている か否かは判然としないが、現存する高台部の断面形態は稜線の不明瞭な逆台 第264図 第3層出土 形状を底する。



黒色土器実測図



第265図 第3層出土石器実測図

(6) 須恵器 (第263図23~68)

蓋杯

杯蓋24は末端部を折り返す形態である。8世紀中頃の年代が与えられよう。25~27の宝珠つまみは既に機能を失い,形骸化の過程にあると考えられる。29のかえしについても小型化しており,その実用性は弱い。

杯身30~40は口径10cm前後の浅い器形である。かえしが内傾する点と小型化する点が特徴である。II型式第6段階の遺物である。

41~46は高台部を有する杯である。高台部はやや外部へ開く形態を呈する。 48は椀形の器形が考えられる。

壺

23,49~58は大型の器形である。特に遺存状態の良好な23は肩の張る球体状の形態を呈する。 また53~56の口縁部は端部を肥厚して方形に成形する。59は玉縁状の口縁部を有する短頸壺である。

60は杯部に屈曲部を有しない器形である。脚部は短い形態であり、端部を内部へ折り返す。

長頸壺

64は長胴の形態を呈し、小型の高台部を有する。65は肩の張る器形である。

瓱

67は受け口状に開口する口頸部である。

68については使途が判然としない。

第7節 小 結

1. 検出遺構の時期考察

本項では特に本文中において言及することのなかった竪穴住居跡,集石墓,壺棺墓の構築あるいは廃絶(埋没)の時期について明らかにすることを試みる。また文末において掘立柱建物跡の時期比定について再度触れたい。

まず最初の課題について結論を先に述べると既に筆者が竪穴住居跡と集石墓の伴出遺物の報告に際して「弥生土器」の名称を用いた様に基本的には前3者の遺構の伴出遺物が弥生時代後期に製作されたことを想定している。さらに他地域との関連における時期比定を要求された場合には、「畿内第5様式の新しい段階」もしくは「上田町I式前後の型式」に併行する遺物が多いのではなかろうかと考えていることにまで踏み込むことが現状では可能であると考えている。もちろんこの発言の無責任さについては当然批判されるべきではあるが、以下にこの問題が発生する原因について触れることにより、同時期の遺構の時期決定の難しさについて認識する。

上記の問題点が起因する第一の要因としては,香川県下における弥生時代の土器による編年研究が著しく停滞している現実があげられよう。なかでも近年弥生時代前期あるいは中期後半から後期前半に至る時期についてはややまとまった資料が蓄積されつつあると言えるが,後期後半頃に比定できる良好な資料の発見についての情報を聞く機会には恵まれていない。したがって1966年に提唱された「第七様式原式」の概念を無視し難い状況であると考えられる。さらにこの問題に拍車をかけているのが弥生時代以降の土器編年が確固としていない点と資料報告者の多くがいわゆる「庄内式」に翻弄されている問題であろう。とりわけ後者の点については「庄内式」に対して個々の報告者が任意の理解を行なっているために収拾がつかない実態がある。この問題は既に都出比呂志氏によって指摘されており,現在の香川県における同型式に併行する土器の研究は氏の見解当時の段階を超えていない様に思われる。以上の点を打破しない限り本遺跡の個々の遺構について相対的な年代を与えることは困難であり,筆者も本報告においてこれらを解決することを怠ったことが事実である。

そこで上記の現実に基づき,各遺構の時期比定を行なう際に留意すべき点について以下に略述 しておきたい。

竪穴住居跡については床面に遺された遺物のみを廃絶時期を示す資料として用いることにする。 しかしながらSB01~04については良好な資料が遺存しないために床面から遊離した位置におい て出土した遺物をも埋没過程にあった時期を示す資料として準用する。

SB01の第94図 9~12より小型の鉢形土器に平底と丸底の形態が共存していたことが判る。埋

土の下位出土の甕形土器(第94図 3)は坂出市高屋遺跡に類例をみることができる。SB02出土の高杯形土器(第94図16)の脚端部には凹線文が施されており弥生時代中期後半以降の技術的系譜が考えられる。SB03については第94図20の壺形土器がほぼ完存していたがその位置付けを行なうことはできていない。ただし当遺構の埋没後にその上位にSX04(旧河道)が形成されたことから先後関係は明白である。ところでSX04出土の甕形土器2点(第196図 4 , 5)は長胴の形態であり、平底を有している。さらに胴部外面はタタキ目調整後にハケ目調整を施すことにより前者の痕跡を消すことを意図していることが判る。なおこの形態と成形・調整技法は後期前半頃に位置付けられる畿内西ノ辻 I 式の甕形土器にみることができる。SB05には複数の異なる系譜の甕形土器が遺存しているが,第99図 5 と 6 ~8 の 2 者が特筆される。前者はやや球形を呈する胴部と複合口縁部を有する。後者はSB01の埋土中に包蔵されていた遺物(第94図 3)に同一の器形である。しかしながら両者に共通する技法上の特徴は胴部内面にへう削り調整を行なう点である。また出土した壺あるいは甕形土器の底部は平底が主体である。さらに高杯形土器の杯部は屈曲部以上の部位が屈曲部以下の部位に比して短い形態であるが,この形態は明らかに弥生土器の特徴である。

次に集石墓の伴出遺物について構築時期を特定するために必要な要素を抽出する。検討資料としては主体部あるいは墳丘直下に穿たれた土拡の内部に埋没していた遺物と封土の下位に包蔵されていた遺物を主として使用する。これは同遺構が墳丘を有することから地表面下に完全に埋没することが漸時的であったことが推測でき、しかも総ての遺構の上位に後世の包含層が存在するために封土上位の石材の間隙から出土した遺物には構築後の遺物が混入していると考えられるためである。

ST11の主体部の甕形土器 2 点 (第107図 4, 10) のうち後者の内面にはヘラ削り調整の痕跡が認められる。壺および甕形土器の底部は平底の形態が主体である。ST12についてはまず封土中に包蔵されていた壺形土器に加飾された資料が多い点が特徴である。また土城内部より出土した壺形土器 (第111図24) の口縁端部には凹線文が施されている。さらに甕形土器 (第112図36~41) は胴部内面にヘラ削り調整を施し、口縁端部を横位にナデることにより上端部を「つまみ上げ」気味に成形している。この成形・調整技法は畿内上田町 I 式の資料の特徴とされている。土城伴出遺物 (第113図66) は前述のSB01,05においても伴出している。底部の形態については完全な丸底の資料は見出せないが、やや丸底を呈する資料が存在することが判る。なお第115図112~115の高杯形土器の形態は高松市葛谷遺跡の遺物に類例を多くみることができる。その他の同器形についても屈曲部以下の部位が屈曲部以上の部位を凌駕する点に弥生土器の特徴を指摘できよう。ST13伴出の壺形土器には口縁端部に凹線文を施した資料がみられる(第120図 2,4~7,12,13,25)。第122図57~64,74,75の甕形土器は口縁端部を横位にナデて、上端部を「つまみ上げ」

る形態である。さらに複合口縁を有する器形 (第123図90~95) が共伴する。底部の形態について は依然平底が主体であるが,下胴部から底部にかけての変化点が不明瞭な資料を封土中にみるこ とができる(第124図115~117, 120, 121)。封土中位に包蔵されていた高杯形土器の小片(第124 図125) はST12の資料(第115図112~115)と同形態と考えられる。ST14の壺形土器の特徴は 長頸の器形(第128図10, 11)と複合口縁の器形(第128図12~21, 24)が少なからずみられる点 と言えよう。また直立あるいは外反する長い口縁部を有し, 肩部に突帯を貼付する大型の器形(第 129図49,第130図50~54)が多く出土しているが,この形態は壺棺墓の棺身として用いられてい る(ST03,06,07,10)ことが判る。甕形土器は胴部外面にタタキ目調整を施した後に,細い 原体によるハケ目調整を丁寧に施している。底部は完全な丸底の形態をみることはできない。高 杯形土器については杯部の屈曲部以上の部位が屈曲部以下の部位に比して短い形態である(第134 図127, 128, 130)。ST15の構築時期を検討する手がかりは少ないが,SB04の上位に所在する ことから前者が後出する事が判る。ST16伴出の壺形土器には長頸の形態 (第142図 $1 \sim 3$) が存 在しているが,畿内においては長頸壺形土器は弥生時代前半以降は用いられなかった器種である とされている。甕形土器は複合口縁の形態が特徴である。外面は細いハケ目調整、内面はヘラ削 り調整が施される。ST17は甕形土器に球形気味の胴部形態を呈する資料(第147図17,第148図 18, 19, 22~24)が存在することから他の遺構に比して,やや後出したのではなかろうか。ただ し,本遺構伴出資料と「庄内式」あるいは「布留式」との併行関係の検討が時期焦躁である点に ついては前述した。ST18の第1号主体部内に遺存していた壺形土器には口縁端部に凹線文を施 文した資料(第151図 5 , 6 , 18,第152図28)とヘラ描鋸歯文の施文および円形浮文の貼付によ り加飾した資料(第151図15)をみることができる。さらに第153図45~49の甕形土器は口縁上端 部を「つまみ上げ」た形態を呈する。第1号主体部伴出の高杯形土器(第156図104)の形態は寒 川町森広遺跡群出土資料に同様の器形が存在することが知られている。ST19の甕形土器(第162 図6,7)は胴部内面にヘラ削り調整を施す特徴を有する。

さて壺棺墓の構築時期を検討する上でST02,03,04,08によって構成される第1群とST01,05,06,07の第2群の存在を無視することはできないであろう。すなわち同一のグループを構成する遺構については、相互の存在を意識することが可能な程度の近接した時期に構築されたことが考えられるのである。この仮説に立脚して第1群に用いられた壺形土器についてみると3種類の形態が共存していたことが判る。ST02とST04の棺身(第169図2,第174図)は最大径が胴部中位に位置するために、やや球形を呈する形態であり、ST03とST08の棺身(第171図2,第184図)には肩の張る器形が用いられている。ただしST08の資料は長胴の形態である。またST08の棺蓋として用いられた壺形土器(第185図)は最大径が上胴部に位置しながらも、肩の張らない器形である。

一方第2群の棺材として用いられた大形の壺形土器はいずれも最大径を上胴部に有し、やや肩

の張る器形であることと完全な平底の形態である点において酷似していることからほぼ同時期に 作製された資料であることが想定できよう。したがって第2群の伴出遺物の形態上の特徴に留意 することにより上記の仮説の裏付けを行なうことが可能であることが判明した。

ところで両群の相対的時期比定については、ST04およびST07より伴出した甕形土器の胴部の内面にへラ削り調整が施される事実から畿内上田町I式に比定される資料に類すると考えており、前述の集石墓の構築時期と大差がないとの結論に至ったのである。なおグループを構成しないST09とST10の構築時期については前者の棺身の壺形土器の形態が第2群の資料に類し、後者の棺蓋に用いられた鉢形土器がST05の棺蓋の資料と形態的に合致する点から第1、2群の構築時期との時間的な隔たりはないことが判る。

最後に掘立柱建物跡($SB06\sim10$)の構築・廃絶時期について改めて記述するが、構築時期については柱材の設置と同時に埋没あるいは埋設したと特定できる遺物が伴出していないためにこれを比定することは不可能である。廃絶時期についても遺存状態の良好な遺物を伴出しない点と複数の時期に比定できる遺物が共存する点などから結論付けることが極めて難しい。唯一SB07についてのみ 6世紀後半に至るまで機能していたことが推測されるのみであり、他の 4棟については SB07との先後関係は判然としない。ただし SB06, 08については SX13 (胞衣埋納遺構)との関連において平安時代初期に営まれた可能性を示唆することができた。

2. 埋葬遺構の考察

① 弥生時代の埋葬遺構の形態分類研究略史

弥生時代の埋葬遺構についての研究は、まず九州地方の資料の整理に端を発したが、その後、中国地方、畿内、関東地方などにおいても特異な墓制が知られることとなり、それと並行してこれらを弥生時代の社会のなかに位置付けようとする作業が活発化したのである。

特に考古学的研究方法の第一段階である形態上の特徴による分類作業に携わった研究者は多く (世10) (世11) (世12) (世13) (世13) (世15) (世

そこで、本稿においては現在知り得る墓制を整理し、稲木遺跡の埋葬遺構、とりわけ集石墓の 意義付けの序としたい。

まず、藤田氏は1966年、当時知られていた資料を1甕棺墓、2土壙墓、3箱式石棺墓、4支石墓、5木棺墓、6配石墓、7その他の埋葬跡に類別した。この分類方法、呼称法が総括的な研究の第一歩と考えられる。さらに岡山県において弥生時代から古墳時代の過渡期の埋葬遺構である

楯築遺跡の調査に携わった近藤氏は1977年に墳丘墓の概念を提唱したのである。しかしながら,前述の様にその後各地において新資料が知られるに至った。このため1979年の甲元氏の論考には上記の7形態に加えて方形周溝墓と方形台状墓の呼称が新たに登場したのである。なお1980年に西谷氏が日本の弥生時代の墓制と朝鮮半島の無文土器時代の墓制とを比較することにより,両地域間の交流の実態を追求した成果は新資料の類別という役割は果たせなかったものの,埋葬形態の系譜の研究として特筆すべきであると考えている。

不十分な研究略史ではあるが,以上により今日に至るまでの弥生時代の墓制の類別研究の大略 を知ることができると考えている。

② 集石墓について

(1) 形態の特徴

稲木遺跡において確認された9基の集石墓に共通する形態上の特徴は、平面形態が不整形な円 形もしくは方形を呈する点と低い墳丘を有する点である。ただし、前記の点については必ずしも 全ての墳丘の遺存状態が良好とは言えず、しかも後世の攪乱と削平により石材の散逸が著しいた めに明確な平面形態は決定し難い事実が存在している。

しかしながら、この条件下においてST14の南辺部および西辺部に供献されていた鉢形土器は原形復元のために貴重な情報をもたらしたと考えられる。既に本文中に報告したが、ST14件出の5個体分の完存する鉢形土器は4個体が墳丘の南辺部に東西方向にほぼ直線的な列を形成して配置しており、他の1個体が西辺部に遺存している。すなわちこれらの配置は南西隅部を頂点としたL字形を呈している。これは墳丘の原形が方形を呈していたことを裏付けていると考えられよう。もちろんこれに類する資料は他の遺構においては確認されていないために特殊な要素である可能性は否めないが、方形の形態に構築された遺構が存在していたことは間違いない。

第二の墳丘を有する点については、封土と基盤土壌を分離することが全く困難であることから 他所から土砂を運搬したとは考えられない。遺構の構築地点において周囲の土砂を搔き集めたも のであろう。

ところで、弥生時代の種々の埋葬遺構例において集石墓の有する最大の遺構要素がこの墳丘を伴う点であると考えられる。既に墳丘を有する埋葬遺構としては方形周溝墓、墳丘墓、台状墓などが知られているが、これらは主体部を構築するために基盤層を整形し、あるいは土盛を行なうのである。すなわち、主体部を地表面よりも高所に営むことを目的としていることが考えられる。

ところが、集石墓は主体部の営造後に封土が形成されるために基盤層直上面における形状についてはST20~22にみる土城墓と何ら異ならない。この点から封土は、埋葬遺構の存在の標示を目的として形成され、墳丘を有する点と墳丘の存在による遺跡地内の空間の独占により、土城墓、壺棺墓とは異なる性格の遺構として現出したと考えられる。遺構の性格が被葬者の個性を決定する際の手掛かりとなることは言うまでもない。

筆者は集石墓の墳丘に与えられた意識と同一の目的を内在する埋葬遺構としては,支石墓の大型の石材と配石墓を構成する石材などがあると考えている。

さらに墳丘が有する性格にはいわゆる墓前祭祀(ここでは墓上祭祀と呼ぶべきか)の場としての役割が想定できる。この点については(3)伴出遺物の特徴の項において詳述したい。

(2) 構造の特徴

上部構造である封土は、特にその上面に自然石の円礫を多量に集積する点を特徴とするが、墳丘中央部にみられる石材が大型である点を除き、石材の配置に規則性は認められない。また、後出する古墳に設けられる墳据の外護列石と同一の目的を有する石材も存在していない。したがってこれらの特徴から墳丘の構築に際しては特異な技術あるいは企画性が用いられることがなかったことが判る。ただし封土中に包蔵される石材に比して墳丘上面に被覆される石材の量が圧倒的である事実は、円礫を利用して墳丘を構築すると同時に外表面を保護する葺石様の施設としての意図が考えられる。

またST12,13の墳頂部に最大規模の石材を設置される点については本文中において標石としての用途の可能性があることを指摘したが、弥生時代の墓制において標石を有する遺構は支石墓に例がみられるのみである。しかしながら支石墓に標石を要するのは、主体部が地表面下に埋没するためにその存在を視覚に訴える必要性があることに起因していると考えることが自然であろう。ところが集石墓は既に墳丘を有する点において視覚的なアピールを満たしていると言える。しかも個々の遺存状態はともかく、全ての遺構にこの種の石材が認められなかったことから、標石としての性格はもとより、存在の有無が遺構の特殊性を意図することも念頭にいれておく必要があろう。

S $T11\sim13$, 16, 18については封土を除去した後に,基盤層上面において土址が検出されている。しかしながらST12検出の不整形な長楕円形の土址については,検出位置が南部の墳裾下である点から埋葬施設としての主体部であるとは考え難い。一方,他の4基が有する土址は全て墳頂部直下に穿たれることから主体部と考えることが妥当であろう。ただし形態,規模は個々に異なっており,とりわけS T18の第1 号主体部が最大規模を測る。また,これらの主体部は基盤層を穿っただけの簡素な形態であり,壁面および床面には全く他の施設を有しない。

主体部は埋土中に夥しい量の自然石を包蔵しているが、とりわけその上位に密集して堆積した 状態が認められる。これらは遺体の腐食に伴い封土中より沈下したものが大部分を占めていると 考えられるが、一部は遺体の埋納に用いられたものであろう。したがって土址の上位から検出さ れた礫群については、蓋石様の性格を持ち合わせるのではなかろうか。

なお、基盤層直上には主体部としての土址および性格不明の土址以外に施設を有しておらず、 方形周溝墓の周溝にみる埋葬施設と外部を区画する施設が設けられることがない。

(3) 伴出遺物の特徴

墳丘上面と封土内部より多量の弥生土器片が出土している。しかも大部分が遺存状態の良好な 細片であることから、これらは墳丘の構築時に封土中および石材の間隙に人為的に投棄され、混 入したことが考えられる。特に墳丘上面において採取される遺物量が封土中に包蔵されるそれを 卓越している。

墳丘上面より出土した遺物について注目すべき点の第一はST14、16、17の墳頂部および墳裾部において検出された土器群の存在である。これらの群を形成する遺物には原形に復することの可能なものがあり、さらに原位置を保っている。したがって遺構の構築時には、完形の遺物を埋設したこと、あるいは他所または出土位置において破壊した後に遺物を集積したことが考えられよう。この点については既に第3節-3-⑤-4件出遺物概要の項に報告したが、ST14南西辺部に埋設されていた5点の鉢形土器の遺存状態とは明確に異なる事実から、破壊した遺物を集積して「供献」したものと結論付けた。

日常生活に不可欠な遺物を破壊することにより、実用性を抹消する意識は、土器棺として用いられた壺形土器の頸部以上の部位を打ち欠くこと、あるいは土器の胴・底部に焼成後の穿孔を施す意識に共通すると考えている。これらの意識はST11の墳頂部に倒立状態で埋設されていた頸部以上の部位を欠いた壺形土器、ST12の墳丘上面より出土した大型の壺形土器の口縁部などにも認めることができる。さらには多量に出土する弥生土器片についても、人為的に破壊した後に混入したと考えられるのではなかろうか。

第二にST14の5点の完存する鉢形土器について考えてみたい。これらは全て口縁部を上にして南辺部および西辺部に埋設されている。もちろん墳丘構築時には露見していたことは疑う余地はない。ところが土器内部に内容物が遺存していないことから実用に供せられたものか否かは明らかにすることができなかった。しかしながらその配置がほぼ直線的なL字形を呈していることから墳裾を明示する目的を有していたことは想像に難くない。さらにその使途についてはいわゆる墓前における何らかの儀式に用いられたとすることが可能である。ただし、この仮説は実体を有しないために安易な憶測の域を越えないものであることを明言しなければならない。

ここで主体部に包蔵される遺物が希少である点について触れておきたい。主体部の調査により 採取された遺物は少量の弥生土器片のみである。これらは遺体の埋葬時において土砂とともに混 入したと考えられ、副葬遺物として埋納されたものではない。これは特に畿内における弥生時代 の埋葬遺構が副葬品を有しない事実に共通する。

最後に伴出遺物の内容について検討を加える必要があろう。最多数を占める遺物は壺・甕・高杯・鉢形土器,支脚形土器などの普遍的な弥生土器であるが,他に非日常的性格を有するいわゆるミニチュアの模造土器,器台形土器などが混在している。また製塩土器を包蔵する遺構をも存在する。さらにこれらの土器類と土製品類に加えて少量の石器,石製品,鉄製品が伴出しており、なかでもST18の墳丘上面より出土した管玉は集石墓伴出の石製装身具類としては唯一の資料で

ある。すなわち伴出する遺物の内容については日常的な生活遺物を主にするが、非日常的あるいは非実用的な遺物をも若干混入していることが判る。しかも前者のなかにも製塩土器にみる特殊な使途を有する資料が見出せる。

ところで本報告資料は弥生時代後期の埋葬遺構に日常的な遺物、とりわけ弥生土器の普遍的器種を相当量伴出する例として類例は多くない。また後出する出現期の古墳に副葬される遺物が非実用品と考えられる儀器類および特殊品を主とすることからも明らかに両者の間には副葬についての意識の隔絶を認めることができる。

③ 善通寺市域の弥生時代後期の埋葬遺構例

本稿では4稲木遺跡C地区の位置の考察に至る予備段階として、稲木遺跡に近接して立地する 同時期の埋葬遺構例の整理を行ないたい。しかしながら現善通寺市域において同遺構の調査例は 少ない。また筆者の怠慢により、既に滅失した遺跡についての情報の収集、および未報告資料の 調査はほとんど実施していないことをあらかじめ断っておく必要があろう。また第1章第3節2 周辺の遺跡の項において詳述した遺跡については一部重複する。

(1) 石川遺跡

善通寺市内に在住しておられ、当遺跡の資料を採集・保管されている盛岡俊秀氏よりの聞き取り調査の結果、かつて土器棺と考えられる大型の壺形土器が出土していたことが判った。この遺物については現在同氏の手元にないために、筆者は実見し得なかったが、氏の所有されるその他の弥生土器の大部分が後期に属することから、この土器棺墓についても同時期に営まれた可能性が強い。ただし不時の発見によるために遺構に関する記録類は一切存在していない。

(2) 稲木遺跡 D地区

前述の県道改良工事に伴う発掘調査により、弥生時代終末期の小型の竪穴式石室様の遺構 1 基と壺棺墓 1 基、および埋葬遺構の可能性を有する周溝を穿った遺構 1 基が検出されている。特に小型竪穴式石室様の遺構は長楕円形の土城内に人頭大の自然円礫を積上げて側壁を築き、遺体の頭部に当たると考えられる短側壁面にのみ安山岩の板石を直立させている。床面の規模は長径182 cm、短径62cmを測る。また検出時において既に側壁面の上位が露見したために、蓋石の存否および上部構造の有無については全く不明である。

なお本遺構出現に至る社会的背景については明らかにされていないが、稲木遺跡 C地区に隣接 して所在する遺跡でありながら、両者に異なる埋葬形態が存在していたことに注目しなければな らないであろう。

(3) 九頭神遺跡

昭和62年度の調査により弥生時代後期末頃に構築された箱式石棺墓1基と小児壺棺墓2墓が検出されている。さらに不整長方形の平面形態を呈する集石遺構が調査されており、調査を担当された笹川龍一氏は墓様の性格を与えておられる。この遺構については前述の3基の遺構よりも若

干遡る時期の遺物を伴出するが、やはり弥生時代後期に構築されたことが判る。これらの埋葬遺構のなかでも特に注目したいのが箱式石棺墓と集石遺構である。前者は検出時において既に蓋石の大部分を失っていたために、上部構造の詳細は不明である。側壁の材としては安山岩の板石と砂岩の円礫が用いられており、短側壁が円礫のみで構築されているのに対して、長側壁には両者が混用されている。この点から安山岩の不足を円礫で補ったことが推測できるが、周辺地域において同形態を有する遺構の存在は知られていない。後者は稲木遺跡の集石墓あるいは集石遺構に酷似した遺構と考えられる。基盤層上面に自然石の円礫と弥生土器片を多量に集積するが、その周囲および直下には他の遺構を伴わない。

現善通寺市域に分布する弥生時代後期の埋葬遺構を伴った遺跡のなかで、箱式石棺墓と土器棺墓が共存する遺跡としては後述する仙遊遺跡が知られている。しかしながら両遺跡ともに調査範囲に制限があるために遺跡の構造については未解決と言わなければならない。

(4) 旧練兵場遺跡

遺跡の全体像が明らかでないことは既に紹介したが、従前から箱式石棺墓と土器棺墓に用いられたと考えられる大型の壺形土器が多数出土している。しかも広範囲に及ぶことから当地域における埋葬遺構を伴った遺跡としては最大規模を有するのではなかろうか。

(5) 仙遊遺跡

箱式石棺墓1基と小児壺棺墓3基が調査されたが、後者のうち2基は破壊が著しいために資料化されていない。箱式石棺墓は安山岩の板石を用いて床面、側壁面、蓋石を構築しており、内径が長径166cm、短径48cmの規模を有する。使用された石材の多くには人面文、直弧文系の文様などの種々の文様が線刻されていた。またSK-01と呼称される壺棺墓の底部には焼成後の穿孔が2箇所に認められている。この穿孔の意図について笹川氏は葬送儀礼の性格を与えておられる。

(6) 彼ノ宗遺跡

弥生時代後期から同終末期に至る小児壺棺墓の変遷がとらえられている。とりわけ終末期の竪 穴住居跡群との位置関係より、当該時期における小児の共同墓地形成の可能性が提示されている。 ただし集落に近接して墓地が営まれている点については稲木遺跡C地区の構造に共通する要素と 考えられよう。

ところで、棺身に用いられた壺形土器は全て頸部以上を打ち欠いていることが判る。さらに棺蓋は鉢形土器あるいは上胴部を破棄した壺・甕形土器が転用されている事実から、この埋葬手段は当時の普遍的な形態であったことが改めて推察できよう。

3. 遺跡の構造について

- 集落の構造について
- (1) 住居跡の配置の問題

集落と埋葬施設が営まれた地形は南北方向に軸を有する東西幅約130mの舌状の微高地である。したがってSB01~04の4基の竪穴住居跡はこの微高地上の西半部を占地していることが判る。また県道西白方善通寺線の改良工事に伴う事前調査により,本遺跡は北方約200mの範囲を超えないことが判明したためSB05に隣接する住居跡が存在していると仮定しても,その数は希少であると考えられる。すなわち本遺跡の集落の主体は微高地の西半部に存在することは否定できないであろう。

そこで住居の立地の要因について考察してみたい。その第一は微高地東部に乱流する河川(現金倉川を含む)が存在していた点である。この点については本遺跡以東の現金倉川に至るまでの地域において地割に規格性が認められない事実を一つの傍証資料とすることができるのではなかろうか。現存する地割の成立時期を比定する根拠は全く存在しないが,堤防などの人工施設の設置直前に至るまでは,河川は氾濫を繰り返していたことが推測できる。さらに本調査時に実施したトレンチ調査においても9ライン以東の調査区は表土直下に河川堆積物と考えられる礫混じりの砂層を確認している。したがって住居の構築に際しては,冠水の危険性が高い東半部を避けて西半部を選択したのであろう。

第二は生産手段の基盤である可耕地の問題である。既に当時の人々が鉄製農具の使用によって 扇状地の耕地化に成功したことについて述べたが,依然生産域の主体は水田化に適した海岸平野 であったことが想像できる。しかも本遺跡の東方は河川の氾濫により冠水し易く,砂礫の堆積が 著しいために安定した耕地とは考えられない。そこで北西方に拡がるシルト層から成る海岸平野 部(B地区)に生産域の存在を想定することができよう。すなわち居住域を生産域に連続して設 けるためには微高地の西半部を占地しなければならなかったのである。

(2) 住居形態の問題

5 基の住居跡についても個々の規模と形態に差異が認められる。そこで本項ではこれらの差異 の起因する要素について述べる。

まずSB01~03は相互に規模と平面形態上の画一性がみられる。したがって既にモデルが存在しており、規格的に構築されたことが推測できるのである。ところがSB04、05の平面形態と規模は前3者のそれらとは明らかに異なっている。特にSB04が小型の規模を有している点とSB05が大型の長方形の平面形態を呈する点が最大の特徴と言えよう。規模の差異については、取りも直さず居住人員数の差異と考えられるが、両遺構の所在地が居住域の中心部から隔絶した位置にあることから、異質な人員構成が存在していたことも想定し得るであろう。しかしながら、この点を伴出遺物から具体的に解明するには至らなかった。

次にSB01,05においてベッド状遺構が検出された。この点により同一集落内にベッド状遺構の有無による構造の異なる2者が共存していたことが判る。構造上の差異は使途の差異の反映であると考えられるが、これを明らかにする資料は得られていない。

ところでSB01のベッド状遺構は北壁面部のみに、SB05は北壁面部を除く3壁面部について 設けられている。しかも後者が基盤層を穿って構築されているのに対して、前者は基盤層と異質 な土壌を用いていることから異なる技術によっていることが判る。

② 墓地の構造について

(1) 埋葬遺構の配置の問題

本項においてはとりわけ特異な配置にある集石墓と壺棺墓について検討し, 土址墓については 構築時期を比定することが難しいために論外とする。

既に両遺構の分布状況は本文中に略述した通りであり、まず集石墓についてはA~Cの3グループに大別することができる。ただし、個々のグループの成立要因とグループ相互の関連については本項では触れない。

ところで,集石墓と住居跡の配置の問題は後者が前者を取り囲む位置関係にあることを予察したが,巨視点な観点に立脚すると集石墓は遺跡の東半部を占地していることが判る。すなわち集石墓の構築位置は河川に近接する非耕地であったことが推測できよう。この点は後出する古墳時代前期の古墳が,当時の経済基盤であったと考えられている水稲栽培に影響を及ぼすことを避けたがために,尾根あるいは丘陵上に営造されたとする説に従うならば合理的に解説を加えることが可能である。一方,弥生時代の墓制の研究者によっても配石墓と呼称される小型の自然石塊を用いて構築された埋葬遺構の営造空間としては海岸の砂丘上などが選択されている事実が明らかにされており、やはり非耕地の利用が考えられるのである。

次に壺棺墓の配置にみられる意図を明らかにしておく。ST09,10を除いて2グループが存在することは一目瞭然であるが,特に第2群(ST01,05,06,07)の存在が特徴的である。それはSB04との関連である。すなわち3基(ST01の正確な出土位置は不明。)は明らかにSB04の存在を意識して近接した位置に設けられたと考えられるのである。さらに棺材に転用されている壺形土器の容量が小規模であることから,いずれも小児あるいは幼児の埋葬に用いられたことが推測される。そこで,これらの事実から想起される事例としては縄文時代中期中葉の中部,西関東地方に初源をみることができる埋甕と幼児甕棺墓がある。これらは死産児あるいは幼逝した小児の埋葬に用いられ,住居の入口床面下などの人の出入りの多いところに埋設することにより,早く子供の魂が再び母親の胎内に宿ることを祈念した民俗事例に共通する意識の表われと考えられている。したがってST05,06,07についても同様の意図により当該地に配置されたと考えることができるのではなかろうか。

(2) 埋葬形態の問題

本文中および前項において埋葬遺構の形態と配置からみたグルーピングについて触れたが、個々のグループの成立背景を明らかにすることはあえて避けた。そこで本項では集石墓という特異な埋葬形態出現の社会的な背景について検討するとともに、上記の問題についても可能な限り

言及しようと思う。

まず集石墓構築の意図を明確にしておく必要があるであろう。当遺構の構造における最大の特 徴が墳丘を有する点であることは前述の通りである。すなわち埋葬後においても遺構が地上に存 在することにより視覚的にアピールすることが可能になり、さらには空間を占有することから被 葬者個人あるいは被葬者が生前属していた家族および集団の存在は後世へ物心両面の影響を及ぼ すことが可能である。この点においては古墳の営造意図に同様ではなかろうか。

さて上記の意図に基づいて、本遺跡に居住していた人々が集石墓を構築したと仮定するならば、 周辺地域に営まれた埋葬遺構の性格とは明らかに異質であると言えよう。もちろんこの事実のみ によって、本遺跡の特殊性についてまで言及することは極めて困難である。そこで以下に本遺跡 が周辺の遺跡群に比して卓越する事実を2点記述して当時の社会における特殊な位置付けの一端 に触れてみたい。

第一は鉄製農耕具,武器を保持する点である。すなわち耕地を拡大することにより生産力が増 大するとともに,戦闘による版図の拡大も可能である。

第二に銅鏡が出土している点があげられる。その入手経路が明らかでない以上,鏡を保持することイコール所有者が特異な性格を有する者という図式は性急過ぎるであろうが,本遺跡の居住者が宝器的性格の強い遺物を入手し得る立場にあったことは疑う余地はない。

したがって,ここで乱暴な発言が許されるならば,周辺地域の集落に対して優位な位置にあるがために特異な埋葬形態を用いたことが推測できる。

ところで集石墓の配置にグループ性が認められる点について明確な回答を与える根拠は存在していないが、一集落(集団)内における小集団(家族)的な集合と考えることが妥当ではなかろうか。ただし、同一家族内においても幼児、小児あるいは若年の人物については壺棺墓として埋葬されていることから集石墓の被葬者は特定個人であったことが考えられる。

また個々の形態と規模の面からはグループ相互の関係を明らかにすることはできない。しかしながらST18(Cグループ)にのみ管玉の伴出がみられたことから、集団内においてより優位な人物の埋葬が行なわれた可能性が考えられる。

4. 稲木遺跡 C 地区の位置

稲木遺跡C地区の主体は弥生時代後期後半頃の集落と墓地である。そこで本稿では、同時期の 現善通寺市域における本遺跡の存在意義と位置について展望する。

最初に遺跡の立地条件をめぐる問題から考察してみたい。既に報告した様に本遺跡は扇状地の 扇端部を占地している。この点は弥生時代前期の遺跡の立地条件に共通する事実であるが、前期 の人々が鉄製農耕具を有しないがために、可耕地を広い海岸平野に求めたであろうと推察される のに対して、本遺跡に居住した人々は小海進による海岸平野の減少という環境変化に迫られなが らも, 鉄製農耕具を入手し得たことから扇状地内部への集落の展開が可能になったことを仮想している。この仮説は周囲の同時期の遺跡の大部分が完全に扇状地上に営まれている事実によって 傍証可能であると考えている。

ただし、本遺跡を完全に冠水の危険度の低い扇状地内部に営み得なかった理由については、まず伏流水が利用できること、そして河川と近接するために安定した耕作地の確保を目的とした場合には海岸平野から離れ難かったことなどがあげられよう。

すなわち扇状地内部に立地する遺跡に比すると,はるかに河水の被害を被り易く,絶えず危険 と背中合わせの立地条件であるが,水利に恵まれていなかった弥生時代後期後半頃においては, 最も容易に水利を得ることが可能であった立地条件であると言えるのではなかろうか。

次に出土遺構を観点として検討してみよう。特筆すべき遺構は9基の集石墓である。既に本節2-③に概観した様に現善通寺市域においては類似する資料は検出されていない。さらに周辺地域においても類例を知り得ない。したがって、本資料は極めて特殊な埋葬形態と考えることができる。ただし、稲木遺跡D地区の資料にみる様に、従前から知られている墓制とは明らかに異なる資料が増加していることが事実である。しかも個々の出現要因あるいは系譜などについてはまだまだ未知な点が多い。本例についても上記の点について解決するには至らなかったが、類似資料が愛媛県川之江市大江東宮石遺跡と徳島県三好郡足代東原遺跡において確認されていることだけを紹介しておきたい。

また、出現要因については、氾濫原に遺構を構築する以上、自然石を用いる手段は自然な行為 と考えることもできよう。しかしながら、現状では本資料については一遺跡内においてその特殊 性から存在理由を検討することは可能であるが、遺跡外の周辺社会の中に位置付けることはまだ まだ難しいことを報告しておく。

5. 集落の変遷

発掘調査により、本遺跡において初めて集落が形成されたのが弥生時代後期後半頃であり、その後古墳時代後期あるいは平安時代初期に至って再び集落が営まれていたことが判明した。ただし正確に後2者の時期に比定することの可能な住居遺構が存在しないことは本節1において報告した通りである。

上記以外の時期については奈良時代後半頃と古代以降の遺物が数点出土したのみであり、考古学的研究方法によっては全く空白時期と言わざるを得ない。しかしながら通説に従うならば、本遺跡地は旧多度郡に属しており、現地形からもいわゆる方格地割による土地区画が施されたことが推測できるのである。したがって条里制施行以後においても、集落以外の目的により土地利用が行なわれていことは十分考えられる。しかしながら、この点については文献調査を怠ったために明らかにできていない。同様なことは中世以降の土地利用の問題についても言える。調査開始

時において既に水田と化していた事実のみを報告し得たに止まっており、近世・近代の様相は解明するに至らなかった。筆者の怠慢として大いに攻められるべき点であると反省している。

以下に時代別の集落の変遷を検討する。

① 弥生時代

本遺跡の主体を構成する時期であるが、前期から後期前半頃までの遺構は未検出であり、後期後半頃に至って突如として集落と墓地が出現する。この要因としては小海進により可耕地である海岸平野が減少したために扇状地の開墾の必要に迫られたことを第1章第3節において推測した。さらに本遺跡において出土した鉄製農耕具の使用の必要性についても同土壌の掘削に不可欠である点を指摘しておいた。

特に鉄製農工具の使用の開始事実は、耕地の拡大以外に、砂礫により形成された基盤層における竪穴住居の掘削、あるいは埋葬施設の構築用具として最適の利器と考えられよう。すなわち本遺跡の集落の出現条件について地形的要因と鉄製品の使用の有機的関連を再度提示しておきたい。確実に同時期の遺構と考えられる主なものは竪穴住居跡 5 基、集石墓 9 基、壺棺墓10基である。これらの集落構造については本節 3 において触れたため、繰り返すことは避ける。

② 古墳時代

弥生時代後期後半頃の集落が廃絶した後、古墳時代後期に至るまでは人間の活動の痕跡をみることはできない。この点については弥生時代の遺構を被覆する堆積層が厚く、しかも砂礫層を各所にレンズ状に包蔵する事実から洪水などの自然の営力により居住地としては適さない条件下にあったことが考えられる。

当該時期の特筆すべき遺構はSX07,08である。炉跡の可能性を指摘したが、居住遺構を伴っていなかった。

ところで、古墳時代後期以降に埋没したと考えられる掘立柱建物跡が5棟検出されているが、同時期の遺物を伴出した遺構はSB07のみである。したがって集落の存否について明確にする資料は存在しない。

③ 平安時代

平安時代(初期)の年代観はSX13(胞衣埋納遺構)伴出の銅銭の鋳造年代に拠っている。同 遺構については既に水野氏の研究成果を紹介したが、単独では存在しない性格を有する点から近 接して所在する掘立柱建物跡 2 棟 (SB06,08)が共存していた可能性を示唆した。

④ 空白時期の問題

最後に本遺跡における空白時期の土地利用の解明の手掛かりとして、調査の契機となった条里 遺構の問題について若干触れておきたい。

現善通寺市域に方格の地割が現存することは従前より良く知られており,本調査の開始時期に おいてもこの地割がいわゆる条里制の土地区画に基づくものではないか確認することを目的の第 一に掲げて着手したことが事実である。

ところが、巨視的には方格に規格された現地割についても、ミクロな視点に立脚すると細かい 地割の乱れを認めることができる。そこで後者の視点から本遺跡周辺の微地形を観察すると、土 讃線軌道敷以西においては整然とした方格の地割が存在するが、軌道敷以東および現七王工業用 地以北においては規格性を有する土地区画を認めることができない。そこで現存する土地区画の 初現が考古学的あるいは文献史学的研究方法によって明らかにできていない以上、即断は危険で あるが、本遺跡の軌道敷以東の地区(C地区の主体を成す地区)については方格地割が形成され なかった可能性を考えてみたい。発掘調査によっても土地区画の存在を想起させる規格的な配置 の遺構を検出していない事実が存在している。

以下に全くの推察を述べて筆をおくことにする。河川(現金倉川を含む)の流路が一定でなかった時期においては本遺跡地を区画することは不適当であったのではなかろうか。

(註)

- 1. 盛岡秀人氏により提唱された弥生時代後期後半 I ~Ⅲ期に相当すると考えられる。盛岡秀人「畿内第 V 様式の編年細分と大師山遺跡出土土器の占める位置」網干善教他『関西大学文学部考古学研究第 5 冊・河内長野大師山』, 1977年。
- 2. 本稿に用いた「上田町式」および「西ノ辻式」の型式名は都出比呂志氏の編年観に拠っている。都出,1974年。
- 3. 潮見浩・藤田等「中国・四国」和島誠一他『日本の考古学』Ⅲ,1966年。
- 4. 真鍋昌宏氏は上田町 I 式に併行する高屋(期)の前段階に牟礼町原遺跡の資料を位置付けている。真鍋昌宏「弥生後期末~古墳前期土器編年について」秋山他,1982年。
- 5. 氏の指摘は以下の通りである。「(略)明らかに第五様式とすべき土器を土師器と扱うような論文や報告書も目につくようになってきた。この混乱は(略)地域の異なる土器をいきなり比較することからくるものである。」都出、1974年。
- 6. 真鍋, 1982年。において甕Cに分類される遺物である。
- 7. 小西・薦田・松野他, 1984年。
- 8. 井藤暁子他『池上遺跡・四ツ池遺跡発掘調査報告書』第2分冊土器編、1979年。
- 9. 廣瀬常雄『日本の古代遺跡8香川』,1983年。に遺物実測図が掲載されている。
- 10. 藤田等「埋葬」和島他, 1966年。
- 11. 森貞次郎「埋葬」大場磐雄他『新版考古学講座』第4巻,1979年。
- 12. 近藤義郎「古墳以前の墳丘墓-楯築遺跡をめぐって-」『岡山大学法文学部学術紀要』38史学編,1977年。
- 13. 甲元真之「弥生時代の墓制」大塚初重他『日本考古学を学ぶ』(3), 1979年。
- 14. 西谷正「日朝原始墳墓の諸問題」井上光貞他『東アジア世界における日本古代史講座』第1 巻, 1980年。
- 15. 都出比呂志「墳墓」佐原真他『岩波講座日本考古学』第4巻, 1986年。
- 16. 例えば岩崎卓也氏は「埴輪起源論ノート」和歌森太郎他『日本文化史学への提言』,1975年。において、岡山県地方の弥生時代後期の埋葬遺構にみられる「供献土器」については墓前祭における「神人共食」の儀式に用いられたことを指摘している。
- 17. 藤田, 1966年。
- 18. 渡辺誠「埋葬の変遷」江坂輝彌他『古代史発掘2縄文土器と貝塚』, 1973年。

- 19. 石川士郎「川之江市大江・東宮石遺跡発掘報告書」『愛媛考古学』第7号,1984年。同遺跡は金生川河口の幅50m,長さ600mの海岸砂丘上に立地しており,埋葬遺構と考えられる配石遺構が4 基検出されている。なお、同資料については石川士郎氏(川之江市松柏公民館)より多大の御教示が得られたのでお礼申しあげるものである。
- 20. 菅原康夫・小笠原賢『足代遺跡 (東原地区 C調査区) 現地説明会資料 (No.1)』, 1982年。同『足代東原遺跡現地説明会資料 B-2調査区を中心として (No.2)』, 1982年。同遺跡は吉野川北岸の河岸段丘上に形成された扇状地形の扇央部に営まれている。総数35基の積石墓が検出されており、弥生時代末から古墳時代初頭 (前期) にかけての構築年代観が与えられている。

第26表 竪穴住居跡伴出遺物観察表(1)

			r t πα	43 h	₹ € ∰	ith o	.c= D+					
挿図	成形口線部			および調		整の痕跡		- 40		n, ,	 	
番号	口縁端部	内面	外面	内 面	外 面	内 面	部 外面	店 内 面	部 外 面	胎 土	遺存度	出土位置
第94図 1	軽く横ナ デ。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	1 強存。	埋土中位。
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。					長 石,石 英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	埋土上位。
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。	斜ハケ目(細)。			雲母細片 多量含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	埋土下位。
4		斜板ナデ。	縦ハケ目。			横指ナデ。	右上リタ タキ目後, 横ナデ。			砂粒を含 まず精緻。	$\frac{1}{4}$ 存。	床面直上。
5		斜板ナデ。	縦櫛ハケ目。					横指ナデ。	櫛ハケ目。	精緻。	口縁部一 部欠くが ほぼ完存。	埋土上位。
6			·		·			横ナデ。	横ナデ。	長石含む。	底部完存。	埋土中位。
7								縦板ナデ。	縦ハケ目。	長 石,石 英含む。	底部完存。	"
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩 耗(ナ デか。)。	斜ハケ目。		-	石英含む。	口縁部一 部欠くが ほぼ完存。	n
9						横板ナデ。	横,右上 りを り後,横 ナデ。			長 石,石 英含む。	口縁部一 部欠くが ほぼ完存。	床面直上。
10						斜ハケ目 (櫛 状 原 体)。	縦指ナデ。			長石,石 英含む。	完存。	
11						横板ナデ。	縦板ナデ。	板 ナ デ (簾状)。	斜へラ削 り。	長 石,石 英含む。	完存。	. "
12						斜板ナデ。	摩耗。			砂粒を含 まず精緻。	口縁部 ² 存。	, ,,,
13		斜ナデ。	横ナデ。	横,斜ハケ目後,横ナデ。	縦ハケ目 後,横 ナ デ。					長 石,石 英含む。	1 存。	礫群。
14								斜板ナデ (指頭痕 残す。)。	縦,斜ハ ケ目。	長石,石 英含む。	底部完存。	埋土上位。
15								摩耗。	右上りタ タ キ 目 (摩耗)。	大粒長石, 石英含む。	底部完存。	礫群。
17	横ナデ後, ヘラ描鋸 歯文施す。	横ナデ。	横ナデ。							長 石,石 英含む。	1 存。	埋土中位。
18				縦ヘラミ ガキ。	斜ハケ目, 横ナデ。					長 石, 石 英含む。	頸部4存。	埋土下位。
19		摩耗。	横ナデ。			摩耗。	板 ナ デ (摩耗)。			長 石,石 英含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	埋土上位。
20	横ナデ。	横ハケ目 後,横 ナ デ。	縦ハケ目 後,横 ナ デ。			縦板ナデ。	横, 左上 りタチ, 目後,縦, 横斜ハケ 目。			長石含む。	完存。	床面直上。
21		斜ハケ目。	横ナデ。			斜板ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	板 ナ デ (簾状)。	縦ヘラミ ガキ。	長 石, 石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	埋土。

第27表 竪穴住居跡伴出遺物観察表(2)

·			成形	およ	び調	整の	痕跡	民化 5元 4代 (· · · · · ·		1
挿図				1		1			*07	l	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
番号	口縁端部	内面	新部 外面	内 面	部 外 面	- 胴 - 内面	部 外面	内面	部 外 面	胎土	遺存度	出土位置
第94図 22		横, 斜板ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	縦ナデ。	斜板ナデ。	斜ナデ。	長石,石 英含む。	ほぽ完存。	埋土上位。
23		斜ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜 ナ デ (指頭痕 残す。)。	縦ナデ。	斜 ナ デ (指頭痕 残す。)。	長石含む。	胴部,底 部完存。	n
24		横ナデ。	横ナデ。			縦,横ナ デ。	縦,横ナ デ。	縦,斜ナ デ(指頭 痕残す。)。	縦,斜ナ デ(指頭 痕残す。)。	長石少量 含む。	胴部,底 部完存。	"
· 25								縦ナデ。	横ナデ。	長石,石 英含む。	脚台部完 存。	埋土。
26								横ナデ。	横ナデ。	長石,石 英含む。	底部完存。	"
27								縦 ナ デ (指頭痕 残す。)。	縦ナデ。	石英含む。	底部完存。	埋土上位。
28		-				,		斜板ナデ。	横タタキ目。	石英含む。	底部完存。	炉跡。
第96図 1		横ナデ。	横ナデ後, 一パが 一パが 一パが 一パが 一パが 一パが 一パが 一パが 一パが 一パが	横ナデ。	縦ハケ目 後,縦へ ラミガキ。					長石含む。 精緻。	1 8存。	埋土。
2	横ナデ。	(立上り) 横ナデ。	(立上り) 斜ハヘラ 後親 ・ ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	横 ナ デ (一部縦 ナデ。)。	縦ハケ目, 縦ハヘラミ ガサナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			長石,石 英少量含 む。	$\frac{1}{3}$ 存。	床面直上。
3	横ナデ。	横ハケ目。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。	横ナデ。					長石,石 英含む。	1 存。	埋土。
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	右上り, 左上り, 横タタキ 目。			長石,石 英含む。	1 存。	"
5										雲母微細 片多量含 む。精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
6								縦、横ナデ。	横,斜ナ デ。	長石,石 英含む。	底部 ² 3存。	n
7						斜,横指ナデ。	斜, 板ナ デ。				3 存。	"
8		斜指ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜指ナデ (指頭痕 残す。)。	斜ハケ目。	斜指ナデ (指頭痕 残す。)。	長石,石 英含む。	4存。	"
9						,		横板ナデ。	縦板ナデ。	長石含む。	底部 1/3 存。	"
第99図 l	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦指ナデ。	横ナデ。	横へラ削 り。	縦ハケ目。			製母微細 片多量含 む。	1 3存。	土器集中部。
2	横ナデ。	縦,斜ナ デ。	刻泉。 目,就代 管製よ文 に突。			(下部)構				長石含む。	$\frac{1}{28}$ 存。	埋土。
3	(立上り) 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		101	(下部)横 ヘラ削り (指頭痕 残す。)。	縦ハケ目。			長石, 雲 母微細片 含む。	1 6存。	"
4	斜ナデ後, 凹線施す。	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。	縦ハケ目 後,横ナ デ。	横へラ削 り。	斜ハケ目。	斜へラ削 り。	横ハケ目。	雲母細片 含む。精 緻。	完存。	床面直上。

第28表 竪穴住居跡伴出遺物観察表(3)

	ī			新40 至			十山退初	1003020		·	T	1
挿図		Г.	成形	よは	び調	整の	の痕跡					
番号	口縁端部	内面	外 面	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
第99図 5	横ナデ後, 凹線 2 条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	外 面 横ナデ。	内 (上)横り (下)縦 ラ削り縦 ラ削り ラ削り ラ削り ラ削り ラル ラル ラル ラル ラル ラル ラル ラル ラル ラル ラル ラル ラル	外面 縦ヘラ削り。	内面 縦ヘラミ ガキ。	外 面 縦ヘラミ ガキ。	長石細片, 雲母細片 含む。	完存。	ベッド状 遺構床面 直上。
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ (指頭で す。)。(下 部)横 り。	斜ハケ目。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	土器集中部。
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦,斜へ ラ削り。	縦ヘラミ ガキ。	縦へラ削り。	縦ヘラミ ガキ。	雲母微細 片含む。 精緻。	1 存。	"
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。	横へラ削り。	縦ハケ目。			砂粒をは含まり は合まの は合まの は合まの は合まの は合まる は合まる は合きる きゅうしゅう かいかい かいがい かいがい はんしゅう はんしゅう かいがい かいがい はんしゅう はんしゅん はんしゅう はんしゅう はんしゅん はんしん はんし	$\frac{1}{2}$ 弱存。	n,
第100図 9		横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残 す。	斜板ナデ。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
10						斜板ナデ (指頭痕 残す。)	縦ナデ。	斜指ナデ。	斜ハケ目。	長石,石 英多量含 む。	底部完存。	北東柱穴。
11						(上部)横 板ナデ。 (下部)横 ハケ目。	剝離。	縦指ナデ (指頭痕 残す。)。	斜板ナデ。	長石,石 英含む。	底部完存。	土器集中部。
12								斜へラ削 り、縦、 横、斜ハ ケ目。	斜ヘラミ ガキ。	長石,石 英含む。	底部 ¹ 2存。	"
13						縦指ナデ。	縦ナデ。	縦ナデ。 ・	剝離。	長石,石 英含む。	底部 1 存。	"
14					-			斜へラ削り。	右, 左上 りタ 目後, 板 ナデ。	長石含む。	底部完存。	"
15						横ハケ目。	横ハケ目 後,横タ タキ目。	斜ハケ目。	左上り名	長石含む。	底部完存。	ベッド状 遺構床面 直上。
16								斜ナデ。	横タタキ 目。	長石,石 英多量含 む。	底部完存。	土器集中 部。
17								摩耗。	指頭痕残 す。	長石,石 英多量含 む。	底部完存。	"
18								摩耗。	摩耗。	長石,石 英含む。	底部 1 存。	"
19			·					横ナデ	縦ヘラミ ガキ後, 斜ナデ。	長石含む。	底部 <u>1</u> 存。	埋土。
23		横ハケ目。	縦板ナデ。			横ハケ目。	縦板ナデ。	横ハケ目。	斜板ナデ。	長石,石 英含む。	1 強存。	ベッド状 遺構床面 直上。
24	横ナデ。	横ナデ。	ほとんど 未調整。							長石,石 英含む。	1 弱存。	埋土。
25	横ナデ。	指頭痕残す。	指頭痕残 す。			縦板ナデ。	指頭痕残 す。	板 ナ デ (簾状)。	指頭痕残 す。	長石,石 英含む。	口縁部を 一部欠く がほぼ完 存。	"
第101図 26	摩耗。	縦ナデ。	縦ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	長石含む。	1 2存。	"
27	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	大粒長石, 石英含む。	1 存。	n

第29表 竪穴住居跡伴出遺物観察表(4)

			成形	l a	び調	整の	痕 跡		,			
挿図 番号	口縁端部		* 部	頸	部.	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
	니하하다	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面			
第101図 28						斜ハケ目 後, 縦板 ナデ。	縦板ナデ。	斜ナデ。	縦板ナデ 後, 斜ナ デ。	長石含む。	底部完存。	土器集中 部。
29						横ハケ目 後,ナデ。	横,右上 りタタキ 目後,縦 ナデ。	縦,横, 斜ナデ。	左上り, 右上りタ タキ目, 板ナデ。	長石含む。	口縁部を 一部欠く がほぼ完 存。	埋土。
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ (指頭痕 残す。)。	指頭痕多 数残す。	縦,横 ナ デ。	縦,横, 斜ナデ。	雲母多量 含む。	ほぼ完存。	埋土。
31	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	縦ハケ目。	横板ナデ。	縦ハケ目。	長石,石 英含むが, 精緻。	胴部以下 完存。	· <i>II</i>
32	横ナデ。	横指ナデ。	横指ナデ。			指頭痕残 す。	指頭痕残す。	指頭痕残す。	指頭痕残 す。	長石,石 英含む。	完存。	ベッド状 遺構床面 直上。
33	横ナデ。	横指ナデ。	横指ナデ。			指頭痕残す。	横ナデ。	指頭痕残す。	横ナデ。	長石,石 英含む。	完存。	埋土。
34						縦,横斜ナデ。	斜板ナデ。	縦指ナデ。	斜板ナデ。	長石,石 英含む。	底部完存。	土器集中 部。
35		-		•		斜ナデ。	斜板ナデ。	縦指ナデ。	斜板ナデ。	長石,石 英含む。	底部完存。	IJ

第30表 竪穴住居跡伴出遺物観察表(5)

			成 形	お よ	び調	整の	痕 跡				
挿図 番号	- 63 AW M	□ #	录 部	杯	部	脚	部	B40 444 467	胎 土	遺存度	出土位置
	口縁端部	内面	外面	内 面	外面	内 面	外面	脚端部			
第94図 16						横へラ削 り,斜ナ デ。	横ナデ。	横ナデ後,凹線 1 条 施す。	長石含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	埋土下位。
第100図 20	-			全体に摩耗。		シポリ目。	縦ヘラミ ガキ。		長石,石 英含む。	ほぼ完存。	ベッド状 遺構床面 直上。
21	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					-	長石,石 英含む。	¹ 弱存。	埋土。
22						縦ナデ。 シボリ目。	縦ヘラミ ガキ。	横ナデ。	長石含む。	脚部ほぽ 完存。	土器集中 部。

(註)

観察表 (第26~128表) には壺・甕・髙杯・鉢形土器及び土師器,須恵器のうち普遍的な器形のみを一覧化している。

第31表 土址伴出遺物観察表

			成形	およ	び調	整の	痕 跡					
揮図 番号	□縁端部	□ &	承 部	頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
	口稼煸砂	内 面	外面	内 面	外面	内面	外面	内面	外面			
第105図 1		横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削 り後,斜 ハケ目。	縦 ,斜ハケ目。			雲母細片 含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	埋土。
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削り。	縦,斜ハ ケ目。黒 斑。	斜ナデ。	縦ハケ目。	雲母細片, 石英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
3	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。			縦,斜へ ラ削り。	斜ハケ目。	縦,斜へ ラ削り。	縦ハケ目。	雲母多量 含む。	完存。	n
4						·	-	摩耗。	摩耗。	石英含む。	底部 ¹ 2存。	n
5		横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	縦,斜ハ ケ目。	指頭痕残 す。	横タタキ 目後,縦, 斜ハケ目。	石英少量 含む。	$\frac{1}{16}$ 存。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,

第32表 第1号集石墓伴出遺物観察表(1)

					201.	5集 石 星	птили.	100 EU 375 40	C(1)			
挿図			成形	よは	び調	整の	痕 跡					
番号	口縁端部		禄 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
		内面	外面	内面	外面縦ナデ	内面	外面	内面	外面			
第107図				横ナデ(下部 が接み横 が目後, サデ。)。	縦 ナ デ 部 が 制後 ナ デ 。)。					長石,石 英含む。	頸部4存	封土。
2		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目 後, 斜へ ラミガキ。	斜ハケ目 (細)後, 横 ナ デ (痕跡 不 明瞭)。			砂粒含まず精緻	$\frac{1}{6}$ 存。	n
3		横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目 後, 横ナ デ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。			長石含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	n
4		斜ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。							長石,石 英含む。	1 12存。	主体部埋土。
5		横ナデ。	摩耗著しい。	横 ナ デ (ナ デ 前 に細筋の 縦ハケ目 か。)。	横ナデ。	(上部)斜 ヘラ削り 後,横ナ デ。	(上部)横			長石,雲 母含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。
6		横ナデ。	横ナデ。			(上部)斜 ナデ(ー 部縦ヘラ 削りか。)。	(上部)斜 ハケ目 (細)後, 横ナデ。			長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	n
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	1 4存。	"
8		横ハケ目 (複数の 原体)。	横ハケ目 (細)後, 横ナデ。			(上部)横ナデ。	(上部)右 上りタタ キ目。			長石含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	"
9	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (粗い調 整)。			弱いハケ 目(細)後, 縦ナデ。				雲母細片 多量含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削 り後, 斜 ナデ。	斜ハケ目 (極細)。			長石少量 含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	主体部埋土。
11	摩耗著しい。	横ナデ。	横ナデ。							長石,石 英,雲母 含む。	1 8存。	封土。
12		横ハケ目。	横ナデ。	縦ハケ目。						長石,石 英含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	"
13								指頭痕残す。	摩耗著しい。	長石,石 英含む。	底部 1/2 存。	n
14									縦ヘラミ ガキ。	雲母含む。	底部完存。	n
15	,							横,縦ハ ケ目(太) 後,横ナ デ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。	長石, 雲 母含む。	底部 1 存。	n
16								縦指ナデ。	縦ハケ目 後, 縦ナ デ。	石英含む。	底部 ¹ 存。	n
17								ハヶ目 (簾状)。	斜ナデ。	雲母少量 含む。	底部完存。	"
18								横 ナ デ (指頭)。 円部斜ハ ケ目(細)。	縦ハケ目 (細)後, 縦ナデ。	長石,石 英含む。	底部完存。	"
19								斜ハケ目 (太)。	斜ハケ目 (細)後 , 縦ナデ。	長石含む。	底部4存。	."
20								縦へラ削 り(下 → 上)。	縦ハケ目 (細)後, 縦ナデ。	雲母少量 含む。	底部完存。	"

第33表 第1号集石墓伴出遺物観察表(2)

			成形	およ	び 調	整の	痕 跡					
挿図 番号		□ #	永 部	頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
田勺	口縁端部	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内面	外面			
第107図								斜 ナ デ (指 ナ デ か。)。	縦 ナ ボ 状 体 に よ る か。)。	雲母細片 含む。	底部ほぽ 完存。	封土。
22								斜ハケ目 (細・太の 2 種 類 有。)。	縦,斜ナ デ(指ナ デか。)。	長石,石 英含む。	底部完存。	n
23							-	斜ナデ。	横,右上り タを,縦ハケ 目(細)後, 横ナデ。	長石,石 英含む。	底部 1 存。	"
24								ハヶ目 (簾状)。	指頭痕残 す。未調 整。	長石,石 英,雲母 含む。	底部完存。	"
25						縦,横ナ デ(ほと んど未調 整。)。	斜, 横ナ デ(ほと んど未調 整。)。			長石,石 英含む。	完存。	封土。
26						横, 斜ハ ケ目後, 横, 斜ナ デ。	指 ナ デ (指頭痕 残す。)。	横,斜ハ ケ目後, 横,斜ナ デ。	指 ナ デ (指頭痕 残す。)。	長石,石 英含む。	3 存。	封土。
27	横ハケ目 (タタキ目 状ケ目後、 ハデか。)。	横ナデ。				横 ハ ケ 目 (タ タ キ 目 状 を 里 せ。 ハ ケ 目 後。 ナ デ か。)。	全面に指 頭痕残す。		横指ナデ。	長石含む。	ほぼ完存 (口 緑 端 部欠)。	"
28						全面に指 頭痕残す。	斜ハケ目 (細)後, 斜ナデ。	斜,縦ナ デ(指頭 痕残す。)。	斜ハケ目 後, 斜ナ デ。	長石,石 英含む。	底部 ⁻³ 存。	"
29	-					縦,斜ハ ケ目(太)。	縦ヘラミ ガキ。	指頭痕残す。	ナデ。(粗 い調整)。	長石少量 含む。	ほぼ完存 (胴 部 ½ 弱欠)。	"
第108図	横ナデ。	横ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。	(上 胴 部) 斜ハケ目 (細)後,ナ デ。(ハケ 目不明瞭)。	(上胴部) 横へラミ ガキ後, 横ナデ。	-				砂粒を含まず精緻	$\frac{1}{8}$ 存。	主体部埋 土。
33	斜ナデ。	横へラミ ガキ。	横ナデ。	縦ヘラミ ガキ後, 横ナデ。	横,斜へ ラミガキ。					砂粒を含まず精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。
34	横ナデ後, 沈線上の 文様施す。	横ハケ目(細)。	右上りタ タキ目後, 横ナデ。			斜指ナデ。	縦指ナデ。			雲母含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	<i>n</i> .

第34表 第1号集石墓伴出遺物観察表(3)

			成形	およ	び調	整の	痕 跡				
挿図 番号	口縁端部	□ #	录 部	杯	部	脚	部	脚端部	胎土	遺存度	出土位置
	니사장기하다	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	脚端部			
第108図 30				ヘラミガ キ後, 横 ナデ。	摩耗著一 いにガラの が 残す。				長石含む。	杯部 1/8 存。	封土。
31						(上部)横 ナデ(指, 板)。(下 部)斜ハ ケ目。	縦, 斜ハ ケ目後, 横ナデ。		長石,石 英含む。	脚部 1 存。	"

第35表 第2号集石墓伴出遺物観察表(1)

			成 形	およ	び調	整の	痕 跡					
挿図 番号	63 AU 4 17		献 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
щэ	口縁端部	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外 面	内 面	外面			
第110図 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後, 櫛描波状 文施す。	横ナデ。	縦ハケ目 (細)。					長石含む。	-	封土。
2	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部 以下)横 ナデ。	(立大学) (対が、 (立大描、以下) (立大描、以下) (で) (で) (で)	横ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ後, 貼付突帯 (刻目施 す。)。					長石,石 英含む。	口縁立上 り部分を 欠くが, ほぼ完存。	封土上位。
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ガる後デ。 ション ション ション ション ション は かった が で が で が で が で が で が で が で が で う で う で					長石,石 英細片含 む。	1 存。	封土。
4	横ナデ後, 櫛描波状 文4条施 す。	横ナデ後, ヘラミガ キ。	横ナデ。							長石, 雲 母含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
5	櫛描波状 文施す。	横ナデ。	横ナデ。	٠						大粒の長 石,石英 含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
6	横ナデ後, 櫛描波状 文施す。	ヘラミガ キ。	横ナデ。	縦ハケ目 (細)後, ナデ。						長石,石 英,雲母 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"
7	横ナデ後, ヘラ描鋸 歯文, 貼 付文施す。	横ナデ。 摩耗。	ハケ目。 (端部)横 ナデ。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
8	横ナデ後, ヘラ描線 幽文,凹線 1条施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	"
9	横ナデ後, ヘラ描鋸 歯文施す。	縦ヘラミ ガキ後, 横ナデ。	指 ナ デ (粗い調 整)。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土上位。
10	横ナデ後, 沈線2条 施す。	板サデ後、 横ナデ(板 サデ(板 を分 有り。)。	横ナデ。	横板ナデ 後, 横ナ デ。	横ナデ後, 縦ヘラミ ガキ。					長石多量 含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土。
11	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 (細)後, 横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 (細)後, 横ナデ。					長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	n
12		横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後,横ナ デ。	縦ハケ目。					長石含む。	1 存.	"
13	横ナデ。	縦ナデ。 指頭痕残 す。	横ナデ。			(上部) 横 指ナデ(へ ラ削り。) 行か。) (下部)り。 ヘラ削り。	(上部)横 板ナデ。 (下部)斜 ナデ。			長石含む。	1 4存。	土垃埋土。
14	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (粗い調 整)。			斜へラ削り。	横, 右上 りを りを け デ (い 調整)。			長石含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土下位。
15		横ナデ。	摩耗。							長石細片 含む。	1 存。	土垃埋土。
16	横ナデ。	横ナデ。	縦ヘラミ ガキ。							長石含む。	口縁部か ら肩部ほ ぼ完存。	封土。
17	横ナデ後, ヘラ描鋸 歯文施す。	横ナデ。	横ナデ。		,					砂粒をほ とんど含 まない。	1/4 存。	封土下位。
. 18	横ナデ。 沈線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後,横ナ デ。					長石細片 含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	封土上位。
19	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石,石 英多量含 む。	1 存。	n
20	横ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	縦ハケ目。 摩耗著し い。					長石細片 多量含む。	ほぼ完存。	土垃埋土。

第36表 第2号集石墓伴出遺物観察表(2)

			成形	およ	び 調	整の	痕 跡					
挿図								ris .	***	H7. I	18 +- r/r	
番号	口縁端部	内面	外面	類 内 面	外 面	内 面	部 外面	内 面	部 外面	胎 土	遺存度	出土位置
第110図 21	横ナデ後, 沈線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ	横ナデ。					長石,石 英含む。	1 存。	封土。
22	横 ナ デ (ハ 牙 目 状 原 体 か。)	(立上部) (ウェデ。) (ウェン・カップ) (がないないないないないない。) (がないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	(立上部) 横ナデ。 (立上部 以下)横 ナデ。	trong (立上部) (立上部) (立上デ。 (立上)横 ナデ。	横ハケ目 後,横口 状原体。)	縦ハケ目 後, 横ナ デ。				長石,石 英含む。	頸部以上 完存。	土垃埋土。
23	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石,石 英,雲母 細片含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土上位。
第111図 24	横ナデ。	横ハケ目 (端 部 は ハケ目後, ナデ。)。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。	横ナデ。					長石,石 英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	土垃埋土。
25	横ナデ後, 凹線2条 施す。	ヘラミガ キ後, 横 ナデ。	横ナデ後, 縦ヘラミ ガキ。	主に横へ ラミガキ。	縦ヘラミ ガキ。					砂粒をほ とんど含 まず精緻。	1 存。	封土。
26	横ナデ後, 沈線2条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後, 貼付突帯。					長石多量 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"
27		;		横ナデ。	縦ハケ目。	指頭痕残す。	斜ハケ目。			長石細片 含む。	頸部完存。	封土下位。
28				横ナデ。	縦ハケ目。 貼り付け 突 帯(刻 目施す。)。	縦へラ削 り。	横ナデ。			長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。
29				縦ナデ。	縦ハケ目 後, 縦へ ラミガキ。	横ナデ。	縦ヘラミ ガキ。			長石,石 英含む。	頸部完存。	"
30				横ナデ。	縦ハケ目 (細)後, 横ナデ。	縦ハケ目 (太)。				長石,石 英細片多 量含む。	頸部完存。	封土上位。
31				斜ハケ目 (口 縁 部 直近横 ナ デ)。	縦ハケ目 後, 横 質 点 点 (点 素)。	指頭痕残 す。	横ナデ。			長石細片 多量含む。	頸部完存。	"
32	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	摩耗。					長石,石 英多量含 む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
33	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。							長石含。	1 存。	封土。
34	横ナデ。	横ナデ。	縦ヘラミ ガキ。		***					石英含。	4 5存。	"
35	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	縦ハケ目。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
第112図 36	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			(上部)横 ナデ。(下 部)斜 ラ削り。	縦ハケ目。			長石, 雲 母含む。	1 存。	封土中位。
37	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指ナデ。	縦ハケ目。			雲母細片 多量含む。	1 存。	n
38	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。	縦ハケ目 (細)。			雲母細片 含む。	1 存。	封土。
39	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			(上部)横 ナデ。(下 部)縦 指 ナデ。	縦ハケ目。			長石,石 英含む。	1 存。	封土中位。
40	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦へラ削り。	斜指ナデ。			砂粒をほ とんど含 まず精緻。	1 存。	封土。

第37表 第2号集石墓伴出遺物観察表(3)

	····		成形	およ	び 調	整の	痕 跡					
挿図 番号	口緑端部	口和内面	承 部 外 面	頸 内面	部外面	胴 内 面	部 外面	底 内面	部外面	胎土	遺存度	出土位置
第112図 41	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	1, 191	7F III	斜へラ削 りか指ナ デ。	横りり後の大田の一大田の一大田の一大田の一大田の一大田の一大田の一大田の一大田の一大田の	73 HI	7F III	精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。
42	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		:		(May 6			精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土下位。
43	横ナデ。	横ハケ目 (細)後, 横ナデ。	横ナデ。			縦ハケ目 後, 横ナ デ。	右上りタ タキ目後, 縦ハケ目。			長石細片 含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。
44	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残す。	縦ハケ目 後, ナデ。			雲母含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土。
45	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ハケ目 後,指ナ デ。	縦ハケ目。 (細)。			砂粒をほ とんど含 まない。	1 4存。	"
46	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜指ナデ。	指ナデ。			砂粒をほ とんど含 まない。	1 存。	"
47		横ナデ。	右上りタ タキ目後, 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦板ナデ。	目。			砂粒をほ とんど含 まず精緻。	1 存。	"
48		横ナデ。	横ナデ。			斜 ナ デ (斜ハケ 目 先 行 か。)	右上り タ タキ目。 (不明瞭) 後,縦ヘラ ミガキか。			砂粒をほ とんど含 まず精緻。	頸部 <u>1</u> 存。	封土上位。
49	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指 ナ デ (指頭痕 残す。)	摩耗。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土。
50		横ナデ。	摩耗。			摩耗。	斜ハケ目。			長石,石 英細片含 む。	肩部 <u>1</u> 存。	土垃埋土。
51	横ナデ後, 沈線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目 後 , 横 ナ デ。	横ハケ目。 (タ タ キ 目が先行 か。)			砂粒をほ とんど含 まず精緻。	1 存。	封土。
52	横ナデ後, 沈線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。			(上部)横 ナデ。	(上部)縦 ハケ目。 (細。)			長石含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	"
53	粗い成形, 調整。	横 ナ デ (粗い調 整)。	指頭痕残 す。			縦指ナデ。	縦ヘラミ ガキ。			長石含む。	1 存。	封土上位。
54		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			畏石,雲 母少量含 む。	14存。	封土。
第113図 55		摩耗。	摩耗。		:	縦へラ削 り。	摩耗。			長石多量 含む。	4存。	n
56		横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。	横ナデ。	: 	~	長石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。
57	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	縦ハケ目。			雲母細片 含む。	頸部-1-存。	封土。
58	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	縦ハケ目 後,斜ナ デ。			長石含む。		n
59	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							多量の長 石,石英, 雲母含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
60	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目 (太)後, 横ナデ。	縦ハケ目 (細)後, 横ナデ。			雲母含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	n

第38表 第2号集石墓伴出遺物観察表(4)

			成形	# J	び調	整の	痕 跡	勿既不少				Ī
挿図		□ å		頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
番号	口縁端部	内面	外面	内 面	外 面	内面	外面	内面	外面			
第113図	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残す。	斜ハケ目。			長石, 雲 母含む。	1 存。	封土。
62	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		(上部)斜 ヘラ削り。	縦ハケ目。			雲母細片 多量含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	"
63	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	1 存。	封土上位。
64	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	•		(上部)縦板ナデ。	斜タタキ 目後,縦 ハケ目。			砂粒をほ とんど含 まず精緻。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土中位。
65	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 (細)後, 横ナデ。	縦,横, 斜ハケ目。	縦ハケ目 (細)。			雲母細片 含む。精 緻	1 存。	封土上位。
66	横ナデ。	横 ナ デ (櫛 状 原 体)。	横ナデ。		横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 (細)。			長石細片 含む。	1 存。	土垃埋土。
67	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 (細)後, 横ナデ。	横ハケ目 (細)後. 横ナデ。	縦ハケ目 (細)。	指頭痕残す。			長石含む。 精緻。	1 存	封土上位。
68	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指ナデ。	縦ハケ目 (細)。			雲母細片 多量含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	,,
69	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜横ナデ。	縦ハケ目。			雲母含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。
70	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							雲母含む。 精緻。	$\frac{1}{5}$ 存。	n,
71	横ナデ後, 沈線 2 条 施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石少量 含む。	1 存。	· 11
72	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	縦ハケ目。		·	石英含む。	4存。	封土上位。
73	横ナデ。	横ハケ目 (細)後, 斜ナデ。	縦ハケ目 (細)後, 横ナデ。							長石, 雲 母含む。	18存。	封土。
74	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜指ナデ (不明瞭)。	斜 ナ デ (不明瞭)。	-		雲母含む。	4存。	"
75	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		`	斜指ナデ。	縦ハケ目。			長石含む。	1 存。	n
第114図 76						(下部)横 ハケ目。	(下部)縦 ハケ目後, 縦ヘラミ ガキ。	横ハケ目。	縦ハケ目 後,縦へ ラミガキ。	長石,石 英多量含 む。	底部完存。	封土上位。
77.								縦板ナデ。	(111170	長石,雲 母細片含 む。精緻。	底部完存。	封土。
78								縦ヘラ削 り。	縦ハケ目 (細)。(足 部)タタキ目か。	雲母含む。 精緻。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
79								縦,横, 斜ハケ目 (2種)。	斜ハケ目 (細)。(底 部)ハケ 目。	雲母多量 含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	"
80								縦指ナデ。	縦指ナデ。	砂粒をほ とんど含 まない。	1 存。	"

第39表 第2号集石墓伴出遺物観察表(5)

				ありな	· · · · · ·	***						
挿図			成形	およ	び調	整の	痕 跡		40	n, i		41. 1. 41. 682
番号	口縁端部	# 		頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
第114図 81		内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内面 縦、斜ハ ケ目。	外面 日 (最初である) がある (はない) がん (はな	長石,石 英含む。	1 存。	封土中位。
82	·							斜ハケ目 後, ヘラ ミガキ (丁寧)。		長石含む。	底部完存。	封土。
83								斜板ナデ。	縦,斜ハ ケ目。	長石,石 英含む。	底部完存。	n
84								摩耗著しい。	縦ヘラミ ガキ。	長石,石 英多量含 む。	底部完存。	n
85								ハケ目 (簾状)。	斜,間次, 板度, 板度)粗い (底)粗い 調整。	長石含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土上位。
86						(下部)斜 ヘラ削り。	(下部)縦 板ナデ。	(底部)指 頭痕残す。	(底)左上りを上りを後、大きを持ちます。 (底) がった () を	長石,雲 母細片含 む。	底部完存。	n
87		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				(下部)斜 指ナデ。	縦ハケ目 (細)。	縦ヘラミ ガキ後, 斜ナデ。	縦ハケ目 (細)。	長石含む。	底部完存。	封土。
88						縦ナデ。	斜ハケ目。	斜板ナデ。	縦ハケ目。	砂粒を含 まず精緻。	胴部 ¹ 疾部完存。	n
89								縦指ナデ。	縦ハケ目。	長石含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	11
90								縦, 横ナ デ(板 状 原体か。)。	右上りタ タ キ 目 (太)。	長石含む。	底部完存。	封土下位。
91								横、斜指ナデ。	横、斜指ナデ。	砂粒をほ とんど含 まない。	4 存。	封土上位。
92								斜 ナ デ (指頭痕 残す。)。	斜ナデ。	長石含む。	底部完存。	封土。
93				:				斜指ナデ。	縦,斜ハ ケ目。	長石,雲 母少量含む。	1/3 存。	"
94				-		(下部)横 ハケ目 (櫛状原 体)。	(下部)縦, 横指ナデ。	横ハケ目。	縦, 横指 ナデ。	長石含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
95									横タタキ 目(底 ま で)。	長石多量 含む。	底部完存。	封土上位。
96								斜ハヶ目 (太)。(底 部)板 デ。	摩耗。	長石含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土。
97								櫛状原体 による縦, 斜ハナデ。	縦ハケ目 (不明瞭)。	長石,石 英少量含 む。	1 存。	"
98								縦,斜板ナデ。	横,右上 りタタキ 目後,斜 ナデ。	襲母含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
99				-				斜ハケ目。 ·		長石,石 英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
100								斜指ナデ。 (底部)指 頭痕残す。	斜ナデ。	石英含む。	底部完存。	".

第40表 第2号集石墓伴出遺物観察表(6)

			成形	الم راد المر المالة	び調	整の	痕 跡	######				
挿図		□ #		頸	部	胴	部	底	部	胎.土	遺存度	出土位置
番号	口縁端部	内面	外面	内面	外面	内面	外.面	内面	外面			
第114図 101								斜, 横ナ デ。	縦ハケ目 (細)(底 まで)。	石英含む。	底部完存。	土垃埋土。
102	·							斜ハケ目 (細)。	斜ナデ (粗い調 整)。	長石含む。	底部完存。	封土。
103								指頭痕残す。	縦ヘラミ ガキ後, 横ナデ。	砂粒をほ とんど含 まず精緻。	底部完存。	"
104								横指ナデ。	摩耗。指 頭痕残す。	石英含む。	底部完存。	n
第115図 105								縦ヘラミ ガキ。	縦ヘラミ ガキ。	石英多量 含む。	底部完存。	封土上位。
106						(下部)縦 ヘラミガ キ。	(下部)縦 ハケ目。			長石,石 英含む。	底部完存。	n
107						(下部)横 ナデ。指 頭痕残す。	1			長石細片 少量含む。	脚台部完 存。	封土。
108						(下部)縦, 斜ハケ目。 (細)(底) 板ナデ。	(下部)縦 ハケ目 (細)。	ハケ目 (簾状)。	縦ハケ目。	長石少量 含む。	底部完存。 脚台部 ⁴ 存。	"
109						縦指ナデ。	指頭痕残す。			砂粒をほ とんど含 まず精緻。	脚台部完 存。	n
110						指頭痕残 す。	摩耗。	,		長石含む。	脚台部ほぼ完存。	"
第116図 130	横ナデ。	横ハケ目 後,横ナ デ。	横ナデ。			横, 斜へ ラミガキ。	横ハケ目 (細)。			長石少量 含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	n
131	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ハケ目 後,横ナ デ。			長石,石 英含む。	110存。	<i>"</i>
132	横ナデ。	横ナデ。	縦, 横, 縦ヘラミ ガキ。			縦ヘラミ ガキ。	縦, 横, 斜ヘラミ ガキ。			長石含む。	1 存。	"
133	摩耗。	摩耗。	摩耗。			斜ヘラミ ガキ。	摩耗。			砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{8}$ 存。	n
134	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				縦ハケ目。			長石含む。	1 存。	封土上位。
135	摩耗。	横ハケ目 後,横ナ デ。	横ナデ。			斜ハケ目 (細)後, 縦ヘラ削 り。	横, 右上り, 左上り 9 後, 一年科 (大学) 10 年 (大学) 11 (大学) 1			長石,石 英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。
136	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	不明瞭。	右上りタ タキ目後, 斜ハケ目 (細)。			雲母多量 含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	"
137		斜ハヶ目 (細)後, 斜 ナ デ (不明瞭)。	斜ハケ目 (細)後, 縦ナデ。			横ハケ目 (細)後, 縦ナデ。	横ハケ目 (細)後, 斜ナデ。			長石,石 英雲母細 片多量含 む。	1 存。	"
138	横ナデ。	摩耗。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。							長石含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	"
139		横ナデ。	横タタキ 目。横ナ デ。			縦ハケ目。	縦板ナデ。			長石細片 含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	"

第41表 第2号集石墓伴出遺物観察表(7)

			成形	およ	 び 調	整 の	痕跡		Ţ		
挿図		□ £	·····································	杯	部	脚	部		胎土	油左座	山上沙鄉
番号	口縁端部	内面	外面	内面	外面	内面	外面	脚端部	胎 土 	遺存度	出土位置
第 115 図 111		横ナデ。	横ナデ後, 刺 突 数 (半文) 管 す。	横ハケ目 後,ナデ か。	縦ヘラミ ガキ。	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。		砂粒をほ とんど含 まず精緻。	口縁部 <u>1</u> 存。	封土上位。
112	横ナデ。	横ナデ後, 凹線 4 条 施す。		摩耗。	横ナデ後,斜ハケ目。				砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。
113		横ナデ。	横ナデ。	横へラミ ガキ。	斜ヘラミ ガキ。				砂粒をほ とんど含 まず精緻。	1 存。	n,
114		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				長石, 雲 母細片含 む。精緻。	$\frac{1}{3}$ 存。	, ,,
115	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ヘラミ ガキ。				砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土上位。
116		摩耗。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部完存。	封土
117		縦ヘラミ ガキ。	縦ヘラミ ガキ。	斜ハケ目 (細)後, 縦ヘラミガキ。一部横ナデ。	縦ハケ目 (細)後, 縦へラミー がキ。ナデ。				長石,石 英少量含 む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。
118		摩耗。	摩耗。	摩耗。	斜ハヶ目 (太)。			-	長石多量 含む。	1 存。	"
119		斜ナデ。	斜ナデ。	斜, 横ナ デ。	斜ナデ。				石英含む。	1 存。	"
120	横ナデ後, 沈線1条 施す。	縦ヘラミ ガキ。	縦ヘラミ ガキ。						長石多址 含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
121						(上部)縦 板ナデ。 (下部)横 ナデ。	(上部)縦 ヘラミガ キ。縦 部)・縦 ラミガキ。		長石,石 英含む。	脚部 <u>1</u> 存。	封土。
122						(上部)横 ハケ目。 (下部)横 ナデ。	(上部)縦 ハケ目後, ナデ。(下 部)横 ナ	横ナデ。	長石,雲 母細片含 む。	脚端部 <u>1</u> 存。	"
123						斜ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	内外面とも横ナデ。	砂粒をほ とんど含 まない。	端部を欠 くが脚部 の遺存度 は良。	封土上位。
124						横ハケ目。	77.16	·	長石,石 英少量含 む。精緻。	脚部完存。	封土。
125						シボリ目。 横ナデ。	(上部)縦 ハケ目 (太)。(下部)斜ハケ目(細)。	横ナデ。	長石,細 片多量含 む。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土上位。
126						横ナデ。	横ナデ後, ヘラ描 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	横ナデ。	砂粒をほ とんど含 まず精緻。	1 存。	"
127						横ナデ。	縦, 横ハケラ 横, 後の 横, 歯竹 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変	横ナデ。	砂粒をほ とんど含 まない。	1 存。	"
128						斜ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	横ナデ。	雲母含む。	1 存。	封土。
129						斜ハケ目 後, 斜ナ デ。	斜ナデ。		雲母含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	,,

第42表 第2号集石墓伴出遺物観察表(8)

								### TT TT 1		,		
挿図			成形	よは	び調	整の	痕 跡					
番号	口縁端部		承 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
		内 面	外面	内 面	外面	内面	外面	内面	外面			
第116図 140	横ナデ後, 沈線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ後, 波状にへ ラミガキ。							砂粒を含まず精緻。	1 存。	封土。
141	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横へラミ ガキ。	摩耗。			雲母含む。		"
142	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	縦ハケ目。			長石,石 英含む。	口縁部を 欠くがほ とんど完 存。	n
143	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			(口 縁 直 下)板ナデ 後,小(下) 原体(下) 板ナデ。(下) 板ナデ。	縦ハケ目。			長石細片 少量含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	n
144	横ナデ。	横ハケ目 後,横ナ デ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。			斜ハケ目。	(和1)。	摩耗。	指頭痕残 す。(底) 指ナデ。	長石細片 含む。	完 形(口縁 一部欠)。	"
145	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。			縦板ナデ。	縦ヘラ削 り後,縦 ナデ。		指頭痕残す。	長石細片 含む。	1 存。	,,
146		横ナデ。 ————	横ナデ。			横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	横ナデ。			石英含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	封土上位。
147			-			摩耗。	横タタキ目。摩耗。	摩耗。	横タタキ目。摩耗。	長石,石 英含む。	口縁部を 欠くがほ ぼ完存。	封土。
148						摩耗著しい。	摩耗著しい。			長石多量 含む。	1/4存。	n
第117図 149						(下部)斜 ハケ目。	(下部)縦 指ナデ。	指頭痕残 す。	縦指ナデ。	砂粒をほ とんど含 まない。	底部完存。	"
150						縦へラ削 り。(下→ 上)	斜ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	長石,石 英多量含 む。	底部完存。	土址埋土。
151						縦へラ削 り後, ハ ヶ目。	縦ハケ目。	縦へラ削 り。指頭 痕残す。	縦ナデ。	長石, 雲 母含む。	胴部 <u>1</u> 弱 存。	封土。
152								斜ハケ目 (太)。	縦ハケ目。 (底)焼成 前穿孔 4 孔。	長石,石 英含む。	底部完存。	n
153					,			縦指ナデ。	縦板ナデ。	長石細片 含む。	底部完存。	"
154	横ナデ。	横ハケ目 後, 縦ナ デ。	横タタキ 目(太)。			(上部)縦 ナデ。	(上部)縦 ハケ目。			砂粒をほ とんど含 まず精緻。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土下位。
155		横ハケ目。 横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	一部斜ハ ケ目後, 横ナデ。			長石含む。	1 存。	n ·

第43表 第3号集石墓伴出遺物観察表(1)

			成形	およ	び 調	整の	痕跡					
挿図		□ #		頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
番号	口縁端部	内 面	外面	内面	外面	内 面	外面	内 面	外 面			
第120図 1	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。	(頸部以上)成形 前に斜へ ラ削り。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。			長石多量 含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	西部墳裾。
2	横ナデ後, 沈線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	縦,斜 ハケ目。			長石, 雲 母細片多 量含む。	1 存。	封土下位。
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	粗い調整。	縦ハヶ目 (太)。					長石含む。	頸部 1 存。	封土上位。
4	横ナデ後, 凹線2条 施す。	横ナデ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。	横 ナ デ (板)。	縦板ナデ (縦 ハ ケ 目先行)。					長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土下位。
5	横ナデ後, 沈線1条 施す。	横 ナ デ (刻 目 施 す。)。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 (細)後, 斜ナデ。					長石含む。	1 存。	n
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土中位。
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石細片 含むが精 緻。	1 存。	主体部埋土。
8	横ナデ後, 沈線3条 施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石細片 含む。	1 8存。	封土中位。
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石,石 英含む。	1 存。	封土。
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							砂粒をほ とんど含 まず精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。					長石,石 英含む。	1 存。	主体部埋土。
12	横ナデ。	横 ナ デ (摩耗)。	横ナデ。							長石細片 含む。	1 12存。	封土中位。
13	粘付デ。 に線で 体状 体状 体状 体状 体 は を は を は れ は れ は れ は れ は れ れ れ れ れ れ れ	横ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。							長石,石 英含む。	1 存。	封土下位。
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。(摩耗。)			:				長石,石 英含む。	1 存。	主体部埋土。
15	横ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	縦ヘラミ ガキ。					長石多量 含む。	1 存。	封土上位。
16	横ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土下位。
17	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。					長石,石 英含む。	1 存。	封土。
18	横ナデ。	横 ナ デ (摩耗)。	横ナデ。(摩耗。)	横ナデ。	横ナデ。					長石含む。	1 ₁₆ 存。	封土上位。
19	横ナデ後, 凹線 1 条 施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土。
20	横ナデ後, 竹管文施 す。	剝落。	剝落。							長石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土下位。

第44表 第3号集石墓伴出遺物観察表(2)

			成形	およ	び調	整の	痕 跡	7 KUNC 20				
挿図			承 部	頸	部	胴	部	rick	部	R4 1	油友庇	山上/5學
番号	口縁端部	·内面	外面	内面	外面	内 面	外面	内 面	外面	胎土	遺存度	出土位置
第120図	横ナデ後, ヘラ描鋸 歯文施す。	横ハケ目。		横ハケ目。	横ハケ目				,,,,	長石, 雲 母細片含 む。	$\frac{1}{3}$ 存。	封土上位。
22	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石, 雲 母細片含 む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"
23	横ナデ。	摩耗。	摩耗。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土下位。
24	横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。	指ナデ。	縦ハケ目。					石英含む。	1 存。	n
25	横ナデ後, 沈線2条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (ハ ケ 目 先行)。					長石,石 英含む。	1 存。	封土中位。
26	横 ナ デ (小 口 状 原体)。	横ハヶ目後. 横ナデ(板)。	横ナデ。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土。
27	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土下位。
第121図 28	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石, 雲 母細片含 む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土中位。
29	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (一部 縦 ヘラミガ キ)。							長石多量 含む。	1 8存。	封土上位。
· 30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					·		長石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。
31	横ナデ後, 櫛描波状 文施す。	斜ハケ目 後,横ナ デ。	横ナデ。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土上位。
32	横ナデ後, ヘラ描波 状文2条 施す。	横ナデ。	斜ハケ目 後,横ナ デ。							長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。
33	横ナデ。	横へラミ ガキ。	横 ナ デ (斜ハケ 目先行)。							長石含む。	$\frac{1}{20}$ 存。	封土下位。
34	横ナデ後, ヘラ描波 状文施す。	斜ハケ目 後, 横へ ラミガキ。	斜ハケ目。			-				砂粒をほ とんど含 まず精緻。	□縁端部 を欠くが 1 存。	封土上位。
35	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。沈 線施す。							長石細片 含む。	1 4存。	"
36	横ナデ。	横 ナ デ (摩耗)。	横 ナ デ (摩耗)。							長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	,, .
37		(立上部) 横ナデ。 (立上部 以下)横 ナデ。	(立 上 部) 横 ナ デ。 (摩耗)(立 上部以下) 横ナデ。	指ナデ。	縦ハケ目 後,横ナ デ。					長石多量 含む。	1 存。	"
38		摩耗。	摩耗。	摩耗。						長石多量 含む。	$\frac{1}{16}$ 存。	封土。
39	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。	斜ハケ目 後、横ナ デ。	指頭痕 (粗)残す。	斜ハケ目。					砂粒をほ とんど含 まず精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。
40		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。					長石,石 英多量含 む。	$\frac{1}{2}$ 存。	主体部埋土。

第45表 第3号集石墓伴出遺物観察表(3)

			成形	およ	び・調	整の	痕 跡					
挿図 番号	口縁端部			頸	部	胴	部	底	部	胎,土	遺存度	出土位置
第121図	横ナデ。	内 面 横ナデ。	外 面 横ナデ。	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	長石細片 含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。
42										長石多量 含む。		封土上位。
43				横ハケ目 後, 横ナ デ。	縦ハケ目。					砂粒をほ とんど精緻。	頸部 1/2 存。	封土。
44	横 ナ デ (弱)。	縦ナデ後, 横ナデ。	縦ナデ後, 横ナデ。		縦ハケ目。	指頭痕残 す(未調 整)。	斜ハケ目 (不明瞭)。				頸部4存。	封土下位。
45						横板ナデ, 縦ハケ目, 斜ヘラ削	縦ハケ目 後,横ナ デ。			少量の長 石,石英 含む。	体部 1 6存。	n
46		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	指頭痕残す。	突帯貼付 後,横ナ デ。			長石含む。	1 存。.	封土。
47						縦 ナ デ (指頭痕 残す。)。	縦ナデ。 ヘラ描絵 画(ハケ 先行か。)。			長石含む。 精緻。	胴部 ¹ 4存。	封土下位。
48						指ナデ。	縦ヘラミ ガキ。			砂粒をほ とんど含 まず精緻。	胴部 <u>1</u> 。	n
49				横ナデ。	横ナデ後, 縦ヘラミ ガキ。					長石多量 含む。	1 存。	封土。
50				縦ナデ。	摩 耗 (細 筋ハケ目 か。)。					長石,石 英含む。	$\frac{1}{20}$ 存。	封土中位。
第122図 51		横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目。	縦指ナデ。			長石,石 英多址含 む。	1 存。	封土下位。
52	横ナデ。	横ハケ目。	縦ハケ目。			剝落。	縦ハケ目。			長石多量 含む。	1/12存。	封土中位。
53	横ナデ。	横ナデ。	縦,横ナデ。			縦へラ削り。	縦 ナ デ (小口状 原体)。			長石含む。	l .	封土下位。
54	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後,ナデ (指頭痕 残す。)。			縦へラ削り。	縦ハヶ目 (小 口 状 原体)。			長石含む。 砂粒ほと んど含ま ない。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。
55	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横 ナ デ (指頭痕 残す。)。				石英含む。	1 存。	封土下位。
56	横ナデ。	縦ナデ後, 横ナデ。	横ナデ。			縦ナデ。	縦ハケ目 (小口状 原体)。			長石細片含む。	1/12存。	封土中位。
57	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	-		縦指ナデ。				長石,雲 母細片多 量含む。	1/20存。	封土上位。
58	横ナデ。	横ハケ目 (小口状原体)。	横ナデ。		-	斜指ナデ。	原体)。			長石含む。 雲母細片	8	封土中位。
59	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	横ナデ(指頭残す。)。	縦,斜ハ ケ目(細)。			含む。精 緻。	1/ ₅ 存。	封土上位。
60	横ナデ後, 沈線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 (細 筋 縦 ハケ目先 行。)。	指頭痕残 す。	縦ハケ目 (細)。 			多量含む。	1 存。	"

第46表 第3号集石墓伴出遺物観察表(4)

				成	形	およ	び調	整の	痕 跡			-		
挿図 番号	口縁端部	内面	縁	· 音		頸 内面	部外面	胴 内面	部 外面	底 内 面	部外面	一胎 土	遺存度	出土位置
第122図		Р3 Ш	+	横ナ		- 13 (Щ	77 184	r, m	/\ Ш .	γ, μ	, vi m	長石含む。	1 存。	封土下位。
62	横ナデ。	横ナデ。	,	横ナ	デ。			縦指ナデ (指頭痕 残す。)。	斜ハケ目。			雲母細片 多量含む。 精緻。	$\frac{1}{16}$ 存。	"
63	横ナデ。	横ナデ。	,	横ナ	デ。	横ナデ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。					長石含む。 砂粒ほと んど含ま ず精徴。		封土中位。
64	横ナデ後, 凹線1条 施す。	横ナデ。	,	横ナ	デ。	横ナデ。	横ナデ。					長石含む。というでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	1 12存。	封土。
65		横ナデ。	,	横ナ	デ。			斜ハケ目。	斜ハヶ目 (細)。			長石,石 英含む。 精徴。	1 存。	JJ
66	横ナデ。	横ナデ。	,	横ナ	デ。			指, 板併 用ナデ。	斜ハケ目 (細)。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"
67	横ナデ。	横ナデ	,	横ナ	デ。			斜ハケ目 後, 横ナ デ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。			長石含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土下位。
68	横ナデ。	摩耗。		摩耗	0	摩耗。	摩耗。					長石細片 含む。	1/10存。	封土上位。
69	横ナデ。	横ナデ	•	横っ	ナ デ 毛)。	ı						長石含む。	· ¹ / ₂₄ 存。	"
70	横ナデ。	横ナデ	,	横ナ	デ。			縦指ナデ (指頭痕 残す。)。	縦ナデ。			長石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。
71	横ナデ。	横ナデ		横ナ	デ。			縦ハケ目 後,指サ デ(指頭 痕残す。)。	縦ハケ目 (内 外 面 同 一 原 体)。			長石細片 多量含む。	· ¹ / ₈ 存。	封土上位。
72	横ナデ後, 凹線1条 施す。	横ナデ	0	横ナ	デ。			(頸部以上)接合 前に横へ ラ削り。	摩耗(縦ハケ目の痕跡 残す。)。			長石含む	· ¹ / ₁₂ 存。	封土下位。
73	横ナデ。	横ナデ		横ナ	デ。			指頭痕残 す。	縦ハケ目 (細)。			石英含む。	4存。	封土上位。
74	横ナデ。	横ナデ		横ナ	デ。							砂粒ほと んど含ま ず精緻。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土中位。
75	横ナデ。	横ナデ		横ナ	デ。			縦指ナデ。	横 ナ デ (縦 先 目 先 か。)。			雲母細片 多量含む	· ¹ / ₈ 存。	"
76		横ナデ		横ナ	デ。							雲母含む	· 1 76存。	封土上位。
77	横ナデ。	横ナデ	•	横ナ	デ。			横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	縦 ナ デ (指頭痕 残す。)。			長石含む	"	封土下位。
78	横ナデ。	横ナデ	•	横ナ	デ。							長石含む 砂粒ほと んど含ま ない。	· 1 8 存。	封土上位。
第123図 79	横ナデ。	横ナデ	•	横ナ	デ。			指ナデ。 (下部)未 調整。	斜ハケ目 後, ナデ。			長石多量 含む。	1 8存。	"
80	横ナデ。	横ナデ	•	横ナ	デ。	i						長石,石 英細片含 む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。

第47表 第3号集石墓伴出遺物観察表(5)

			成形	およ	び調	整の	痕 跡					
挿図 番号	口縁端部		·····································	頸	部	胴	部	底	部	胎,土	遺存度	出土位置
第123図	横ナデ。	内 面 横ナデ。	外 面横ナデ。	内 面	外面	内 面 指頭痕残 す。	外 面 縦,斜ハ ヶ目(細)。	内 面	外面	長石,石 英多量含 む。	1 30存。	封土下位。
82	摩 耗(横 ナデか。)。	横ナデ。	横ナデ。			縦へラ削り。				長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。
83	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				·	長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土下位。
. 84	横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。			横ハケ目 後,横ナ デ。	縦ハケ目。			長石細片 含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土。
85	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
86	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残す。	斜,縦ナ デ。			長石含む。 砂粒ほと んど含ま ず精緻。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土下位。
87	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。
88	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目。	摩耗。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
89	横 ナ デ (ハケ目 状原体)。	横ナデ。	横ナデ。							長石細片 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"
90		(立上部) 横ナデ。 (立上部 以下)横 ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部 以下)横 ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	"
91		(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ後, 沈線 4 条 施す。	横ナデ。	横ナデ。			,		長石含む。 砂粒と含ま が精緻。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土。
92		(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	横ナデ。	横へラ削 り。	縦ハヶ目 後,ナデ。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土下位。
93	横ナデ後, 凹線2条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	指頭痕残す。	斜ハケ目。			長石細片 含む。	頸部 1 存。	封土上位。
94	横ナデ後, 凹線 2 条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	縦ナデ。	斜ナデ。					長石,石 英含む。	1 存。	n
95	横ナデ後, 沈線複数 施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (指頭痕 残す。)。					長石多量 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土中位。
96		横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	横ナデ。			縦指ナデ。	横,右上 りタタキ 目。			長石含む。 砂粒ほと んど含ま ず精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。
97	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石多量 含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土中位。
98	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							雲母細片 多量含む。 精緻。	1 存。	"
99	摩 耗(横 ナデか。)。	摩耗。	摩耗。							長石細片 多量含む。	1 存。	"
100	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦へラ削り。	縦ハケ目, 横タタキ 目。	·		砂粒ほと んど含ま ず精緻。	1 存。	封土上位。

第48表 第3号集石墓伴出遺物観察表(6)

			成形	ょょ	び 調	整の	痕 跡					
挿図		□ &	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	頸		胴	部		部	胎土	遺存度	出土位置
番号	口縁端部	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	//II 32	AB 11 /A	11.12.12.12
第123図	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	横ナデ。	横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	横ナデ。			長石細片 含む。精 徴。	1 8存。	封土上位。
102	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦 ナ デ (接合部)。	横ナデ。	指頭痕残す。	斜ハケ目 (細)後, 横ナデ。			長石,石 英含む。	1 存。	封土下位。
103	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	·	,	指頭痕残す。	摩耗。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	主体部埋 土。
第124図 104						(下部)摩 耗。	(下部)縦 ハケ目。	横指ナデ。	斜 ナ デ (ハ ケ 目 先行か。)。	長石含む。	3 存。	封土下位。
105								縦へラ削 り。	横,右上 りタキ 目後,縦 ハケ目。	砂粒ほと んど含ま ず 精 緻。	底部完存。	封土。
106								摩耗。	摩耗。	長石,石 英多量含 む。	底部 1 存。	n
107								横,斜ハ ケ目。	横指ナデ。 	長石含む。 砂粒ほと んどま ない。	底部 ² 3存。	n
108								板ナデ。	縦ハケ目。	長石,石 英含む。	底部完存。	n.
109								縦,横ハ ケ目。	左上りタ タキ目。	雲母多量 含む。	底部完存。	n
110								斜指ナデ。		長石多量 含む。	底部 ¹ 2存。	n
111								横指ナデ (指頭痕 残す。)。	斜 ナ デ (原 体 不 明)。(底) 木葉痕。	長石雲母 含む。	底部完存。	"
112								縦,横, 斜指ナデ。	縦板ナデ。	長石細片 含む。	底部完存。	n
113								摩耗。	縦ヘラミ ガキ。	長石細片 含む。	底部完存。	n
114								斜へラ削 り。黒斑。	横, 右上 りを り後 目を まで)。	長石,石 英雲母含 む。	底部完存。	封土上位。
115								縦ナデ。	縦ハケ目。	長石含む。	底部完存。	封土。
116								縦ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	雲母細片 多量含む。	底部 ² 3存。	, ,
117								縦ハケ目。	縦ハケ目。	雲母細片 多量含む。	底部完存。	, "
118						斜ハケ目 (摩耗)。	縦板ナデ。	横指ナデ。	縦板ナデ。	石英細片 含む。	底部完存。	封土中位。
119								横ナデ。		長石含む。	底部 1/2 存。	封土。
120								横ナデ。	縦,斜ハ ケ目(底 まで)。	長石含む。	底部完存。	, "

第49表 第3号集石墓伴出遺物観察表(7)

			成形	およ	び調	整の	痕跡					
挿図 番号	43 AW +-	□ #	录 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
田勺	口縁端部	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第124図 121								縦へラ削 り。	縦ハケ目。	長石,石 英含む。	$\frac{3}{4}$ 存。	封土。
第125図 142						斜板ナデ。	指頭痕残す。	縦指ナデ。	指頭痕残す。	砂粒ほと んど含ま ず精緻。	口縁部の 存否判断 難。	封土中位。
143						摩耗。	縦ハケ目 (不明瞭)。			雲母細片 含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	封土上位。
144	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。	斜, 横ナ デ。	縦ナデ。	長石細片 含む。	1 以上完 存。	封土。
. 145	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			(上部)斜ナデ。	(上部)斜ナデ。			砂粒ほと んど含ま ず精緻。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土中位。
146	横ナデ後, 凹線, 沈 線1条施 す。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。
147	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			板ナデ後, 縦ヘラミ ガキ。	横ナデ後, 縦ヘラミ ガキ。			雲母細片 多量含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土。
148	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	右上りタ タキ目後, 斜ナデ。			長石含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	封土上位。
149	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	縦ナデ。			長石含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土。
150	横ナデ。	横ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。			(上部)横 ハケ目。	(上部)斜 ハケ目。			長石,雲 母細片含 む。精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	n
151	横ナデ。		斜ハケ目 (後 に 横 ナデ。)。			斜ハケ目 後, 縦へ ラミガキ。	斜ハケ目。			長石含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	n
152	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		-	横ナデ。	横ナデ。			石英含む。	$\frac{1}{16}$ 存。	封土下位。
153	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	横,縦ハ ケ目。			長石含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	封土。
154	横ナデ。					横ハケ目。	縦ハケ目 後 , 横 ナ デ。			長石含む。	$\frac{1}{20}$ 存。	n
156		横ナデ。	横ナデ。			横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	横ナデ。 縦ヘラミ ガキ。	横指ナデ。	横指ナデ。	長石細片 含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	n
161								ハ ケ 目 (簾状)。	縦ハケ目, 縦ナデ。	長石,石 英含む。	底部完存。	封土下位。
162								縦ナデ。	縦ナデ。 黒斑。	長石,石 英含む。	底部 ³ 存。	封土上位。
163								横ナデ。	横板ナデ。 黒斑。	長石含む。	底部完存。	<i>"</i>

第50表 第3号集石墓伴出遺物観察表(8)

				成形	およ	び調	整の	痕 跡				
挿図 番号	C 63. → 11. → 17		¥	献 部	杯	部	脚	部	BHO AHU 1517	胎 土	遺存度	出土位置
ш.у	口縁端部	内。	đ	外面	内 面	外面	内 面	外 面	脚端部			4
第124図 122	横ナデ。	斜,横デ。		横ナデ。						砂粒ほと んど含ま ず精緻。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土上位。
123	横ナデ後, 沈線3条 施す。	横ナデ (下部) ヘラミ キ。	。横ガ	横ナデ。 (下部)横 ヘラミガ キ。						長石細片 含む。	$\frac{1}{16}$ 存。	"
124	横ナデ後, 凹線3条 施す。	摩耗。		横ナデ。						長石,石 英含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土下位。
125		横ナデ	•	横ナデ。	横ナデ。	横へラミ ガキ。				砂粒をほ とんど含 まず精緻。	$\frac{1}{10}$ 存。	封土中位。
126							横ハケ目 後,横指 ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	横ナデ。	長石,石 英含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	封土上位。
127							横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	長石細片 含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土下位。
128							横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	砂粒をほ とんど含 まず精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。
129							摩耗。	摩耗。	横ナデ後、凹線 2 条 施す。	長石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
130				1			横ナデ。	縦板ナデ。		長石含む。	脚部完存。	n
131							縦板ナデ。			石英細片 含む。	脚部 <u>3</u> 存。	11
132							(上部)横 ナデ。(下 部)横 ナ	(上部)縦 ヘラミガ キ。(下 部)縦へ ラミガキ。		長石細片 含む。	脚部完存。	11
133		斜へラ ガキ。		斜ヘラミ ガキ後, 横ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	斜ハケ目。				長石細片 含む。	1 存。	"
134					摩耗。	井形にへ ラミガキ。	縦指ナデ。	縦ヘラミ ガキ。		長石細片 含む。	杯部,脚 部一部存。	封土上位。
135					井形にへ ラミガキ。	摩耗。				雲母細片 含む。	杯部一部 存。	封土中位。
136				****			シボリ目。 (下部)横 ナデ。	縦ヘラミ ガキ。		長石含む。	脚上部存。	封土下位。
137							縦ナデ。	縦ヘラミ ガキ。		長石,石 英多量含 む。	脚上部存。	封土上位。
138			•				(上部)シ ポリ目。 (下部)横 ナデ。	(上部)縦 ハケ目ラ 縦 がキ。(ド 部)縦 目。		長石細片 含む。	1 存。	封土。
139					斜ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		雲母含む。	杯部完存。	"
140							摩耗。	摩耗。		長石含む。	脚部 ¹ / ₃ 存。	n
141							縦指ナデ。	縦ヘラミ ガキ。		砂粒ほと んど含ま ず精緻。	脚上部存。	"

第51表 第4号集石墓伴出遺物観察表(1)

			成 形	およ	び 調	<u></u> 整の						
挿図 番号	口縁端部	口 編 内 面	录 部 外 面	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
第128図 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	内面	外面	斜へラ削り。	外面 縦ハケ目。	内 面	外 面	長石, 雲 母微細片 含む。	胴部 <u>1</u> 存。	封土。
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目 後,縦ナ デ。	縦ハケ目。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	南部墳裾。
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後,横ナ デ。					長石, 雲 母微細片 含む。	1 存。	封土。
4	横ナデ後, (沈 線 状 2 条か。)。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目 後, 横ナ デ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。					長石,雲 母微細片 多量含む。	1 存。	"
5	横ナデ後, 凹線施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石,雲 母微細片 多量含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	"
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石, 雲 母含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	"
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石,石 英含む。	1 存。	北西部土 器群。
8	横ナデ後, 竹管文施 す。	横ナデ。	横ナデ。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土。
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石, 雲 母細片含 む。	$\frac{1}{12}$ 存。	n
10		横ナデ。	横ナデ。 (縦 細 筋 ハケ目先 行か。)。	縦指ナデ。	縦ハケ目 (細)。					砂粒は含までは含までは、一般を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	1 存。	11
11		横ナデ。	横ナデ。	指頭痕残 す。	縦ハケ目 (細)後, 横ナデ。					砂粒ほと んど精緻。 雲母含む。	1 存。	"
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後,横ナ デ。	横ナデ。					長石,石 英含む。	1 存。	"
13	横ナデ, 凹線 1 条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	:						石英含む。	1 8存。	n
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	n
15	横ナデ後, 凹線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ, 縦ヘラミ ガキ。							石英含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	"
16	横ナデ後, 凹線1条 施す。	横ナデ。 横へラミ ガキ。	横ナデ。							長石,石 英含む。	1 弱存。	北西部土 器群。
17	横ナデ後, 凹線 1 条 施す。	摩耗。	横ナデ後, 縦ヘラミ ガキ。							長石,石 英多量含 む。	1 存。	1)
18	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。							長石,石 英含む。	1 10 け。 い。	n
19	横ナデ。	(立上部) 摩耗。	(立上部) 横ナデ。							長石,石 英含む。	1 6存。	封土。
20	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。							長石,石 英多量含 む。	$\frac{1}{8}$ 存。	北西部土 器群。

第52表 第4号集石墓伴出遺物観察表(2)

			成形	およ	び調	整の	痕 跡					
挿図 番号	口縁端部	口組	永 部	頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
		内 面	外面	内 面	外面	内面	外面	内 面	外面			
第128図 21	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	摩耗。	縦ヘラミ ガキ後, 一部横ナ デ。					長石,石 英含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	北西部土 器群。
22	横ナデ後, 凹線1条 施す。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	封土。
23	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ナデ。	横ナデ。					長石,石 英多量含 む。	$\frac{1}{3}$ 存。	北西部土 器群。
24	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	横 ナ デ (摩耗)。	横ナデ。					長石,石 英含む。	1 存。	封土。
25	横ナデ。	摩耗。	縦ハケ目 (細)後, 横ナデ。							長石,石 英含む。	1 存。	"
26	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。					長石,石 英含む。	1 存。	北西部土 器群。
27	横ナデ。	横 ナ デ (摩耗)。	横 ナ デ (摩耗)。							石英含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	"
28	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (一部縦 ハケ目先 行。)。	縦ハケ目。	縦ハケ目。					長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。
第129図 29	横 ナ デ (ハ ケ 目 原体か。)。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。	横へラ削り。	縦ハケ目。			長石,石 英,雲母 細片含む。	頸部以上 完存。	"
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					-		長石,石 英多量含 む。	1 10存。	n,
31		横 け ケ を り 。 し 、 、 を 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。					長石,石 英,雲母 微細片含 む。	$\frac{1}{3}$ 存。	"
32	横ナデ。	横 け が (横 先 行 か。)。	横ナデ。 横タタキ 目。	横ナデ。	斜ハケ目。 横タタキ 目。					長石, 雲 母多量含 む。	頸部 <u>1</u> 存。	"
33	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石, 雲 母細片含 む。	$\frac{1}{5}$ 存。	"
34		横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残す。	縦ハケ目。			長石, 雲 母含む。	頸部以下 1/3 存。	"
35	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ (指頭痕 残す。)。	縦ナデ。			石英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	, ,,
36	横ナデ。	横 ナ デ (摩耗著 しい。)。	横 ナ デ (摩耗著 しい。)。							石英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	,, .
37	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	n
38	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							石英含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	北西部土 器群。
39	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							石英含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	封土。
40	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"

第53表 第4号集石墓伴出遺物観察表(3)

···						- T		#U.JK-2\		T	T	1
HE (173)	·		成形	よは	び調	整の	痕 跡					İ
挿図 番号	口縁端部	-	录 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
第129図 41		内 面	外面	内面 (上かり) 横い横い (下かり) (下がり) (下がり) (下がり) (大がり) (大が	外面 縦(太) (面を原 か。)。	内面	外面	内 面	外 面	長石,石 英含む。	1 存。	封土。
42		摩耗。		摩耗。	横 ナ デ (刻目)。	横ハケ目 (摩耗)。	縦, 横ナ デ。			長石,石 英多量含 む。	頸部4存。	南部墳裾
43						横指す。) (指頭。 (指頭。) 摩耗著い。	摩 耗(横ハケ目)。			長石, 雲 母含む。	胴部 1 存。	封土。
44						指頭痕残す。	摩耗。			頁岩と考 えられのの 岩石子をむ。 量さむ。	胴部ほぽ 完存。	"
45				縦ナデ。	横ナデ。					長石,石 英,雲母 含む。	頸部 <u>1</u> 存。	南部墳裾。
46				摩耗。	横ナデ。					雲母細片 多量含む。	頸部-4存。	封土。
47				横ナデ。	横ナデ。 貼付突帯 施す。					長石含む。	頸部 <u>1</u> 存。	n
48				斜ハケ目 後,横ナ デ。	縦ハケ目。			·		長石,石 英含む。	頸部-1/4 存。	"
49				横 ナ デ (摩耗)。	横 ナ デ (摩耗)。					長石,石 英多量含 む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
第130図 50				横ハケ目 後,縦ナ デ。	縦ハケ目。					長石含む。	頸部 ¹ 3存。	"
51				摩耗。	縦細ハケ 目後, 横 ナデ。					雲母細片 含む。	頸部4存。	"
52				横ナデ。	横ナデ。					石英多址 含む。	1 存。	"
53				横ナデ。	櫛状原体 による縦 ハケ目後, 横ナデ。					長石,雲 母細片含 む。	頸部 ½ 存。	II
54				横ナデ。	横ナデ。					長石,石 英含む。		"
55	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		楼 上 3	横ナデ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。			長石, 雲 母細片含 む。	12	北西部土 器群。
56	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (縦 先 目 か。)。	指頭痕残 す。	斜ヘラミ ガキ。			雲母細片 多量含む。 精緻。	Ů	封土。
57	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ (指頭痕 残す。)。	縦ハケ目 (細)。			長石,石 英,雲母 細片含む。	1 存。	. ,,
58	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							砂粒ほと んど含ま ず精緻。	$\frac{1}{8}$ 存。	北西部土 器群。
59	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。	()手作()。			長石, 雲 母微細片 含む。	1 存。	封土。
60	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	指頭痕残 す。	摩耗(縦ハケ目か。)。			雲母細片 含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	"

第54表 第4号集石墓伴出遺物観察表(4)

				1- 1	- * m	who on	rdr na					
挿図			成形	およ	び調	整の	痕 跡					
番号	口縁端部	内面	录 部		部 外 面	内 面	部 外面	内 面	部 外 面	胎土	遺存度	出土位置
第130図 61	軽く横ナ デ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,, <u></u>	横ナデ。	右上りタ タキ目後, ハケ目 (細)。			雲母微細 片含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	南部墳裾。
62	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。	左上りタ			長石,石 英含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	封土。
63	横ナデ。	横ハケ目 後, 横ナ デ。	右上りタ タキ目後, 横ナデ。			斜指ナデ。	横,右上 りタタキ 目。			長石, 雲 母含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	南部墳裾
64	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ヘラ削 り後, 横 ナデ。	縦ハケ目。			長石, 雲 母細片含 む。	1 存。	n
65	横ナデ後, 凹線1条 施す。		縦ハケ目 後,横ナ デ。			横指ナデ (接合部残 痕跡が粗い 調整。)。	横,右上 りタタキ 目後,斜 ハケ目。			砂粒を含 まない。 長石細片 含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	n
66	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。	横へラ削り。	摩耗。			長石, 雲 母細片含 む。	$\frac{1}{6}$ 存。	北西部土 器群。
67	横ナデ後, 沈線 1 条 施す。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残 す。	横ナデ。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	"
68	横ナデ後, 沈線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。		縦,斜ハ ケ目(細) 後,横ナ デ。					長石細片 含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	南部墳裾。
69	小口状原 体による 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削 り後, 横, 斜ハケ目。	横タタキ 目後、5 経ハ、斜ナ ぎ。			雲母微細 片含む。	頸部 <u>1</u> 7存。	封土。
70	横ナデ。	横ハケ目 後,横ナ デ。	横ナデ。			斜へラ削 り。	縦ハケ目 (摩耗)。			長石, 雲 母細片含 む。	· 1 4存。	南部墳裾。
第131図 71	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横へラ削り。	横ナデ。			石英含む。	1 4弱存。	封土。
72		横ナデ。	横ナデ。			縦へラ削 り後、横 ナデ。	縦、斜ハ ケ目。			長石,雲 母細片含 む。	$\frac{1}{6}$ 存。	"
73		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 (櫛状原 体)後,横 ナデ。	指頭痕残す。	縦ハケ目。			雲母細片 多量含む。 精緻。	1 存。	"
74		横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	"
75	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横 ナ デ (指頭痕 残す。)。			長石,石 英多量含 む。	胴部 1/3 存。	北西部土 器群。
76	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残 す。	摩耗。			石英含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	JI .
77	横ナデ。	斜ハケ目 後,横ナ デ。	斜ハケ目 後,横ナ デ。			横ハケ目。	斜, 縦ハ ケ目。			雲母細片 多量含む。	1 存。	封土。
78	横ナデ後, 沈線1条 施す。	横 ナ デ (板 状 原 体か。)。	横 ナ デ (板 状 原 体か。)。	横ハケ目。		斜ハケ目。	摩耗。			石英,雲 母細片多 量含む。	1 存。	"
79	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ							石英含む。	1 存。	北西部土 器群。
80	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後,横ナ デ。			縦ヘラ削 り後,指 ナデ。	斜, 縦ハ ケ目。			長石, 雲 母細片多 量含む。	1 強存。	封土。

第55表 第4号集石墓伴出遺物観察表(5)

···			-4 =-/	h. 1	*¢ =m	the c	<i>i</i> →			<u> </u>		
挿図			成形	およ	び調	整の	痕跡			п/.	سد ند مد	11 1 14 15
番号	口縁端部	内面	外面	内 面	外 面	期 一	部 外面	底 内 面	部 外面	胎 土	遺存度	出土位置
第131図 81	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	1.7 124	71 Ш	1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1	/ m	, , ш	, 1	長石含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	北西部土 器群。
82	横ナデ。	横ハケ目。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。		斜ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。	横ハケ目。			長石,石 英含む。	1 存。	封土。
83		横ハケ目 後,横ナ デ。	横ナデ。			横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	横タタキ 目後,縦 ハケ目。			雲母細片 多量含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	. "
84	横ナデ。	剝落,摩 耗。	剝落,摩 耗。			指 が デ痕 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	摩耗著しい。			長石, 雲 母含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	"
. 85	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。	右上りタ タキ目後, 横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。	横ナデ。	縦タタ横、タキ 関後、横り 横が大力が 大横が 大横が			長石,石 英含む。	1 存。	"
86	横ナデ後, 凹線 2 条 施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{16}$ 存。	"
第132図 87								横ナデ。	横ナデ。	石英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
88								摩耗。	主に縦板ナデ。	長石,石 英多量含 む。	底部完存。	南部墳裾。
89				-		横指ナデ。	縦ハケ目。	指頭痕残す。	縦板ナデ。	長石,雲 母細片含 む。	底部完存。	封土。
90								指ナデ。 (大 部 分 摩耗。)。	指 ナ デ (指 数 サ す)。粗 い 調整。	長石,石 英,雲母 多量含む。	底部完存。	11
91						-		横ハケ目。	横,右上	長石含む。	底部完存。	"
92								摩耗。	縦ハケ目。	長石,石 英含む。	底部 1/2 存。	n
93								l .	横指ナデ。	雲母含む。	3 4存。	南部墳裾。
94								(上部)板 ナデ。(下 部)指 ナ	横ハケ目 後,横ナ デ。	長石細片 含む。	底部完存。	封土。
95								横板ナデ。	縦 ナ デ (板 状 原 体か。)。	石英多量 含む。	底部完存。	"
96								摩耗。	底周囲指 頭痕残す。	石英含む。	底部完存。	n
97								横指ナデ (摩耗)。	横指ナデ (摩耗)。	雲母細片 含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
98						(下部)縦板ナデ。	(下部)縦板ナデ。	縦指ナデ。	縦板ナデ (指頭痕 残す。)。	長石,石 英含む。	底部完存。	"
99						(上部)縦 ハケ目後 縦板ナデ (下部)縦 板ナデ。	(上り目ラ(トラ) 右タ縦ガキへき(大力) を(できる) (上り目 ラ(できる) (上の) を(できる) (上の) を(上の)	縦板ナデ。	ラミガキ。 	長石,石 英含む。	底部完存。	"
100							~ 1	縦板ナデ (摩耗)。	右上り夕 タキ目を 縦 カキ。	砂粒含ま ず精緻。 雲母含む。	底部 1 存。	, ,,

第56表 第4号集石墓伴出遺物観察表(6)

			成形	およ	び 調	整の	痕 跡	// PK 3K 2K				
挿図		□ #		頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
番号	口縁端部	内 面	外面	内 面	外 面	内面	外面	内 面	外面			
第132図 101								丁寧な縦ハケ目。	縦 ハケ目 後,縦切す が 板ラミ ガキ状)。	長石, 雲 母含む。 精緻。	底部完存。	封土。
102								斜板ナデ。	ハケ目。	長石, 雲 母含む。	底部 ¹ 存。	· "
103				:				斜指ナデ。	型 (長石含む。	脚台部完 存。	"
104		:						(上 部)縦 ハケ目。 (下 部) 縦 ヘラ下 削)・ (最 アデ。 縦ナデ。	() () () () () () () () () ()	長石,石 英,雲母 含む。	底部 ¹ 2存。	南部墳裾。
105								指頭痕残 す。	縦板ナデ。	長石多量 含む。	脚台部 <u>1</u> 存。	封土。
106						(下部)縦 ヘラ削り 後,ナデ。	(下部)斜 ハケ目後, 縦ヘラミ ガキ。	縦へラ削り。	縦ヘラミ ガキ。	石英含む。	底部 ½ 存。	北西部土 器群。
107								摩耗。	摩耗。	長石,石 英含む。	底部完存。	封土。
第133図 108								摩耗。	縦指ナデ。	石英多量 含む。	底部 ¹ 2 存。	n
109								摩耗。	摩 耗(板 ナデか。)。	石英含む。	底部完存。	"
110								縦ヘラ削 り後, 指 ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	長石含む。	底部 ½ 存。	北西部土 器群。
111		·						縦へラ削 り。	縦板ナデ。	長石含む。	底部完存。	封土。
112								縦,横ハ ケ目後, 縦指ナデ。	横,右上 り後,右 目後,ケ (細)。	雲母細片 含む。	底部完存。	"
113								斜指ナデ。		長石,石 英多量含 む。	底部完存。	<i>n</i> .
114								斜指ナデ。	縦ハケ目。	長石含む。	底部完存。	n
115								横板ナデ。	縦板ナデ。	長石,石 英,雲母 細片含む。	底部完存。	"
116		į						指 ナ デ (指頭痕 残す。)。	縦ヘラミ ガキ。	長石含む。	底部 ¹ 2存。	"
117								横 ナ デ (不明瞭)。	縦ハケ目。	長石,石 英含む。	底部完存。	"
118								斜へラ削 り。	縦、横、 斜ハケ目 (細)。	長石, 雲 母細片含 む。精緻。	底部 1 存。	"
119								指頭痕残す。	縦板ナデ。	石英含む。	底部完存。	"
120								横ハケ目。	摩耗。	長石含む。	底部 1/5 存。	南部墳裾。

第57表 第4号集石墓伴出遺物観察表(7)

			成形	およ	び調	整の	痕 跡					
挿図 番号	口縁端部	□ #	永 部	頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
		内 面	外面	内 面	外面	内面	外面	内 面	外 面			
第133図 121								横指ナデ。	右上りタ タキ目。	石英含む。 精緻。	底部完存。	封土。
122								横指ナデ。	斜ナデ。	雲母細片 含む。	底部 ¹ 存。	南部墳裾。
123								斜指ナデ (指頭痕 残す。)。	板ナデ。	精緻。	底部完存。	封土。
124								縦へラ削り。	縦ハケ目。	長石含む。	底部完存。	"
125								斜指ナデ。	横指ナデ (指頭痕 残す。)。	砂粒含ま ず精緻。	底部 ½ 存。	南部墳裾。
126								横 ナ デ (不明瞭)。	縦板ナデ。	長石,石 英含む。	底部完存。	封土。
第135図 148	横ナデ後, 凹線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横 ナ デ (タ タ 先 目 先 か。)。		÷	長石,石 英含む。	1 存。	<i>"</i>
149	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	摩 耗 (タ タキ目先 行か。)。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	北西部土 器群。
150	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残す。	横ナデ。			長石,石 英含む。	1 12存。	n,
151	横ナデ。	横 ナ デ (櫛 状原体か。)。	横ナデ。			指ナデ。	横ハケ目。			長石細片 含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土。
152	横ナデ。	横ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。			横ハケ目。	縦ハケ目。			雲母細片 多量含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
153	横ナデ後, 沈線 2 条 施す。	縦ハヶ目 (細)後, 横ナデ。	縦ハケ目 (細)後, 横ナデ。			斜ハケ目 (細)後, 横ナデ。	縦ハケ目 (細)。			長石細片 含む。	1 4存。	"
154		横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。	縦指ナデ。		指頭痕残す。	雲母細片 多量含む。 精緻。	口縁部 ¹ 存。	南部墳裾。
155		横ナデ。	摩耗。			斜ハケ目。	摩耗。			長石,石 英,雲母 含む。	10存。	封土。
156		横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	斜へラ削 り後,指 ナデ。			雲母細片 多量含む。	ほぼ完存。	南部墳裾。
157	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。	斜ナデ。	斜ナデ。	長石,石 英含む。	口縁部一部存。	封土。
158	横ナデ。	縦ナデ(指 頭痕残す。 板ナデの 可能性 有)。	縦 ナ デ (指頭痕 残す。)。							長石,石 英含む。	口縁部 ¹ 存。	"
159	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜ハケ目。 黒斑。	斜ハケ目。	斜ハケ目。 黒斑。	雲母含む。	完存。	南部墳裾。
160	横ナデ。					横板ナデ。	縦板ナデ。			砂粒ほと んど含ま ず精緻。	底部完存。	封土。
161		横ナデ。	横ナデ。			摩耗著しい。	縦,斜板 ナデ。		指頭痕残 す。	長石,石 英細片多 量含む。	ほぽ完存。	南部墳裾。

第58表 第4号集石墓伴出遺物観察表(8)

ARE GOT			成形	よは	び調	整の	痕 跡					
挿図 番号	口縁端部	口絲	部	頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
	التا الله يوم ت	内面	外面	内 面	外 面	内 面	外面	内面	外面			
第135図 162		横指ナデ。	横 ナ デ (板か。)。			縦ナデ。	斜ハケ目 (小 口 状 原体)。	摩耗。	横 ナ デ (ハ ケ 目 先行か。)。	長石,石 英,雲母 多量含む。	口縁を一 部欠くが ほぼ完存。	封土。
163	!		横ナデ。			横、斜指ナデ。	縦指ナデ。		指 ナ デ (粗い調 整)。	長石,雲 母細片多 量含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	"
164	横 ナ デ (片 口 か。)。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横, 左 り カ カ 日 日 部 ば カ そ り れ り れ り れ り れ り れ り れ り り れ り り り り	·		石英多量 含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
165	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横タタキ目。		·	長石,石 英含む。	1 14存。	11
第136図 166		縦ヘラミ ガキ後, 横ナデ。	横ナデ。			縦ヘラミ ガキ。	斜ハケ目。			長石含む。 精緻。	$\frac{1}{12}$ 存。	南部墳裾。
167		斜ハケ目 後, 横ナ デ。	横指ナデ。			縦板ナデ。	斜ハケ目 後 , 横 ナ デ。	指頭痕残す。	縦指ナデ。	長石,石 英含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	"
168	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。							長石含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	北西部土器群。
169								縦指ナデ。	縦ハケ目 (櫛 状 原 体)。	長石,雲 母含む。	底部完存。	南部墳裾。
170						·		縦ナデ。	縦 ナ デ (板 状 原 体)。	長石含む。	底部完存。	封土。
171		横ナデ。	横ナデ後, 縦ヘラミ ガキ。							長石, 雲 母細片含 む。	口縁部 <u>1</u> 存。	"

第59表 第4号集石墓伴出遺物観察表(9)

				2002	ר דיקות			が 能ながらな (2)			
+== 1571			成形	よは	び調	整の	痕 跡				
挿図 番号	口縁端部	□ #	* 部	杯	部	脚	部	脚端 部	胎 土	遺存度	出土位置
		内面	外面	内 面	外面	内面	外面				
第134図 127		横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (ヘラミ ガキか。)。	斜ハケ目 後 , 横 ナ デ。	(上部)横 ナデ。(下 部)横 ハ ケ目。	縦ハケ目。	横ナデ。	長石,石 英多量含 む。	ほぽ完存。	北西部土 器群。
128		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				長石,石 英 (特 が 英 い。)。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
129		横ナデ。	横 ナ デ (縦 ハ ケ 目先行)。						長石, 雲 母含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。
130	軽く横ナ デ。	横 ナ デ (摩耗)。	横ナデ。	縦 ナ デ (摩耗)。	横ハケ目。				長石,石 英多量含 む。	口縁部, 脚部の一 部を欠く がほぼ完 存。	北西部土 器群。
131				横ナデ。	横ナデ。				長石, 雲 (特に の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	$\frac{1}{6}$ 存。	封土。
132				井形にへ ラミガキ。	摩耗。				長石,石 英多量含 む。	杯部存。	"
133				横へラミ ガキ。	井形にへ ラミガキ。				長石, 雲 母含む。	杯部 1 存。	"
134						横 ナ デ (摩耗著しい。)。	縦ハケ目。	横ナデ。	長石,石 英多量含 む。	$\frac{1}{2}$ 弱存。	"
135						シボリ目。	縦ハケ目。		長石含む。	脚上部存。	n
136				井形にへ ラミガキ。	縦ハケ目。	横ナデ。	縦ヘラミ ガキ。		長石,石 英多量含 む。	杯,脚部存。	"
137						縦 ナ デ (摩耗著 しい。)。	縦 ナ デ (摩耗著 しい。)。	横ナデ後、凹線1条施す。	長石,石 英多量含 む。	1 存。	"
138						摩耗。	縦ヘラミ ガキ。	横ナデ後、凹線1条施す。	長石多量 含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	北西部土 器群。
139						摩耗。	摩耗。	横ナデ。	雲母含む。	1 存。	封土。
140						縦ナデ。	縦ヘラミ ガキ。		長石, 雲 母含む。 精緻。	脚部 1 存。	"
141			•	摩耗。	摩耗。				石英含む。	杯部 1 存。	n
142						(上部)シ ボリ目。 (下部)横 ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	,	長石含む。	脚部 <u>1</u> 存。	北西部土 器群。
143				摩耗。	摩耗。	シボリ目。	摩耗。		石英含む。	脚上部存。	封土。
144						シボリ目, 縦指け (指頭 残す。)。	縦ヘラミ ガキ。		長石,石 英多量含 む。	脚上部存。	"
145						シボリ目, 指 ナ 頭 (指す。)。	縦ハケ目。		雲母含む。	脚上部存。	"
146						(上部)横 ナデ。(下 部)縦 ナ	縦ヘラミ ガキ。	w	石英含む。	脚上部存。	"

第60表 第4号集石墓伴出遺物観察表(10)

			成形	およ	び調	整の	痕 跡	-			
挿図 番号	口縁端部	□ #	录 部	杯	部	脚	部	PHO 344 ' 377	胎 土	遺存度	出土位置
,	口称响印	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	脚端 部		i	
第134図 147						横ナデ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。		長石, 細 片含む。	脚部十分存。	北西部土器群。

第61表 第5号集石墓伴出遺物観察表

			成形	およ	び調	整の	痕 跡					
挿図 番号	口縁端部	□ &	* 部	頸	部	胴	部	底	部	胎·土	遺存度	出土位置
	CI DIPLEMENT CIT	内 面	外面	内 面	外面	内面	外面	内面	外面			
第138図 1		(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ後, 凹線 2 条 施す。	横ナデ。	横ナデ。					長石,石 英含む。	頸部 1 存。	封土下位。
2		·		斜ハケ目 後,縦板 ナデ(下 部のみ)。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。					長石,石 英含む。	頸部 1 存。	封土上位。
3	横ナデ後, 凹線 1 条 施す。	横 ナ デ (横ハケ 目先状 (棒)。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。							長石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
4	横ナデ。	横 ナ デ (板 状 原 体)。	横 ナ デ (板状原 体)。	横ハケ目。	縦ハケ目 後,横ナ デ。					長石細片, 雲母含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。
5		横ナデ。	横ナデ。			斜,横へ ラ削り。	縦ハケ目(細)			長石, 雲 母細片含 む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土下位。
6		斜ハケ目 後, 横ナ デ。	横 タ 縦 り は 後 、 横 ナデ。			(上部)縦 指ナデ。 (下部)指 ナデ。	(上 部) (上 部) (カード を で で で で で で で で で で で で で で で で で で			長石,石 英含む。	完存(口 縁部若干 欠)。	n n
7		斜ハケ目 後,横ナ デ。	右上りタ タキ目後, 横ナデ。			縦指ナデ。				長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	斜ハケ目。			長石細片 含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	n,
9		横 ナバ 手 り り か。)。	横 け り り り り り り り り り り り り り り り り り り			斜ハケ目。	自			砂粒ほとまない。細片含む。	1 存。	n
10	横ナデ。	縦指ナデ 後,横ナ デ。	縦指ナデ 後, 横ナ デ。	縦指ナデ (指頭痕 残す。)。	縦指ナデ (指頭痕 残す。)。	縦, 横指 ナデ(指 頭 痕 す。)。	縦, 横指 対頭 変 す。)。 い調整。	縦, 横指 ナデ(指 頭 痕 残 す。)。	縦, 横指 ナデ(指 頭 痕 残 す。)。	長石細片, 頁岩粒含 む。	ほぼ完存。	n.
11						横ナデ。	横タタキ 目。	斜ナデ。	横タタキ 目後, 横 ナデ。	長石, 雲 母細片含 む。	底部完存。	封土上位。
12						縦へラ削り。	縦ハケ目。	縦ヘラ削 り(指頭 痕残す。)。	縦ハケ目 後,斜ナ デ。	長石, 雲 母細片含 む。	底部完存。	封土。
13						縦ナデ。	左上り夕 タキ目後, 斜ナデ。	横ハケ目。	左上り夕 タキ目後, 斜ナデ。	長石少量, 雲母含む。	底部完存。	n ·

第62表 第6号集石墓伴出遺物観察表(1)

			成形	およ	び調	整の	痕 跡	0 KU 375 25				
挿図		□ #	永 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
番号	口縁端部	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面			
第142図 1	横ナデ。	横ハケ目(細)。	縦ハケ目。	横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	縦ハケ目。	縦指ナデ。	縦ハケ目 (細)。			長石,石 英含む。	口縁部ほ ほ完存。	土器群。
2				指ナデ後、 縦板ナデ。	小口状原 体による 縦板ナデ。	横指ナデ。	横ナデ。			長石,石 英含む。	頸部完存。	"
3				横ナデ。	縦ハケ目。	縦指ナデ, 縦ヘラ削 り。	横り り 縦 り 縦 が も の の の の の の の の の の の の の			長石,石 英含む。	頸,胴上 部完存。	封土。
4 ·	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦板ナデ。	縦板ナデ。	縦指ナデ。				砂粒ほと んど精緻。 長石含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	"
5	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	縦ハケ目。					長石,石 英多量含 む。	1 存。	封土上位。
6	横ナデ後, 凹線 4 条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	縦ナデ。	縦ハケ目 (細)。					長石,石 英含む。	1 4 4 4 4	"
7	横ナデ後, 櫛描波状 文施す。	横ハケ目 後, 横ナ デ。	斜ハケ目。							長石含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	n
8	横ナデ後, サラ描次 大文施 で で が で が で が で が で が で が で が で が で が	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	n
9	横ナデ後, 鋸歯文, 竹管文施 す。	横ナデ。	横ナデ。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	"
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ナデ。	横ナデ。	指頭痕残 す。	斜ハケ目。			長石含む。 精緻。	$\frac{1}{2}$ 存。	土器群。
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後, ヘラ描緒 歯文, 施す。							雲母微細 片含む。 精緻。	$\frac{1}{10}$ 存。	封土上位。
12	横ナデ後, 凹線施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	"
第143図 13	横ナデ。	横 けが 目 た が。)。	横ナデ。			横へラ削 り。	斜ハヶ目 (細)。 ·			長石, 石 石含母 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	$\frac{1}{3}$ 存。	11
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石,石 英含む。	1 存。	土器群。
15	横ナデ。	摩耗。	摩耗。							長石,石 英含む。	1/2 存。.	"
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横へラ削 り。	縦ハケ目 (細)。			雲母微細 片多量含 む。精緻。	1 存。	封土上位。
17	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜指ナデ (指頭痕 残す。)。	横,右上 りタタキ 目。			長石,石 英含む。	1 存。	土器群。
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横,右上 りタタキ 目後,横 ナデ。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
19	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石,石 英,雲母 微細片含 む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。
20	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜,縦, 横ハケ目 後,縦 デ。	横,右上 りタタキ 目。			長石細片 多量含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	土器群。

第63表 第6号集石墓伴出遺物観察表(2)

	1		成形	およ	び調	整の		20 KU 375 2 V			1	
挿図		- 4		i		T		T		,		
番号	口縁端部	内面	录 部 ———— 外 面	類 内面	部 外面	月 内面	部 外面	内面	部 外面	胎土	遺存度	出土位置
第143図	横ナデ後, 沈線1条 施す。	横ハケ目 後, 横ナ デ。	縦ハケ目 (細)。			斜へラ削り。	縦,斜ハ ケ目(細)。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土上位。
22	横ナデ。	横板ナデ。	横指ナデ。							長石含む。	· ¹ / ₃ 強存。	"
23	横ナデ。	横ナデ。	右上り夕 タキ目後, 横ナデ。			縦ハケ目 後,指, 板縦ナデ。	11770			長石,石 英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"
24	横ナデ。	横ハケ目 (細)。	斜ハヶ目 (細)。			縦板ナデ。	横,右上 りタタキ 目(一部 ナデ消)。			精緻。	1 存。	"
25	横ナデ。	横ナデ。	横,右上 りタチ 目後,横 ナデ。			横ナデ。	横,右上 りタタキ 目後,ナ デ消。			長石含む。 精緻。	1 4 4 4 4 6 6 7	"
26		横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。	斜ハケ目。			砂粒ほと んど含ま ず精緻。 長石含む。	1 存。	, ,,
27	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指 ナ デ (指頭痕 残す。)。	(上部)斜 ハケ目 (細)。(下部)縦ハケ目(細)。			長石,石 英含む。 類綴。 母 母 合む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土。
28	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後, 凹線3条 施す。	斜ナデ。	斜ナデ。					砂粒をほ とんど含 まない。	小片。	"
29	横ナデ。	摩耗。		摩耗。	横ナデ。					雲母含む。	小片。	土器群。
30	(立上部) (内元)横 ナデ。(外 面)横 2 施 た 施 す。			指ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。	横,斜ハケ目。	斜へラミ ガ キ(斜 ハケ目先 行か。)。			長石,石 英含む。	1 存。	封土。
31	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。							長石含む。	1 存。	n
32		摩耗。		摩耗。		摩耗。				砂粒をほ とんど含 まない。	小片。	n
33		(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	指頭痕残す。	斜ハケ目 後,横ナ デ。	横へラ削り。	斜ハケ目。			長石含む。	1 存。	土器群。
34		(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。			摩耗。	摩耗。			石英多量 含む。	1/6存。	封土上位。
第142回35						斜ハケ目。	斜ハケ目。 黒斑。	斜ハケ目。		長石含む。	底部完存。	"
36								縦へラ削 り。黒斑。	斜ハケ目 後ナデ。(底) 斑ケ目。	長石含む。	底部4/5存。	"
37								縦ナデ。	左上り, 右上りタ タキ目。	長石,石 英含む。	底部完存。	n
38			_			斜ハケ目。	右上りタ タキ目後, 斜ハケ目。	ハ ケ 目 (簾状)。	右上りタ タキ目。 黒斑。	長石,石 英含む。	底部完存。	土器群。
39		横ナデ。	縦ハケ目 (細)。			横ナデ。	縦ハケ目 (細)。	板 ナ デ (簾状)。	縦ハケ目 (細,指頭 痕残す。)。 黒斑。	砂粒含まない。	底部完存。 胴,口縁 部 $\frac{1}{2}$ 存。	封土上位。
40								縦板ナデハ 後、目(すの)。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	縦ハケ目 黒 斑(底 まで)。	石英含む。	底部完存。	n

第64表 第6号集石墓伴出遺物観察表(3)

			成形	およ	び 調	整の	痕 跡					
挿図		口緣		頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
番号	口縁端部	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面			
第14図 41								縦へラ削 り。	黒斑。斜ナデ。	大粒石英 含む。	底部完存。	土器群。
42				-				摩耗。	指頭痕残 す。黒斑。 摩耗。	長石,石 英含む。	底部完存。	封土上位。
43								摩耗。	縦板ナデ, 縦へラミ ガキ。黒 斑。	雲母細片 含む。	底部完存。	土器群。
44						縦板ナデ。	横,右上 リタタキ 目。	縦板ナデ。	横,右上 りタタキ 目。	石英含む。	底部完存。	"
45								板 ナ デ (簾状)。	縦板ナデ。	長石, 雲 母細片含 む。	底部完存。	封土。
46								斜ハケ目。	日後, 10	雲母含む。	底部完存。	土器群。
47								縦ヘラ(ガ頭 変)。 野変。	縦ガ頭 (1) ミ指残黒 ・ 1 で 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3	長石,石 英含む。	底部完存。	封土上位。
48						横板ナデ。	斜ハケ目。	指ナデ後, 斜ヘラミ ガキ。	縦ヘラミ ガキ。	長石,石 英含む。	胴部一部 存。底部 完存。	n.
49		-				縦、斜ハ ケ目。	縦ハケ目。	斜指ナデ (指頭痕 残す。)。	斜ナデ。	長石,石 英含む。	胴部一部 存。底部 完存。	"
50						横へラ削り。	左上りタ タキ目後, 縦キラ ガキ。	斜へラ削 り。黒斑。	黒斑。	長石,石 英含む。	底部 1/2 存。	土器群。
51			·			(上部)指 頭痕残す。 (下部)斜 ハケ目。	縦ハケ目。	横ナデ。	縦へラミ ガキ(指 頭 痕 す。)。	石英, 雲 母含む。	底部完存。	"
第145図 57	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指 ナ デ (指頭痕 残す。)。	横ナデ。			砂粒 ほき とま は 会 は 会 は 会 は 会 は 会 は 会 は 会 は 会 は 会 は	1/10存。	封土上位。
58	横ナデ。					斜ヘラミ ガキ。	斜ナデ。			長石, 雲 母含む。	<u>1</u> 存。	"
59	ハケ目原 体による 横ナデ。	斜ハケ目。 黒斑。	斜ハケ目。			斜ハケ目。 黒斑。	関タタキ 関後デッハ 部割 目。			石英含む。	1 存。	"
60	横ナデ後, 凹線2条 施す。	横ナデ。	横ナデ。			縦板ナデ。	縦へラ削り。			長石含む。 精緻。	¹ 存。	n
61						縦へラ削り。	縦へラ削り。	縦へラ削り。	縦へラ削り。	長石,石 英含む。	胴部 1/2 存。	土器群。
62		横ナデ。	横ナデ。		·	縦板ナデ。	縦ハケ目 後,斜ナ デ。	斜ナデ。	斜ナデ。	長石含む。 精緻。	口線,胴 部 ¹ / ₂ 存。 底部完存。	封土上位。
63		摩耗。	摩耗。			縦板ナデ。	摩耗。			長石,石 英多量含 む。	1 存。	封土。
64	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。	,斜ナデ。	縦,横指 ナデ。	縦,斜ナ デ。	精緻。雲 母微細片 多量含む。	底部完存。 口縁,胴 。部 ¹ 4存。	封土上位。
65		横ナデ。	横ナデ。		!	縦,横, 斜へラ削 り。	斜板ナデ			長石,石 英多量含 む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"

第65表 第6号集石墓伴出遺物観察表(4)

挿図 番号	·		成形	およ	び調	整の	痕 跡		=			
	口縁端部	□ #	彖 部	頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
		内 面	外面	内 面	外 面	内 面	外面	内面	外面			
第145図 66								縦指ナデ。	縦ハケ目 (底まで)。	長石,雲 母含む。	底部完存。	封土上位。

第66表 第6号集石墓伴出遺物観察表(5)

挿図 番号	•		成形		び調	整の	痕 跡					
	口縁端部	口縁部		杯 部		脚	部	脚端部	胎 土	遺存度	出土位置	
	LI MARAMODI	内面	外面	内 面	外面	内面	外面) that that all				
第146図 52	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横へラミ ガキ。	摩耗。				長石,雲 母細片少 量合む。	1 4存。	封土。	
53		摩耗。	摩耗。						石英含む。 精緻。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土上位。	
54						シボリ目。 黒斑。摩 耗。	摩耗。		長石,石 英含む。	脚上部存。	土器群。	
55						縦指ナデ。	縦ヘラミ ガキ。		長石,石 英,雲母 細片含む。	脚部 1 存。	"	
56		横ナデ。	横ナデ。						長石, 雲 母微細片 含む。	1 存。	封土上位。	

第67表 第7号集石墓伴出遺物観察表(1)

Ţ			成 形	およ	び 調	整の	痕 跡					
挿図			部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
番号	口縁端部	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面			
第147図 1	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。	縦ヘラミ ガキ。	縦ハケ目。					長石,石 英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土。
2	小口状原 体による 横ナデ。	横ナデ後, 縦ヘラミ ガキ。	縦ヘラミ ガキ後, 横ナデ。	横ナデ後, ヘラミガ キ。	斜ハケ目 (細)後, 横ナデラ 縦キー					長石,石 英含む。 精緻。	口縁端部一部欠。	n
3	横ナデ後, 沈線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。 縦ヘラミ ガキ。	斜ハケ目 後,斜へ ラミガキ。	斜ヘラミ ガキ後, 横ナデ。	:	,			長石含む。	口縁部 1 存。	n
4	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後 ,横 ナ デ。	横ナデ。	斜ハケ目。					長石, 雲 母含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	"
5		横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。					長石含む。	1 存。	, "
6	横ナデ。	横ナデ後, 沈線施す。	横ナデ。							長石, 雲 母含む。	1 存。	"
7						横ハケ目 (細,太)。	右上りタ タキ目後, 縦,横, 斜ハケ目。			長石,石 英含む。	胴部 3 存。	"
8				横ナデ。	縦八ヶ目。	横指ナデ。	縦,斜ハ ヶ目。			石英含む。	頸部 <u>1</u> 存。	"
9		横ハケ目 後。横ナ デ。	横ナデ。			指頭痕残 す(縦 ナ デ)。	右上りタ タキ目後, 縦ハケ目。			長石含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
10	軽く横ナ デ。	横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目 後,横ナ デ。	縦ハケ目。			長石, 雲 母細片含 む。	$\frac{1}{5}$ 存。	11
11	横ナデ。	(上部)斜 ハケ目後, 横ナデ。 (下部)斜 ハケ目。	(上部) 横 ナデ。(部) 右 ト リタタ 目。			縦ヘラ削 り。斜ハ ケ目。	右上り タ メ 料 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	縦ハケ目。	縦ハケ目。	長石含む。	1 存。	"
12		横ハヶ目 後, 横ナ デ。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。			斜ハケ目。	縦ハケ目			長石含む。	1 存。	"
13	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	"
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ (指頭 残す。)。 横板ナデ。	右上り夕 タキ目後, 斜板ナデ。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"
15	軽く横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (指頭痕 残す。)。			横ナデ。	横,右上 りを 目後,縦 ハケ目。			長石,石 英含む。	14存。	"
16	横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。	·		斜ハケ目 後,斜ナ デ。	縦ハケ目 後,横ナ デ。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	J)
17		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	縦ナデ。 横タタキ 目。	縦指ナデ (指頭痕 残す。)。	左上りタ タ キ 頭 (指頭 残す。)。	長石,石 英細片多 量含む。	1 存。	n
第148図 18		横ナデ。	横ナデ。			(上部)縦 板で下部)縦。 (下が後,縦 指板ナデ。	(上部) (上部) 横目 後,斜ハ 目。(下部) 斜ハケ目。	縦後ナ頭ナが仮指残 が後ナ頭す。)。	横タタキ目後、縦ハケ目。	長石含む。	口縁部以 外ほぼ完 存。	II
19		横ナデ。	横ナデ。			(上 部) 横り へも横りかった。 (上ラ横下の がでいる。 (ドラ部) が、一つ。 (ナラが) が、一つ。 (ナラが) が、一つ。 (ナラが) が、一つ。 が、一つ。 が、一つ。 (ナラが) が、一つ。 (ナラが) が、一つ。 (ナラが) が、一つ。 (ナラが) はいる。 (ナラが) はいる。 (ナラが) はいる。 (ナラが) はいる。 (ナラが) (ナ) (ナ) (ナ) (ナ) (ナ) (ナ) (ナ) (ナ) (ナ) (ナ	(上部) 横。 左上り タ タキ目後。 縦ハか目。 (下か目。	斜, 横ナ デ。	斜ハケ目。	長石,石 英含む。	口緑端部 以外ほぼ 3 4存。	n
20						縦へラ削 り後,縦 板ナデ。	横タタキ 目後,縦 ハケ目。	横指ナデ。	縦ハケ目。	長石,石 英含む。	底部完存。	"

第68表 第7号集石墓伴出遺物観察表(2)

140			成形	ಸ ಸ	び調	整の	痕 跡					
挿図 番号	口縁端部		象 部	頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
		内 面	外面	内 面	外 面	内面	外面	内 面	外面			
第148図 21						横 へラ削り。	縦ハケ目。	摩耗。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。	長石,石 英含に石 (特に石 英多量)。	底部 1/2 存。	封土。
22					٠	(上部)斜 板ナデ。 (下部)斜 ヘラ削り。	(上の) 上の) 上の) 上の) (下の) (下の) (下の) (下の) (下の) (下の) (に) (に) (に) (に) (に) (に) (に) (に) (に) (に			長石,石 英含む。	胴部 ¹ 3存。	n
23		摩耗。	横ナデ。			摩耗。	(上り目ラド。 (上り目ラド。 (上へ)ドラ縦 (上へ)ドラ縦 (上へ)ドラ縦 (上へ)ドラ縦 (上へ)ドラ縦 (上へ)ドラ縦 (上へ)ドラ縦			長石,石 英含む。	$\frac{1}{20}$ 存。	"
24					-	縦ナデ後, 横ハケ目。		横ナデ。	縦ハケ目。	長石,石 英含む。	胴部 <u>1</u> 存。	, ,,
25			:			斜板ナデ 後, 斜ハ ケ目。	摩耗。	斜板ナデ。	摩耗。	長石,石 英含む。	底部完存。	II.
26						縦指ナデ。	縦板ナデ。	縦指ナデ (指頭痕 残す。)。	横タタキ 目後,縦 板ナデ。	長石,石 英含む。	底部 ¹ 2 存。	n
27						摩耗。	斜ハケ目。	斜ハケ目。 黒斑。	斜ハケ目。	長石,石 英含む。	底部完存。	, "
28								縦、斜板 ナデ。	縦ハケ目 (指頭痕 残す。)。	雲母細片, 長石,石 英含む。	底部完存。	,11
30		摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横,右上り タタサナデ (指頭 す。)。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"
31	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。			横指ナデ (指頭痕 残す。)。	縦ヘラ削 り(指頭 痕残す。)。	横指ナデ。	縦へラ削 り。黒斑。	長石含む。	完存。	. "
32	横ナデ。	横 ナ デ (小 口 状 原体によ る。)。	指頭痕残す。			縦ヘラミ ガ キ(丁 寧)。	横, 左上 り夕き, 目後デ(一 部)。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	n

第69表 第7号集石墓伴出遺物観察表(3)

挿図 番号			成	形	お	ょ	び	調	整	の	痕	跡							
	口縁端部	口縁部		杯 部		B	脚 部		ß	脚端部		₩ 7	胎 土		遺存度	出土位置			
		内 面	外	面	内	面	外	面	内	面	外	面	斑 编		部				
第148図 29					縦 ,	横へ ガキ。	横へガキ	ラミ 。	縦り が。	ラ削 横 ナ	縦へガキ	ラミ				長石, 母含も	雲。	杯,脚上 部完存。	封土。

第70表 第8号集石墓伴出遺物観察表(1)

		•	成形	およ	び調	整の	痕 跡				1	
挿図 番号	口縁端部		永 部 外 面	頸	部 外面	胴	部 外面	底	部外面	胎土	遺存度	出土位置
第151図 1	横ナデ後, 凹線3条 施す。	横板ナデ。		内 面 斜ハケ目 後,縦ミ ガキ。	横ナデ。	内 面	71 田	内面	· ·	長石,石 英多量含 む。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土。
2	横ナデ。	摩 耗(横 ナデか。)。	横ナデ。	縦ハケ目 (細)後, 横ナデ。	横ナデ。					長石含む。	1 存。	封土上位。
3	横ナデ。	横板ナデ。	横板ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。					長石含む。 精徴。	$\frac{1}{4}$ 弱存。	n
4	横ナデ後, 鋸歯文施 す。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	縦ヘラミ ガキ。		·			長石,石 英含む。	$\frac{3}{4}$ 存。	封土。
5	横ナデ後, 凹線2条 施す。	横ナデ。	斜ハケ目 後,横ナ デ。	横ハケ目。	縦ハケ目。					長石,石 英含む。	1 弱存。	第1号主 体部埋土。
6	横ナデ後, 沈線2条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ヘラミ ガキ。					長石,石 英含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	"
7	横ナデ後, ヘラ描鋸 歯文施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{20}$ 存。	封土上位。
8 .	横ナデ後, 沈線2条 施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石,石 英含む。	1 存。	封土下位。
9	横ナデ。	横ハケ目。	縦,斜ハ ケ目。	横ハケ目。	縦ハケ目。					長石,石 英含む。	· 1 存。	封土。
10	横ナデ後, 凹線1条 施す。	摩耗。	斜ハケ目。							長石,石 英含む。	1 弱存。	"
11	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ後, 沈線7条 施す。							長石,石 英含む。	2 存。	"
13	145.	(立上部。) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	封土上位。
14	横ナデ後, ヘラ描鋸 歯文施す。 貼付突帯。	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。						,	長石,石 英含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	封土。
15	横円 できまれる 大学文明 できまれる 大学文語 本文施 する	横ハケ目 後,横ナ デ。	横,斜ハ ケ目後, 横ナデ。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	第1号主 体部埋土。
16		横ナデ。	横ナデ後, ヘラ描鋸 歯文施す。							長石含む。	1 存。	封土下位。
17		(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	横板ナデ。						長石,石 英含む。	口縁部ほ ほ完存。	封土。
18	横ナデ後, 凹線3条 施す。	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。					石英含む。	1 強存。	第1号主 体部埋土。
19	横ナデ後, 櫛描波状 文施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後,横ナ デ。	刻八ケワ				長石,石 英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	封土上位。
第152図 20	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ後, ヘラ描鋸 歯文施す。	(立上部) 横ナデ後, ヘラ描鋸 歯文施す。		斜、ディ 料、ディ が が で 痕 ・ で 痕 ・ 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	摩耗。			長石,石 英,雲母 少量含む。	14存。	"
21		(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。					長石,石 英,雲母 少量含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	封土下位。

第71表 第8号集石墓伴出遺物観察表(2)

				第/1公		未刊至		が既宗衣	._/	1		1
挿図			成形	およ	び調	整の	痕 跡					
番号	口縁端部	□ #	1.	頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
		内 面	外面	内 面	外面	内 面	外 面	内面	外面			
第152図 22		(立上部) 横ナデ。	(立上部) ヘラ描鋸 歯文施す。	横ナデ。	縦ナデ。					長石,石 英,雲母 含む。	14存。	封土。
23	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。	縦ハケ目 (細)。	横ナデ。					長石含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"
24	横ナデ。	摩耗。	摩耗。			斜へラ削り。	摩耗。	指頭痕残す。	摩耗。	石英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
25	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦 ナ デ (指頭痕 残す。)。	横ナデ。					石英含む。	$\frac{2}{3}$ 存。	第1号主 体部埋土。
26	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。					長石含む。	1 強存。	封土。
27	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 (櫛状順 体)後,横 ナデ。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{16}$ 存。	封土上位。
28	横ナデ後, 凹線2条 施す。	横 ナ デ (横 ガ メ 風)。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。							長石,石 英含む。	1 弱存。	第1号主 体部埋土。
29		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石含む。	4/5存。	封土上位。
30	横ナデ。	横へラミ ガキ。	横へラミ ガキ。	横へラミ ガキ。	横へラミ ガキ。					長石,石 英含む。	口縁部はほ完存。	第1号主 体部埋土。
31	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 (細)後, 横ナデ。						長石含む。 精緻。	口縁部ほぼ完存。	封土。
32	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 (細)後, 横ナデ。					長石,石 英,雲母 含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
33	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後, 横管 文施す。					長石,石 英含む	14存	封土中位。
34	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石,雲 母細片含 む。	1 存。	封土。
35	横ナデ後, 沈線1条 施す。	摩耗。	摩耗。							長石,石 英含む。	1 4弱存。	第1号主 体部埋土。
36					縦指ナデ。			指頭痕残 す。摩耗。	ハ ケ 目 (摩耗)。 沈線1条 施す。	多量の長 石,石英 含む。	頸部 1/2 存。	封土中位。
37		横ハケ目 後, 横ナ デ。	縦ハケ目。	横 ナ デ (指す。) 増 (縦, 横, 横 り が お が も の れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ	横指ナデ。	縦ハケ目 後,縦へ ラミガキ。			石英少量 含む。	頸部 ¹ 存。	第1号主 体部埋土。
38				横ナデ。	横ナデ後, 貼付突帯 施す。					長石,石 英含む。	頸部 ¹ 6存。	封土。
第153図 39				摩耗。	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			長石,石 英含む。	1 存。	· "
40				横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	摩耗。					長石,石 英含む。	頸部 1/2 存。	"
41				指ナデ。	縦ハケ目。	指ナデ。	縦ヘラミ ガキ。			長石,石 英含む。	体部 1 存。	第1号主 体部埋土。

第72表 第8号集石墓伴出遺物観察表(3)

			成形	およ	び 調	整 の	痕 跡					
挿図 番号	□縁端部	□ #		頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
	口珍な何ロり	内面	外面	内面	外 面	内 面	外面	内 面	外 面			
第153図 42						横へラ削 り(摩耗)。	(上部) 横へラ削り (太)。(大) 部)縦へラ 削り(細)。			長石含む。	1 存。	封土中位。
43	横ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。
44	横ナデ後, 凹線 1 条 施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石,石 英含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土中位。
45	横 ナ デ (ハケよる 体による か。)。	横板ナデ。	横ナデ。	指頭痕残 す。縦指 ナデ。	縦ハケ目 (細)後, 横ナデ。	斜へラ削り。	縦ハケ目 (細)。			製母微細 時含粒をどれる とず精となず精変。	1 弱存。	封土上位。
46	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。	縦ハケ目。			長石,雲 母微細片 含む。	1 強存。	封土。
47	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ。	縦ハケ目 (細)。			長石,雲 母含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	<i>II</i>
48	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 (細)。							長石, 雲 母微細片 含む。	1 弱存。	封土上位。
49	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石,雲 母微細片 含む。	1 4 弱存。	封土中位。
50	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横へラ削り。	斜ハケ目 後, 横ナ デ消。			長石,雲 母微細片 含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	"
51	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横指ナデ。	摩耗。			長石,雲 母含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	封土上位。
52	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦へラ削り。	縦ハケ目 (小口状 原体)。			長石,雲 母微細片 含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	封土。
53	横ナデ後, 凹線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。			へラ削り。	横,右上 りタタキ 目後,縦 ハケ目。			製母含む。	1 存。	"
第154図 54	横 ナ デ (小口状 原体)。	横ナデ。	横ナデ。			横へラ削り。	縦ハケ目 後,横ナ デ。	:		長石,石 英含む。	1 存。	"
55	横ナデ後, 凹線2条 施す。	横ナデ。	横ナデ。							雲母含む。	1 存。	n
56	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後 , 横 ナ デ。			斜 ナ デ (板 状 原 体)。	斜ハヶ目 (板 状 原 体)。			長石, 賃 岩粒含む。	<u>1</u> 存。	第1号主 体部埋土。
57	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	-		横ナデ。	縦ハケ目。			少量の長 石,石英 細片含む。	1 ₅ 存。	封土。
58	横ナデ。	横板ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長石,石 英含む。	1 4弱存。	封土中位。
59	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後,指ナ デ(指頭 痕残す。)。	左,右上 りタタキ 目後,横 ナデ。	縦板ナデ。	斜ハケ目。			石英含む。		第1号主 体部埋土。
60	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ヘラ削 り。	左上りタ タキ目後, 縦ハケ目。			石英含む。	胴部 <u>1</u> 存。	封土。
61	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦へラ削り。	縦、斜ハケ目。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	第1号主 体部埋土。

第73表 第8号集石墓伴出遺物観察表(4)

			-Н пл	15 h	** em	nth O		#####*		<u> </u>		
挿図			成形	およ	び調	整の	痕 跡					
番号	口縁端部	内面	录 部 <u>外</u> 面	内 面	部 外 面	内面	部 外 面	内 面	部 外面	胎土	遺存度	出土位置
第154図 62	横ナデ。	横ナデ。 (摩 耗 著 しい。)。	横ナデ。 (摩 耗 著 しい。)。			斜 ナ デ (指頭痕 残す。)。	摩耗。			石英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	第1号主体部埋土。
63	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残す。	縦ハケ目 (細)。			長石含む。	$\frac{2}{3}$ 存。	封土。
64		横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残す。	縦指ナデ。	縦指ナデ。	縦指ナデ。	長石含む。	ほぼ完存。	第1号主 体部埋土。
65	横ナデ。 凹線 2 条 施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土上位。
66	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残す。	縦ハケ目 (細)。			長石,雲 母細片含 む。	$\frac{1}{3}$ 存。	"
67	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	横,右上 り横タタ キ目。	斜へラ削り。		長石含む。 精緻。	口縁部 <u>1</u> 存。	封土。
68								横ナデ。	横,右上 り,左上 り,タ 目。	長石含む。	底部完存。	. "
69								横指ナデ (指頭痕 残す。)。	摩耗。	長石,石 英含む。	底部完存。	第1号主 体部埋土。
70								摩耗。	摩耗。	長石,石 英含む。	$\frac{4}{5}$ 存。	封土。
71								斜ナデ。	横ナデ。	長石, 雲 母含む。	底部 ¹ 2存。	封土上位。
72								摩耗。	摩耗。	長石,石 英含む。	底部完存。	封土。
73							,	斜 ナ デ (指頭痕 残す。)。	縦 ナ デ (指頭痕 残す。)。	雲母細片 含む。	底部完存。	n
74								縦板ナデ。	斜ナデ。	雲母細片 含む。	底部完存。	封土上位。
75								摩耗。	指頭痕残 す(摩耗)。 黒斑。	長石,石 英含む。	底部完存。	封土。
76								縦ヘラ削 り。	縦板ナデ。	雲母細片 含む。	底部完存。	封土上位。
77								縦ヘラ削 り。	縦ハケ目 後, 縦へ ラミガキ。	長石,雲 母少量含む。	底部完存。	n
78								縦へラ削 り。	左上りタ タキ目後, 縦板ナデ。 黒斑。	長石,石 英含む。	底部完存。	"
79								縦板ナデ。	斜指ナデ。	長石, 雲 母細片含 む。	底部完存。	封土。
80								縦ナゲ。	斜板ナデ。 黒斑。	長石,石 英少量含 む。	底部完存。	封土上位。
81					,			縦ハケ目。	縦ナデ。 黒斑。	長石,石 英含む。	底部完存。	"

第74表 第8号集石墓伴出遺物観察表(5)

ī			. 5 -71	新/4 众		未刊签						
挿図	1		成形	お よ	び調	整の	痕 跡					
番号	口縁端部	内面	外面	頸 一	部 外面:	- 胴 内面	部 外 面	内面	部 外面	胎 土	遺存度	出土位置
第154図 82	,	P) (EI	外面	内面	- 7F (Ш	13 HI	УР Ш	摩耗。黒斑。	斜の 目 後の まがま。 黒斑。	石英, 雲 母含む。	底部 ¹ 3存。	封土。
83								斜板ナデ (指頭 痕 残す。)。 黒斑。	左, 右上 り横タ キ目。黒 斑。	長石,石 英,雲母 含む。	底部完存。	n
第155図 84					·			縦ナデ。	縦ハケ目。	雲母細片 含む。	底部完存。	"
85								横後, デラ 目板縦 かっこ たっこ たっこ たっこ たっこ たっこ たっこ たっこ たっこ たっこ た	黒斑。	長石,石 英含む。	底部完存。	第2号主 体部埋土。
86			i					縦へラ削り。	縦板ナデ。	長石含む。	底部完存。	封土。
87			,			斜ハケ目 後, 縦へ ラミガキ。	斜ハケ目。	縦ヘラミ ガキ。	縦ハケ目。	長石含む。	底部完存。	"
88	横ナデ後, 凹線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	右上り横 タタキ 後,縦 ケ目。			長石,石 英,雲母 含む。	1 存。	封土中位。
89	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	斜ナデ。			長石,石 英,多量 含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土下位。
90	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	. 摩耗。			石英含む。	1 存。	第1号主 体部埋土。
91	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 指頭痕残 す。			横ハケ目 後, 横ナ デ。	横タタキ目。			長石含む。 精緻。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土。
94	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後, ヘラ描沈 線文施す。			横ハケ目 後,横ナ デ。	横ナデ。			長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	第1号主 体部埋土。
95		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目,横ナデ。	横、斜ナデ。	斜ハケ目。	右上りタ タキ目。	長石含む。	. ほぼ完存。	封土中位。
96		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目 後, 横ナ デ。	横タタキ目。			長石,雲 母含む。	1 8 強存。	封土。
97	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。				長石, 雲 母含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	n,
第157図		横ハケ目。	横ナデ。			(胴部以下)指頭 痕残す。	(胴部以 下)縦ハ ケ目(細) 後,ナデ 消。			長石,石 英多量含 む。	口縁部一部存。	封土下位。
129		横板ナデ。	横板ナデ。			横指ナデ (指頭痕 残す。)。	縦ハケ目。	横指ナデ	。縦ハケ目。	長石,石 英含む。	底部完存。	封土。
130	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ハケ目 (細)。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。			長石,石 英,雲母 含む。	ほぼ完存。	, n
131		横ナデ。	横ナデ。			横 ナ デ (指頭 残 残す。)。 黒斑。	横ナデ。	斜 ナ デ 東 残 す。)。 黒斑。	縦へラ削 り後, サデ。 斑。	長石,石 英含む。	ほぼ完存。	, "
133		縦指ナデ。	縦指ナデ。			指 ナ デ (指頭痕 残す。)。	縦ナデ。	指ナデ。	縦ナデ。	長石,石 英少量含 む。	ほぼ完存。	, "
134	縦, 横ナ デ。	縦,横ナ デ。	縦, 横ナ デ。			横ナデ。	縦板ナデ	。 縦指ナデ	縦,斜指 ナデ。	長石含む。	,完存。	封土。

第75表 第8号集石墓伴出遺物観察表(6)

			成形	およ	び調	整の	痕 跡					
挿図 番号	口縁端部	□ #	录 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
	니마사하니	内 面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第157図 135		横ハケ目。	横ナデ。			縦板ナデ。	一部縦ハケ目。			長石含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	n
137		横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			長石含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	"
141	横ナデ。	横 ナ デ (指頭 残 す。)。	横 ナ デ (指 頭 残 す。)。							石英含む。	口縁部完存。	第1号主 体部埋土。

第76表 第8号集石墓伴出遺物観察表(7)

			成形	お よ	び調	整の	痕 跡	グ度ルス・12(7)			
挿図		口 約		杯	部	脚	部		胎 土	遺存度	出土位置
番号	口縁端部	内面	外面	内 面	外面	内 面	外面	脚端 部			
第151図 92		横ナデ。	横ナデ。						長石含む。	$\frac{1}{28}$ 存。	封土。
第155図 93		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				長石細片 含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	n
第156図 98	ナデ。	ナデ。	横へラミ ガキ。	ナデ。	斜ヘラミ ガキ。	٠.			長石,石 英含む。	小片。	"
99	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	横へラミ ガキ。				長石,石 英含む。	$\frac{1}{16}$ 存。	n
100		横ナデ。	横ナデ。						長石,石 英含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	n
101	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石細片 含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土下位。
102	摩耗。	摩耗。黒斑。	摩耗。	摩耗。 斑。	摩耗。				長石,石 英多址含 む。	ほぽ完存。	封土。
103	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				石英, 雲 母含む。	1 存。	, n
104	横ナデ。	縦ミガキ。	横ナデ。						長石,石 英含む。	<u>1</u> 強存。	第1号主 体部埋土。
105	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (縦 へラ ミガキ。)。	摩耗。	横ナデ。				長石,石 英含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	封土。
106				摩耗。	横板ナデ。				長石含む。	1/12存。	封土中位。
107	横ナデ。	摩耗。	摩耗。						長石,石 英含む。	$\frac{1}{12}$ 存。	封土上位。
108	横ナデ。	横へラミ ガキ。	横ナデ。						長石含む。	16存。	"
109	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		eu ha				長石含む。		封土。
110				横ハケ目。	縦, 横ハ (大) 横へ 横へう ガキ。	シボリ目。	77 7 0		長石,石 英含む。	1 存。	封土中位。
111	横ナデ。					(上部)縦 指ナデ。 (下部)横 ハケ目後, 横ナデ。	(下: 部) 縦 ハケ口を、 縦やする、ドケ 部) 斜ハケ 口。	横ナデ。	長石,石 英含む。	4存。	封土。
112						縦ヘラ削 り後, 横 ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	横ナデ後、凹線1条 施す。	長石含む。	1/5 存。	"
113						横ハケ目(簾状)。	縦ヘラミ ガキ。	横ナデ。	雲母細片 含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	第1号主 体部埋土。
114					-	横ナデ。	縦ハケ目。 一部ナデ。	横ナデ。	長石,石 英含む。	1 存。	n
115						横ナデ。 シボリ目。	(上部)縦 ハケ目。 (下部)斜 ナデ。	横ナデ後,凹線 2 条 施す。	石英, 雲 母細片含 む。	<u>1</u> 2存。	封土中位。

第77表 第8号集石墓伴出遺物観察表(8)

			成形	およ	び調	整の	 痕 跡				
挿図 番号	口縁端部	口糸	录 部	杯	部	脚	部	D40 444 447	胎 土	遺存度	出土位置
	一般場合	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	脚端部			
第156図						斜ハケ目 後, 横ナ デ。	斜ハヶ目 後, 縦へ ラミガキ。	横ナデ。	長石含む。	1 存。	第1号主 体部埋土。
117						(上部)縦 指ナデ。 (下部)横 ナデ。	(上部)縦 ヘラミガ キ。(サ 部) 横 デ。	横ナデ。	長石含む。	1 存。	n
118						縦指ナデ。	縦ヘラミ ガキ。		長石,細 片含む。	脚上部存。	"
119	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ナデ。	横ナデ。	縦ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	横ナデ。	石英含む。	表存。	"
第157図 120				横,斜へ ラ削り。	横へラミ ガキ。			·	雲母細片 含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	"
121				摩耗著しい。	縦ヘラミ ガキ。	縦指ナデ。 シボリ目。			雲母細片 含む。	脚上部完存。	封土。
122						(上部)板 ナデ。(下 部)横 へ ラミガキ。	ヘラミガ キ後, 凹 線2条施 す。		長石含む。	脚部 1 存。	第1号主 体部埋土。
123				摩耗。	斜ハケ目。		(ナデ6, (ボル) (ナデ6, (ナデ6, でデ7) (ボル) (ナギル) (ナギル) (ボル) (ボル) (ボル) (ボル) (ボル) (ボル) (ボル) (ボ		長石,石 英含む。	脚部完存。	封土中位。
124						(上部)横 ヘラ削り。 (下部)横 ナデ。	縦ハケ目 後, 縦 ラミガキ。		雲母細片 少量含む。	脚上部存。	封土。
125				摩耗。	摩耗。	摩耗。	縦ハケ目。		石英含む。	脚部 1/2 存。	封土中位。
126						(上部)縦 ナデ。(下 部)縦 か目後, 縦ナデ。	縦ハケ目 後,縦へ ラミガキ。		長石含む。	脚上部存。	第1号主 体部埋土。
127						(上部)指 ナデ後,自 (下部)横 ハケ目。	(上部)縦 ハケ目。 (下部)縦 ヘラミガ キ。		長石,石 英含む。	脚上部存。	封土下位。

第78表 第9号集石墓伴出遺物観察表

				-,-		• • • • • • •						
## F37		4	成形	よは	び調	整の	痕 跡					
挿図 番号	口縁端部	□ #	永 部	頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
		内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面			
第162図	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	指頭痕残 す。	斜ハケ目。			雲母含む。	4存。	封土下位。
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					雲母含む。	1 存。	n
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。	斜ハケ目。	斜指ナデ。 横,斜へ ラ削り。	縦,斜ハ ケ目。			長石少量 含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	"
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横へラ削り。	摩耗。			長石, 雲 母含む。	1 存。	"
5		横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	縦指ナデ。				長石,石 英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残 す。斜へ ラ削り。	右上りタ タキ目後, 縦,斜 ヶ目。			長石, 雲 母含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦,斜へ ラ削り後, 斜板ナデ。	斜ハケ目。			長石,石 英含む。	1/12存。	n
8 .								縦ヘラミ ガキ。	斜ヘラミ ガキ。ナ デ。	襲母含む。	底部完存。	n
9								斜ハケ目。	摩耗。ナ デ。	長石含む。	底部4存。	"
10								斜板ナデ。	横,斜ナ デ。	雲母含む。	完存。	n

第79表 土址墓伴出遺物観察表(1)

$\overline{}$												
			成 形	およ	び調	整の	痕 跡					
挿図 番号	口縁端部	□ \$	录 部	頸	部	胴	部	底	部	胎 土·	遺存度	出土位置
		内 面	外面	内面	外面	内 面	外面	内 面	外面			
第166図 1		横ナデ。	横ナデ。							雲母細片 含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	S T 20
2	横ナデ。	横 ナデ。 黒斑。	横ナデ。			斜ハケ目 後, 横ナ デ。	斜ハケ目。			砂粒を含 まず精緻。	1 存。	. 11
3	横ナデ, 凹線2条 施す。	横ナデ。	横ナデ。							石英含む。	小片。	"
4						横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。	(脚部内面)横ナデ。	(脚部外面)斜ハ ヶ目後, 横ナデ。	長石含む。	底部, 脚 部ほぼ完 存。	"
5								縦ナデ。	斜板ナデ。 黒斑。	雲母含む。	底部 1 存。	"

第80表 土垃墓伴出遺物観察表(2)

			成形	およ	び調	整の	痕 跡				
挿図 番号	口縁端部	□ #	录 部	杯	部	脚	部	040 AW AD	胎 土	遺存度	出土位置
	口称和印	内 面	外面	内面	外面	内面	外面	脚端部			
第166図						横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	雲母細片, 長石含む。	小片。	S T 22

第81表 壺棺墓伴出遺物観察表(1)

			成形	およ	び調	整の	痕 跡					
挿図 番号	口縁端部	口箱	献 部	頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
	山松州山	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面			
第167図						縦ナデ。 指頭痕残 す。斜板 ナデ。	横り夕後目斜が た上り目ケ を を を を の が を を の が を の が を の が を の が り り る で う が う た う う う う う う う う う う う う う う っ う 。 う 。 う	斜ナデ。	横り横目ケ縦、右上り斜後の側が横り横手が乗り後手がある。	長石,石 英細片含 む。	胴部ほぼ 完存。	S T01
第169図	横ナデ。	横ナデ。黒斑。	横ナデ。			ナデ。一 部斜へラ ミガ ま残 す。黒斑。	斜ハケ目。 摩耗。黒 斑。	斜ナデ。	斜ハケ目。 摩耗。黒 斑。	長石,石 英含む。	ほぼ完存。	S T 02
2						斜ハケ目。 摩耗。	斜ハケ目。 摩耗。黒 斑。	斜ハケ目。 摩耗。斜 ナデ。	縦, 斜へ ラミガキ。 斜ナデ。	長石,石 英,雲母 含む。	胴部ほぼ 完存。	n
第四図	横ナデ。		横ナデ。			斜ハケ目。	斜ハケ目。 黒斑。	斜ハケ目。	斜ハヶ目。 黒斑。	長石,石 英,雲母 含む。	ほぼ完存。	S T 03
2				横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	無処。	斜ハケ目。	斜ハケ目。 黒斑。	長石,石 英,雲母 含む。	胴部ほぼ 完存。	"
第174図						指ナデ。 指頭痕残 す。横, 斜ハケ目。	縦,斜ハ ヶ目。黒 斑。	横,斜ハ ケ目。	縦,斜ハ ケ目。	長石,石 英含む。	底部完存。	S T 04
第15回	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指ナデ。 指頭痕残 す。斜へ ラ削り。	縦,斜ハ ケ目。黒 斑。			石英, 雲 母細片含 む。	胴部 <u>1</u> 存。	n
第17回	横ナデ。	横ナデ。 指頭痕残 す。	横ナデ。 指頭痕残 す。黒斑。			縦,斜指 ナデ。横 ヘラ削り。	縦斜ヘラ ミガキ。 黒斑。	縦,斜指 ナデ。	縦,斜板 ナデ。横 ナデ。	長石,石 英,雲母 少量含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	S T 05
2						縦,斜指 ナデ。縦, 斜板ナデ。	縦, 斜ハケ 目(いがあない)。 川斑。	縦,斜板 ナデ。指 頭痕残す。	縦,(壁) からい がいない がいれる (壁) がいがっていがあった (があった) は (があった) は (できる) は	長石,石 英少量含 む。	胴部ほぼ 完存。	"
第179図	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。 指頭痕残 す。			横,斜ハ ケ目。	縦,斜ハ ケ目。黒 斑。	横,斜ハケ目。	斜ハケ目。 黒斑。	長石,石 英含む。	ほぼ完存。	S T 06
2				横ナデ。	横ナデ。	ナデ。縦, 斜ハケ目。 摩耗。	縦, 斜板 ナデ。縦, 斜ハケ目。 黒斑。	縦指ナデ。	縦,斜板 ナデ。ナ デ。	長石,石 英多量含 む。	胴部ほぼ 完存。	"
第180図	横ナデ。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。へ 大 ガ () () () () () () () () () (横,斜ハ ケ目後, 横ナデ。	斜へ線す列・る刻 ハラ11へ点部よ門。 大描巻ラ文重う。 のでは、点部より。	縦、斜折す デ。折頭へ 残す。斜へ ケ门。斜へ ラ削り。	斜 が が が が は が な が な が な が な の の の の の の の の の の の の の	斜へラ削 り。指頭 痕残す。	斜, ヶ目 後, が, が, ラナ ボデ。	長石,石 英少量含 む。	□縁部 ¹ 存。	S T 07
第182図						縦,斜へ ラ削り。	横ナデ。	縦,斜へ ラ削り。	横ナデ。	長石,石 英含む。	底部完存。	n
2						縦,斜へ ラ削り。	斜ナデ。	縦,斜へ ラ削り。	斜ナデ。	長石,石 英,雲母 含む。	ほぼ完存。	11
3						指ナデ。 指頭痕残 す。	ナデ。			長石,石 英大粒含 む。	$\frac{1}{2}$ 存。	n
第184図						横,斜板 ナデ。摩 耗。	横、石上り り、左上り タを 乗、斜 日。 思斑。	摩耗。	横りります。	長石,石 英,雲母 含む。	ほぼ完存。	S T 08
第185図						縦,斜指 ナデ。斜 ハケ目。 黒斑。	横左り後、上り夕、 (上りを)を (上りを)を (後へキ。) (強い、ラ。) (単の、カラ、は (単の、カラ、カラ、) (単の、カラ、カラ、カラ、カラ、は (単の、カラ、カラ、カラ、カラ、カラ、カラ、カラ、カラ、カラ、カラ、カラ、カラ、カラ、	斜ハケ目。 指頭痕残 す。	左 タ タ タ タ 4 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月	長石,石 英含む。	ほぼ完存。	n
第187図 1						横,斜ハケ目。	縦,斜ハ ケ目。 は ヘラミガ キ。	斜ハケ目。 縦,斜指 ナデ。指 頭痕残す。	横へラミ ガキ。ナ デ。	長石,石 英含む。	底部完存。	S T 09

第82表 壺棺墓伴出遺物観察表(2)

			成形	およ	び調	整の	痕 跡					
挿図 番号	口縁端部	□ #	录 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
,	こを終り	内面	外面	内面	外面	内 面	外面	内面	外 面			
第185図						指ナデ。 指頭 縦, 対 横, 対 目。	縦,斜ハ ケ目。黒 斑。	縦、斜ハ ケ目。斜 ナデ。	縦,斜ハ ケ目。斜 ナデ。	長石,石 英少量含 む。	胴部 ² 底部完存。	S T 09
第188図	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横,斜板ナデ。	横,斜へ ラミガキ。	斜板ナデ。	斜ナデ。	長石,石 英含む。	ほぼ完存。	S T 10
2					横ナデ。刻目。	縦指ナデ。 指頭痕残 す。横, 斜ハケ目。	左上り, 横目 タ 後 () 終 () 終 () 終 () 終 () が き が き が き が き が き が き が き が き が き が	横,斜ハ ケ目。	左 り, 横 目 ケ 後 , 後 へ き が き か だ ま が き か だ ま が き か だ き が き か だ き か き か き か き か き か き か き か き か き	長石,石 英含む。	$\frac{2}{3}$ 存。	. "
第189図	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 型線4条 施す。 10 施ケ目 横ナデ。							長石,石 英含む。	口縁部完存。	"

第83表 不明遺構伴出遺物観察表(1)

1						加退伸什						
挿図			成形	およ	び調	整の	痕 跡					
番号	口縁端部		部	頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
	4-9-FILL HIP	内 面	外面	内 面	外面	内面	外面	内面	外面			
第191図						横、斜へラ削り。	縦,斜ハ ケ目。黒 斑。	斜指ナデ。	斜ハケ目。	石英含む。	底部完存。	S X 01
第192図	ヘラ鋸歯 文施す。	横ナデ。	横ナデ。							石英細片 含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	S X 02
2	横ナデ。	横, 斜へ ラミ横 変, 横 デ。	横, 斜へ ラミガキ。			横,斜へ ラミガキ。	横,斜へ ラミガキ。			大粒石英, 雲母少量 含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
3		斜ハヶ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。			斜へラ削 り後,斜 ナデ。黒 斑。	左上りタ タキ目後, 斜ハケ目。 黒斑。	縦,斜へ ラ削り。 黒斑。	黒斑。	長石,石 英少量含 む。	ほぼ完存。	11
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		,			砂粒をほ とんど含 まない。	1/16存。	"
6		横ハケ目。	横,斜ハ ケ目後, 横ナデ。			斜ナデ。	斜ハケ目。			砂粒をほ とんど含 まない。	1 存。	"
7		斜ハヶ目。 黒斑。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。							砂粒をほ とんど含 まない。	1 存。	11
8	!	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目 後,斜ナ デ。黒斑。	斜ハケ目 後,斜ナ デ。黒斑。			長石,石 英少量含 む。	1 存。	"
9	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。			斜ハヶ目。	横タタキ 目後,縦 ハケ目。			砂粒をほ とんど含 まない。	1 存。	"
10		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			砂粒をほ とんど含 まない。	1 4存。	"
11	横ナデ。	斜ハヶ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。			斜ハケ目 後, ナデ。				長石,石 英少量含 む。	1 存。	"
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	縦、斜、ケ 日斜チ が、デさる いがあり。	縦ナデ。	斜 ハケ	砂粒をほ とんど含 まない。	1 存。	"
13		横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	縦ナデ。 黒斑。	斜ナデ。 黒斑。	縦ナデ。 黒斑。	石英多址 含む。	底部完存。	"
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削り。	横ナデ。			砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部ほぼ完存。	"
15	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。	右上りタ タキ目後, 斜ハケ目。			斜へラ削り。	右上りタ タキ目後, 斜ハケ目。			長石細片 含む。	1 存。	"
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。黒斑。			横,斜ハ ケ目後, 横ナデ。	斜ハケ目。 黒斑。			長石含む。	1 存。	"
第193図 17						斜ハケ目 後, 斜ナ デ。	縦,斜ハ ケ目。黒 斑。	指 ナ デ (指頭痕 残す。)。	斜ハケ目。	砂粒をほ とんど含 まない。	底部完存。	"
18								斜へラ削り。	縦,斜ハ ケ目。黒 斑。	石英少量 含む。	底部完存。	"
25		横ハケ目 後. 横ナ デ。	横ナデ。			横ハケ目 後, 横ナ デ。	横,斜ナ デ。	斜ハケ目 後 , 横 ナ デ。	斜へラ削 り後、斜 ナデ。	長石,石 英含む。 雲母少量 含む。	1 存。	"

第84表 不明遺構伴出遺物観察表(2)

			成形	およ	 び 調	整の	 痕 跡					
挿図				頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
番号	口縁端部	内 面	外面	内 面	外 面	内 面	外面	内 面	外面			
第193図	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。			縦,斜ハ ケ目後, 横,斜ナ デ。	斜ハケ目 後, 斜ナ デ。	斜ハケ目 後, 斜ナ デ。	縦ハケ目 後, 縦ナ デ。	長石含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	S X 02
27	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横,斜ハ ケ目。	斜へラ削 り後,斜 ハケ目。			長石,石 英少量含 む。	$\frac{1}{10}$ 存。	n
28	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜ナデ。	縦,斜ハ ケ目。	斜へラ削り。	長石,石 英含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
29		横ナデ。 黒斑。	横ナデ。 黒斑。			斜板ナデ。		斜板ナデ。		砂粒をほ とんど含 まない。	ほぼ完存。	IJ
30		斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目。	縦,斜ナ デ。	斜ハケ目。	縦ナデ。	砂粒をほ とんど含 まない。	ほぼ完存。	"
第195図 1	摩耗。	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。	斜ハケ目。			長石含む。	1 存。	S X 03
2	ヘラ描鋸 歯文施す。	横ナデ。	横ナデ。							雲母細片, 長石含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	n
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							砂粒をほ とんど含 まない。	$\frac{1}{5}$ 存。	n ·
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							雲母細片 含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	n
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	縦ハケ目。			雲母細片 含む。	$\frac{1}{16}$ 存。	<i>n</i>
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	斜ハケ目。			雲母細片, 長石含む。	$\frac{1}{10}$ 存。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							雲母含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	, ,,,
8								斜ハケ目。	右上り夕 タキ目後, 横ナデ。	雲母含む。	底部 1/2 存。	"
9							-	横ナデ。	横ナデ。	長石,石 英含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	n
10								斜ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。	雲母細片, 長石含む。	底部完存。	"
第196図 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦指ナデ。 指頭痕残 す。斜へ ラ削り。				長石,石 英少量含 む。	$\frac{1}{3}$ 存。	S X 04
2	横ナデ。 凹線2条 施す。	横,斜ハ ヶ目。	横ナデ。	横,斜ハ ヶ目。	横ナデ。					雲母含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	"
3						指頭痕残 す。	縦 へっ ミ ガ キ 。 右 上 目 後 キ 料 ハ ケ 目 。	斜ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	長石,石 英細片, 雲母含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"
4	横ナデ。	横,斜ハ ケ目。	横ナデ。		-	縦, 斜指 ナデ。斜 ヘラ削り。		斜指ナデ。	右上り, 横タタキ 目後, を目。 かデ。	雲母含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	n,
5	横ナデ。 沈線1条 施す。	横ナデ。	横ナデ。 指頭痕残 す。			縦ナデ。	横タタキ 目後,縦, 斜ハケ目。	縦ナデ。	横タタキ 目後,縦, 斜ハケ目。	雲母含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	"

第85表 不明遺構伴出遺物観察表(3)

Laci (Tax)			成形	およ	び調	整の	痕 跡					
挿図 番号	口縁端部	□ \$	录 部	頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
	11 45K 210 117	内面	外面	内面	外面	内 面	外面	内面	外面			
第196図						指頭痕残 す。へう り。 が が が が が が が が が が り で う が り の り が り の り り り り り り り り り り り り り	右上り, 上りり, 大増り後, 大増り 斜ハケ目。	縦指ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	石英,雲 母含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	S X 04
第1%図	横ナデ後, 凹線 1 条 施す。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削 り後, 斜 ハケ目。	横タタキ 目後, 斜 ハケ目。	横,斜ハケ目。	斜ハケ目。 黒斑。	長石,石 英雲母細 片含む。	口縁部ほぼ完存。	S X 05

第86表 不明遺構伴出遺物観察表(4)

FEE 1250			成形	およ	び調	整の	痕 跡				
挿図 番号	口縁端部	LI #	承 部	杯	部	脚	部	脚端部	胎土	遺存度	出土位置
	1-1747 117	内面	外面	内面	外面	内面	外面	क्रिका व्यक्ति			
第193図 19		摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				石英含む。	1 存。	S X 02
20		横, 斜へ ラミガキ。	横, 斜へ ラミガキ。 黒斑。	横へラミ ガキ。	横,斜へ ラ削り後, ヘラミガ キ。				長石含む。	1 存。	"
21		摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。		石英含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"
22		横ハケ目 後、縦へ ラミガキ。 黒斑。	縦ハケ目 後,縦た ラミガ 黒斑。	縦, 斜へ ラミガキ 後, 横ナ デ。	斜ハケ目 後,縦, 斜ヘラミ ガキ。				石英含む。	杯部 ½ 存。	n
23						シボリ目。 横ナデ。	縦ヘラミ ガキ後, 縦ハケ目。		長石含む。	脚部 <u>1</u> 存。	n
24						横ナデ。	斜ハケ目 後,横ナ デ。		長石含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	n
第150図						縦ナデ。	横ナデ。		砂粒を含 まず精緻。	1 存。	S X 03
第196図 7	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	斜ハケ目。				長石,石 英含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	S X 04
8				-		縦ナデ。 シボリ目。		横ナデ。	雲母含む。	脚部 1/4 存。	,,
9						斜へラ削り。	右上り, 左上り, 横タタキ 目。	横ナデ。	少量の長 石, 雲母 含む。	脚部 1/2 存。	n.

第87表 掘立柱建物跡伴出遺物観察表(1)

			成形	およ	び 調	整の	痕跡					
挿図 番号	67 100 40	· 🗆 🕯	永 部	頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
一一	口縁端部	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内面	外面			
第加図	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	右上りタ タキ目後, 斜ハケ目。			長石,雲 母少量含 む。	$\frac{1}{6}$ 存。	S B 07
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	小片。	"
3	横ナデ。	横ナデ。	斜ハヶ目, 横ナデ。							砂粒を含 まず精緻。	小片。	"
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 凹線 1 条 施す。							長石含む。	小片。	"
10		横ハケ目。	摩耗。			横ハケ目。	摩耗。			砂粒を含 まず精緻。	$\frac{1}{5}$ 存。	S B 08
11	横ナデ。	横ハケ目 後, 横ナ デ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。					長石含む。	$\frac{1}{6}$ 存。	S B 09
13								斜へラ削り。		長石,石 英含む。	底部 1/2 存。	"
14								斜ナデ。	右上りタ タキ目後, 斜ハケ目。 黒斑。	砂粒を含 まず精緻。	底部-1存。	n
15	摩耗。	摩耗。	摩耗。							石英含む。	小片。	S B 10
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							石英含む。	小片。	n
19	ヘラ描鋸 歯文施す。	横ナデ。	横ナデ。							長石含む。	1 存。	"
20	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。							雲母細片 含む。	1 存。	"
17	横ナデ。 凹線施す。	横ナデ。	横ナデ。							雲母細片 含む。	小片。	"

第88表 掘立柱建物跡伴出遺物観察表(2)

			成 形	およ	び調	整の	痕 跡				
挿図 番号	口縁端部	□ #	录 部	杯	部	脚	部	BHD AW 277	胎土	遺存度	出土位置
	口称响而	内面	外面	内面	外面	内面	外面	脚端部			,
第加図 1						摩耗。	摩耗。		砂粒を含 まず精緻。	$\frac{1}{12}$ 存。	S B 07
12				縦ヘラミ ガキ。	横ナデ。	縦ナデ。	縦ヘラミ ガキ。		長石,石 英含む。	1 存。	S B 09
18		•				摩耗。	摩耗。	摩耗。	石英多量 含む。	小片。	S B 10

第89表 掘立柱建物跡伴出遺物観察表(3)

						成	形	お	よび	Ī	周整の	3	良 跡							
挿図番号		杯		蓋		杯			身		髙		杯		Ē	Ē			遺存度	出土位置
	内	面	外	面	/	内	面		外 面		内 面		外 面	内	面	:	外	面		
第204図 6					23	回転	ナデ。ナデ。	2 3	回転ナデ。 回転ヘラ 削り。										$\frac{1}{12}$ 存。	SB 07
7					4	回転]	4 5	回転へラ 切り。 回転ナデ。	,									$\frac{1}{4}$ 存。	"
8										3	回転ナデ。	3	回転へラ 削り後, 回転ナデ。						杯部 2 存。	n
9										1 2 3 4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3 4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。						$\frac{1}{5}$ 存。	"

(註)

須恵器の観察表に用いたアラビア数字の表わす部位は下記の通りである。

杯 蓋 1 頂部 2 肩部 3 端部 4 かえし部

1 かえし部 2 口縁部 3 胴部 4 底部 5 髙台部 2 口縁部 3 杯部 1 口縁端部 脚部 5 脚端部 髙 杯 1 口縁端部 2 口縁部 3 頸部 4 胴部 5 底部 壺・甕

第90表 不明遺構伴出遺物観察表(5)

			成形	およ	び 調 整		1の ま じみで3 跡					
挿図番号	erry 622 July der	□ #	录 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
	口縁端部	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内面	外面	1		
第209図 1	(立上部内面) 横ナデ。 (立上部外面) 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							石 英, 雲母細 片含む。	1 存。	SX 06
2				横ハケ目 後,横 ナ デ。	斜、横次 サナデ。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					長石製片 日本 (報) 日本 (報)	頸部 <u>1</u> 存。	"
3		横ナデ。	横ナデ。							長 石, 石英含 む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"
4		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長 石, 石英含 む。	$\frac{1}{5}$ 存。	"
5		横ナデ。 黒斑。	横ナデ。			縦指ナデ。 指頭痕残 す。	横ナデ。			長 石, 石英含 む。	1 存。	"
6		横,斜 ナ デ。	縦指ナデ 後,横 ナ デ。			横ナデ。	斜ナデ。			長石, 石英含 む。	$\frac{1}{2}$ 存。	II
第217図 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							砂粒を 含まず 精緻。	$\frac{1}{10}$ 存。	SX 09
2		横ナデ。	横ナデ。							長石含 む。	$\frac{1}{5}$ 存。	II.
3	横ナデ。 凹線施す。	横ナデ。	横ナデ。							砂粒を 含まず 精緻。	$\frac{1}{10}$ 存。	n,
4	(立上部内面) 横ナデ。 (立上部外面) ヘラ描網歯文, 竹管文施す。	横ナデ。								雲母細 片多量 含む。	$\frac{1}{20}$ 存。	"
5		横ナデ。	横ナデ。							石英含 む。	$\frac{1}{8}$ 存。	n
9								摩耗。	摩耗。	石英含 む。	底部 1 存。	II.
10								縦ナデ。	縦ナデ。	長 石, 石英少 量含む。	底部完 存。	"
11								横ナデ。	横ナデ。	雲母細 片含む。	底部。	"
第219図								縦斜ナデ。	斜ナデ。	石英含 む。	底部完 存。	SX 10

第91表 不明遺構伴出遺物観察表(6)

				33130	1 // // / / / / /	ят ш.	122 12027				
			成 形	およて	ド調整	の痕	跡	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
挿図番号	口縁端部		录 部	杯	部	脚	部	脚端部	胎土	遺存度	出土位置
	التا الشاحية التا	内面	外面	内 面	外面	内面	外面	1941 HU 1313			
第209図 7						横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	長石,石 英含む。 雲母細片 含む。	$\frac{1}{20}$ 存。	SX 06
8				摩耗。			摩耗。		石英大粒 含む。	小片。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
9						縦,斜へ ラ削り。	縦板ナデ。		長石含む。	脚部 2 存。	"
第217図 6		横ナデ。	摩耗。	-					長 石,石 英含む。	小片。	SX 09
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。						砂粒を含 まず精緻。	小片。	"
8						横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	長石,石 英,雲 含む。	$\frac{1}{2}$ 存。	n

第92表 第4層上面検出ピット群伴出遺物観察表(1)

	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		成形	およ	び 調 整	り 痕	跡					
挿図番号	口经抛却	□ #	录 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
	口縁端部	内面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内面	外面			
第227図 15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					横ナデ。	摩耗。	砂粒を 含まず 精緻	小片。	SP 4
16		横ナデ。	横ナデ。斜ハケ目。			横ナデ。	斜ハケ目。			長石含 む。	頸部 <u>1</u> 存。	SP 6
18	(立上部内面) 横ナデ (立上部外面) 摩耗。									石英, 雲母細 片含む。	口縁部 1 8 存。	SP 18
20	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	斜ヘラミ ガキ。			石英含 む。	口縁部 1 8 7 8	n
21		摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石, 石英含 む。	頸部 <u>1</u> 存。	n
22	摩耗。	摩耗。	摩耗。			横,斜ハ ケ目。	右上りタ タキ目。			雲母細 片含む。	肩部 <u>1</u> 存。	"
25	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石, 石英含む。	口縁部 1 12 7 12 7 12	SP 35
26	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							雲母含 む。	小片。	"
27								斜へラ削 り後,斜 ハケ目。	横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	長 石, 石英含 む。	底部 1 存。	n
29	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。					長石細 片,細片 英部 合む。	口縁部 1 7 7	SP 40
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							雲母細 片含む。	口縁部 1 28 存。	11
33	横ナデ後,凹線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。		-					長石含 む。	小片。	SP 45
34	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				_			石英含 む。	小片。	SP 46
35								斜ハケ目。	縦ナデ。	製母含 む。	底部完存。	-11
36	横ナデ。	横ナデ。 黒斑。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長 石, 石英細 片含む。	口縁部 1/20存。	"
39	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			砂粒を 含まな い。	口縁部 16存。	SP 50
42	横ナデ。 黒斑。	横ナデ。	横ナデ。 黒斑。		,	横ナデ。	横ナデ。 黒斑。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 16 16	SP 70
43	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜ハケ目。			長石英子, 野子の 野舎む。	口縁部 12存。	SP 73
46						縦ナデ。	斜ナデ。 黒斑。	摩耗。	右上りタ タキ目。 黒斑。	長石, 石英含 む。	底部 1 存。	SP 142

第93表 第4層上面検出ピット群伴出遺物観察表(2)

			成形	およて	が調整	の痕	跡				
挿図番号	口緣端部	□ #	录 部	杯	部	脚	部	脚端部	胎土	遺存度	出土位置
	日家家日	内面	外面	内 面	外面	内面	外面) 1941 ALL ⊞13			
第227図 19						横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	雲母細片 含む。精 緻。	小片。	SP 18
40						斜ハケ目。	横ナデ。	横ナデ。	雲母含む。	小片。	SP 56

第94表 第4層上面検出ピット群伴出遺物観察表(3)

						成形	£	; よ び	ā	周 整 の		痕 跡						
挿図番号		杯	_	蓋		杯		身		髙	_	杯			壺		遺存度	出土位置
	L,	内 面	L	外 面	L	内 面	⊢	外 面		内 面		外 面	L	内 面		外 面		
第227図 17					2 3	回転ナデ 回転ヘラ 削り。	3	回転ナデ。 回転へラ 削り。									$\frac{1}{4}$ 存。	SP 6
23	1 2 3 4	仕上ゲナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3	回転へラ 削り。 回転へラ 削り。 回転ナデ。													ほぽ完存。	SP 19
24					3 4	回転ナデ。回転ナデ	3 4	回転ナデ。回転ナデ。						·			胴部 1 存。	n
28									4	回転ナデ。	4 5	回転ナデ。回転ナデ。					脚部 <u>1</u> 存。	SP 35
31	:				2 3	回転ナデ。回転ナデ	2 3	回転ナデ。 回転ナデ。									口縁部 <u>1</u> 存。	SP 40
32					1 2 3	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	2 3	回転ナデ。 回転ヘラ 削り。									口縁部 <u>1</u> 存。	n
37					2	回転ナデ	2	回転ナデ。									小片。	SP 50
38					2	回転ナデ	2	回転ナデ。									小片。	n,
41									4	-							脚部 4 存。	SP 64
44									3	回転ナデ。 回転ナデ。	3 4 5	回転へラ 削り。 回転ナデ。 回転ナデ。					脚部 1/2 存。	SP 85
45									3	回転ナデ。 回転ナデ。	3 4	回転ナデ。回転ナデ。					脚上部存。	SP 95
47													4	青海波。	4	格子タタ キ 目 後, 斜ハケ目。	体部一部存。	SP 142
48					2	回転ナデ	2	回転ナデ。		:							口縁部 <u>1</u> 存。	SP 144

第95表 第5層上面検出ピット群伴出遺物観察表(1)

			成形	およ	び 調 整	の痕	跡	<u> </u>				
挿図番号		□ #		頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
	口縁端部	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面			
第226図 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ナデ。	斜ナデ。			長石, 雲母含 む。	口縁部 1 7 7	SP 175
2								縦,斜ナ デ。	横ナデ。	長 石, 石英含 む。	底部完 存。	"
5								摩耗。	摩耗。	石英含 む。	底部 <u>1</u> 存。	SP 206
6						斜ハケ目。	縦ハケ目。 黒斑。	縦,斜ハケ目。	縦,斜ハケ目。	石 英, 雲母含 む。	底部 4 存。	"
7				横ナデ。	横ナデ。					砂粒を 含まな い。	頸部 <u>1</u> 存。	SP 208
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。							石英細 片含む。	小片。	SP 215
9						横ハケ目。	ナ デ 後, 凹 線,波 状文施す。			砂粒を 含まな い。	体部小片。	"
10	横ナデ。	横ナデ。摩耗。								長 石, 石英含 む。	口縁部 1 7 7	SP 230
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横 ナ デ, 斜へラ削 り。	横 ナ デ, 右上りタ タキ目。			砂粒を 含まな い。	口縁部 <u>1</u> 存。 頸部 <u>1</u> 存。	SP 235
12	横ナデ後,凹 線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。							石英含 む。	小片。	SP 245
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							砂粒を 含まな い。	口縁部 <u>1</u> 存。	SP 246

第96表 第5層上面検出ピット群伴出遺物観察表(2)

			成形	およて	パ 調 整	の痕	跡				
挿図番号	口縁端部	□ å	录 部	杯	部	脚	部	脚端 部	胎土	遺存度	出土位置
	口黎斯司	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	क्रिया भूषा हो।			
第226図 3	摩耗。	摩耗。	摩耗						砂粒含まない。	小片。	SP 206
4						摩耗。	摩耗。	摩耗。	石英細片, 雲母細片 含む。	小片。	n
13	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						少量の長石細 片,少量の石 英細片含む。	小片。	SP 246

第97表 第5層出土遺物観察表(1)

				第9/表			加朗祭表	-		Ï		<u> </u>
			成形		び調整		跡			ļ		
挿図番号	口縁端部	—	永.部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
		内面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内 面	. 外 面			
第229図 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目。	縦ハケ目。	縦ハケ目, 斜ヘラ削 り。	右上りタ タキ目後, 斜ハケ目。			雲母細 片含む。	口縁部 3 4 存。	10-H
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。					製母含む。	口縁部 1 8 存。	"
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ, 一 部 斜, ヘラ削り。	縦ハケ目(横 ナデにより 一部消える)。					雲母多 量合む。	口縁部 1 7 7 7 7	12 - I
4	横ナデ後,凹 線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。	縦板ナデ。	縦ハケ目。 凹 線1条 施す。		•			石英含 む。	□縁部 1/2 存。	10 - I
5	横ナデ。	縦ハケ目 後,横ナ デ。	横ナデ。	横ナデ。 指頭痕残 す。	縦ハケ目。					長 石, 石英含 む。	□縁部 1 存。	10 – H
6	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	摩耗。					長 石, 石英含 む。	□縁部 2 7 7 3	12 – H
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					長 石, 石英含 む。	口縁部 1/10存。	10 – H
8	横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。	縦ハケ目 後,横ナ デ。	縦ヘラミ ガキ後, 横ナデ。					雲母含 む。	口縁部 1 7 7 5	12-G
9	横ナデ後,凹 線1条施す。	摩耗。 一部横ハ ヶ目。	横ナデ後, 斜ハケ目。	摩耗。 一部ハケ 目。	横ナデ後, 斜ハケ目。					長石含 む。	口縁部 1 4 存。	15 - I
10	横ナデ。	横ナデ。 斜ヘラミ ガキ。	横ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	縦ハケ目。					長石含 む。	□縁部 1/5 7 5	"
11	横ナデ。	摩耗。	斜ハケ目。	横ハケ目。	斜ハケ目。	縦ナデ(指頭 頭 痕 け。)斜ハ ケ目。斜へ ラ削り。	斜ハケ目。			長石含 む。	口縁部 1/2 存。	10 – H
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					石英多 並含む。	口縁部 1/3 存。	10-G
13	横ナデ。	横ハケ目。 斜ヘラミ ガキ。	横ハヶ目 後,斜へ ラミガキ。	横ハケ目 後,斜へ ラミガキ。						雲母含 む。	口縁部 1 4 7 4	12 – I
14	横ナデ後,凹 線1条施す。	横ナデ。	縦ハケ目 後,縦 ラミガキ (太)。	斜へラミガ キ(一 部 消 え る。)	縦ハケ目 後,*縦へ ラミガキ。					長石含 む。	頸部 <u>1</u> 存。	11-H
15	横ナデ後,凹線2条施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後,横 ナ デ。					長石含 む。	口縁部 1 4 存。	10-G
第230図 16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。					雲母微 細片含 む。	口縁部 1 4 存。	11-H
17	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。			, ,		雲母含 む。	□縁部 1 4 存。	10 – I
18	横ナデ後,凹 線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後,横 デ。	斜ハケ目。	縦ハケ目 後,斜 ナ デ。			雲母細 片含む。	口縁部 1/6 存。	11 – H
19	凹線1条施す。	横ハケ目。	摩耗。	縦ナデ後, 横ナデ。	摩耗。					雲母多 量含む。	口縁部 1 4 存。	11-G
<i>"</i> 20	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦指おさ え。 指頭痕残 す。	縦ハケ目 後,横ハ ケ目。			雲母細 片含む。	口縁部 1 7 7 7 7 8	11-F

第98表 第5層出土遺物観察表(2)

			成形	# 104X	び調整		跡			<u> </u>		
挿図番号	- 42 100 40	. □ #	录 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
	□縁端部	内面	外 面	内 面	外面	内 面	外面	内面	外 面			
第230図 21	横ナデ後,凹 線2条施す。	横ハケ目。	縦ハケ目。	横ハケ目。	縦ハケ目。 朱が付着。					石英含 む。	口縁部 1 4 存。	12 – H
22	横ナデ後,凹線1条施す。	横ナデ後, 横ハケ目。	横ナデ。	横ハケ目 後,ナデ 消される。	縦ハケ目。 一部ナデ 消される。	横ハケ目 後,ナデ 消される。	斜ハケ目。 一部ナデ 消される。			砂粒を 含まな い。	□縁部 <u>1</u> 存。	15 - I
23	横ナデ後,刻 目施す。	横へラミ ガキ。	横ナデ後, 斜ヘラミ ガキ。							石英少 量含む。	口縁部 1 7 7 7 7 8	11-G
24	横ナデ後,凹線3条施す。	横ナデ。	摩耗。							長 石, 大粒石 英含む。	口縁部 1/5 存。	11-K
25	横ナデ後,沈 線6条施す。	横ナデ。	横ナデ後, 斜ハケ目。	横ナデ。	斜ナデ。					長石含 む。	口縁部完存。	11 – H
26	横ナデ。	横ナデ。 縦ハケ目 後,横 ナ	横ナデ。	横ハケ目 後,横 ナ デ。	縦ハケ目。					長石, 石英, 雲母む。	口縁部 1 2 存。	10-G
27	横ナデ後,凹 線2条施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (指頭、斜 残す)。斜 ヘラ削り。	横斜ナデ。			石英含 む。	口縁部 1 7 7	11-H
28	横ナデ後,凹線2条残す。	横ナデ。	横ナデ。							石英含 む。	口縁部 1/6 存。	10 - H
29	横ナデ後,凹線2条施す。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。					石英多 量含む。	口縁部 1/3 存。	12 – H
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後,斜 ナ デ。					長 石, 石英含 む。	口縁部 1/2 存。	11-H
31	横ナデ後,凹線3条施す。	横ナデ。	横ナデ。							砂粒を はと含い。	口縁部 1 7 存。	11-G
32	横ナデ後,凹 線6条施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		·			長 石, 石英含 む。	口縁部 1 4 7 4	12 – H
33	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後, 凹 線3条 施す。	横ナデ。	横ナデ。					砂粒を 含まな い。	口縁部 1 6 6	10 – I
34	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後, 凹 線6条 施す。	横ナデ。	横ナデ。					砂粒を 含まな い。	口縁部 1 存。	10 – H
35	剝落。	剝落。	剝落して いった。 がのの が残る。							長石細 片含む。	口縁部 1 6 6	15 – I
36	剝落。	剝落。	竹督を で で で で で で の で の の の の の の の の の の の の の							石 英, 雲母含 む。	口縁部 1 存。	10 – H
37	横ナデ。	横へラミ ガ キ 後, 横ナデ。	横ナデ。	斜ヘラミ ガ キ・斜 ハケ戸後・ 横ナデ。	横ナデ。					長石細 片少量 を含む。	口縁部 1 4 存。	11-H
38	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後, 斜格子文 施す。	横ハケ目 後,横 ナ デ。	横ナデ後, 縦ハケ目。					長石英田 野母細 片含む。	口縁部 1 7 5	12 – G
39	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			長石, 石英含 む。	口縁部 1 2 存。	11-H
40	横ナデ。	横ナデ。	斜格子文 施す。	横ナデ。	斜ハケ目 後,横ナデ。 刻目施す。					長石, 石英雲 母含む。	口縁部 1 3 存。	11-I

第99表 第5層出土遺物観察表(3)

			成形	およ	び調整		跡	No. of the State of S				
挿図番号				頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
7,000	口縁端部	内面	外面	内面	外面	内 面	外面	内 面	外面			
第231図 41	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ後, 指頭痕残 す。	摩耗。	横ハケ目。横板ナデ。	タタキ目 後,縦ハケ 目。 一大郎 が 摩耗。			雲母細 片多量 含む。	頸部 1 存。	12-H
42				横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。 指頭痕残 す。 黒斑。				長 石, 石英含 む。	頸部 <u>1</u> 存。	11-Н
43	横ナデ。	横 ナ デ, 斜ハケ目。	横ナデ。	横ナデ後, 横ハケ目。	横ナデ。					石 英, 雲母細 片含む。	口縁部 1 4 4	"
44	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	指頭痕残 す。デ後, 横っ が り。	横ナデ。			石英含 む。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-F
45				横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	刻目施す。 横ナデ。			雲母細 片含む。	頸部 <u>1</u> 存。	10-H
46	横ナデ。	摩耗。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。	摩耗。	斜ハケ目 後,斜 ナ デ。					長 石, 石英含 む。	口縁部 1/2 存。	11-G
47	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜板ナデ。	縦ハケ目。					長 石, 石英を 含む。	頸部3/4 存。	12-I
48	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。	摩耗。	縦ハケ目。	摩耗。	縦,斜ハケ目。			雲母含 む。	口縁部 1 7 7 7 8	10-H
49	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							石英含 む。	口縁部 1 7 7 3	11 – G
50	横ナデ。	横ナデ。	竹 管 文・ 斜格子文 施す。							長石, 石英含 む。	小片。	11-H
51	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。 斜ヘラ削 り。	斜ハケ目 後,斜ナ デ。			長 石, 石英含 む。	口縁部 1/2 存。	10-G
52	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。 指頭痕残 す。	斜ハケ目。 黒斑。			石英含 む。	口縁部 1 4 存。	11-F
53	横ナデ後,凹 線1条施す。	横ハケ目, 摩耗によ り不明瞭。	斜ハケ目, 摩耗によ り不明瞭。			斜ハケ目, 摩耗によ り不明瞭。	斜ハケ目, 摩耗によ り不明瞭。		:	長 石, 石英含 む。	口縁部 1/2 存。	11-H
54	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			砂粒を 含まず 精緻。	口縁部 1 4 存。	10-I
55	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		·	指頭痕残 す。	横ハケ目。			石英含 む。	口縁部 <u>1</u> 存。	10-H
56		横ハケ目。	斜ハケ目。			斜板ナデ。	斜ハケ目。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1/7 存。	11-I
第232図 57	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			斜板ナデ, 斜へラ削 り。	右上タタ キ目後, 斜ハケ目。			雲母細 片含む。	口縁部 ほぽ完 存。	11-H
58	横ナデ。	横板ナデ。	ヘラ先の 痕跡。			縦へラ削り。	剝落。			石英少 量含む。	口縁部 1 3 存。	"
59	横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。			ヘラ削り。	縦ハケ目。			雲母含 む。	口縁部 1 4 存。	"
60	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。 摩耗。	縦ハケ目。			雲母含む。	口縁部 1 7 7 5	10 – H

第100表 第5層出土遺物観察表(4)

			成形	お よ	び調整		沙既荣衣 跡					
挿図番号		□ #		頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
	口綠端部	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内面	外 面			
第232図 61	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削 り後,一部 縦ハケ目。	横タタキ 目後,斜ハケ目。 風斑。			雲母細 片含む。	口縁部 1 4 存。	10-H
62	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削りを りが、 斜接、 が が が が が が が が り が り が り が り り り り り	横 タ タ キ 目後, 斜ハ ケ目。			雲母含む。	口縁部 1 6 6	"
63	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。				ほどをない。 をない。	口縁部 1 4 存。	10-I
64	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削り後,斜指 りを,斜指頭 疾残す。	右上り タ タキ目,斜 ハケ目後, 縦ナデ。			石 英, 雲母含 む。	口縁部 <u>1</u> 存。	10-H
65	横ナデ。	横ナデ後, 横ハケ目。	縦ハケ目。			斜へラ削 り。	縦ハケ目。			雲母含む。	口縁部 1/6存。	"
66	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目 後,横 ナ デ。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。			雲母細 片含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	. "
67	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指おさえ。 指頭痕残 す。	縦ハケ目 後,斜ハ ケ目。			長石, 銀母含 む。	口縁部 1 4 存。	12-I
68	横ナデ。・	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ後、 横ハケ目。 指頭痕残 す。	斜ハケ目。 摩耗。			長石含 む。	口縁部 1 6 存。	10-F
69	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削 り。	斜ハケ目。 黒斑。			雲母多 量含む。	口縁部 1 8 7 8	10-H
70	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ後, 斜ハケ目。	タタキ目 後,縦 が目。斜 ハケ目。		-	雲母含む。	口縁部 1 8 存。	"
71	ハケ原体で横 ナデ。	横ハケ目。	ハケ原体 で横ナデ。			横ナデ。縦 指ナデ(指 頭 痕 残 す。)。	右上りタ タキ目後、 斜ハケ目。			雲母細 片含む。	口縁部 1 7 8 7 8	10-I
72	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			指頭痕残す。	部分的に 剝落。 斜ハケ目。			大粒石 英少量 含む。	口縁部 1 4 存。	"
第233図 73	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ (指頭痕 残す。)。	縦ハケ目。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 4 存。	10-H
74	横ナデ。.	横ナデ。	横ナデ。			横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	斜ハケ目, 不明瞭。			砂粒を 含まな い。	口縁部 <u>1</u> 存。	n
75	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横斜ナデ。	縦ハケ目。			雲母含む。	口縁部 1/4 存。	11-G
76	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横板ナデ。 斜ヘラミ ガキ。	剝落。			大粒長 石少量 含む。	口縁部 1 4 7 4	12-I
77	横ナデ。	横,斜 ナ デ。	横ナデ。							雲母含む。	口縁部 1 6 6	11-F
78	横ナデ後,凹線1条残す。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目, 斜ヘラ削 り。 黒斑。	横,右上 りタタキ 目後,斜 ハケ目。			雲母細 片多量 含む。	口縁部 1 8 7 8	10 – H
79	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	斜タタキ 目 後, 斜 ハケ目。			長 石, 石英含 む。	口縁部 1 存。	12-1
80	ハケ原体によ るらしい凹線 施す。	横ナデ。	斜ハケ目, 一 部横ナデに より消され る。			斜ナデ(指 ナデ指頭 痕残へラ削 り。	斜ハケ目。			長石含 む。	口縁部 1 3 存。	11-H

第101表 第5層出土遺物観察表(5)

			成形	およ	び 調 整		が 既宗衣 跡					
挿図番号	17 111 14	□ #	永 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
	口綠端部	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	ĺ		
第233図 81	凹線2条施す。	横ナデ。	横ナデ。			縦へラ削 り。	斜ハケ目。 黒斑。			長英野母 石 大型 会 で 会 で の の の の の の の の の の の の の の の の	口縁部 1 4 存。	11-G
82	横ナデ。 凹線らしきも の1条施す。	横ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ(指 頭痕残す)。 縦ナデ。	縦切った 板へらり が も る。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 4 存。	12-I
83	横ナデ後,凹 線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削 り後,斜 ハケ目。	縦ハケ目 後, 横ナ デ。黒斑。			雲母細 片含む。	口縁部 1 7 7 7 8	11-H
84	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削 り。	横タタキ 目 後,斜 ハケ目。			雲母細 片含む。	口縁部 1 4 存。	10-I
85	横ナデ後,凹 線2条残す。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削 り。	縦ハケ目。			雲母多 量細片 含む。	口縁部 1 3 7 3	"
86	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削り。	斜ハケ目 後,斜ナ デ。黒斑。			雲母細 片多址 含む。	口縁部 1 4 存。	11-H
87	横ナデ。	ハケの原 体で横 ナ デ。	横ナデ。			斜へラ削 り。	縦ハケ目 後,斜 ナ デ。			雲母含む。	口縁部 1 7 7 5	10 – H
88	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ハケ目。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 4 7 4	11
89						横,右上 りを後,縦 円を目 が、 日で目。	斜へラ削 り後,斜 ハケ目。			雲母含む。	口縁部 1 6 6	"
90	横ナデ後,凹 線1条施す。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。	横ナデ。			斜へラ削 り。	横タタキ 目後,斜 ハケ目。			長石含 む。	口縁部 1 4 存。	"
91	横ナデ後,凹 線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。			縦,斜へ ラ削り。	縦,斜ハ ケ目			雲母細 片少量 含む。	口縁部 1 7 7 5 7 8	"
92	横ナデ後,凹 線2条施す。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	縦ハケ目。			砂粒を 含まな い。	口縁部 10存。	10-I
第234図 93	横ナデ後,凹 線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削り。	右上りタタ キ目,縦ハケ 目後,横ナデ。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 7 5 7 5	10 – H
94	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	: 		斜へラ削り。	右上り夕 タキ目後, 斜ハケ目。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 4 存。	12-G
95	横ナデ後,凹 線2条施す。	横ナデ。	横ナデ。			横へラ削 り後,横 ナデ。	縦ハケ目。		_	長 石, 石英含 む。	口縁部 1 4 存。	11-H
96	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ, 斜ヘラ削 り,指頭 痕残す。	横タタキ目後,横ナデ。			雲母細 片多量 含む。	口縁部 1 4 存。	10-H
97	摩耗。	摩耗。.	摩耗。			斜へラ削り。	斜ハケ目。	-		雲母含 む。	口縁部 1 4 存。	10-G
98	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (ハ ケ 状 原体)。			斜へラ削り。	横タタキ 目後,縦 ハケ目。			長石, 雲母細 片含む。	口縁部 2 3 7 3 7 8	11-H
99	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦へラ削り。	縦ハケ目 後,横ナ デ。斜 ケ目。			長石, 石英含 む。	口縁部 1 7 5 7 5	11-I
100	横ナデ後,沈 線状1条施す。	横ナデ。	横 ナ デ (ハ ケ 状 原体)。			横へラ削 り。	斜ハケ目 後横ナデ。 黒斑。			大粒石 英少量 含む。	口縁部 1 4 7 4	"

第102表 第5層出土遺物観察表(6)

			成形	およ	び調整	の痕	跡					
挿図番号		□ #		頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
	口緑端部	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面			
第234図 101	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (ハ ケ 状 原体)。			斜へラ削 リ。	横タタキ 目後,縦 ハケ目。			雲母含 む。	口縁部 1 7 7 8	11-H
102	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	右上りタ タキ目後, 斜ハケ目。			雲母微 細片含 む。	口縁部 1 4 存。	10 – H
103	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦,斜へ ラ削り。	横タタキ 目。			石英含 む。	口縁部 1 4 存。	15-I
104		横指ナデ。	横ナデ。			縦指ナデ(指 頭痕残す。)。 縦ヘラ削り 後,縦指ナデ。	縦ハケ目。	縦へラ削り。	縦ハケ目。	長石, 雲母組 片多む。	口縁部 1 2 存。	12-H
105		摩耗。	摩耗。			縦指ナデ (指頭痕 残す。)。	摩耗。	縦指ナデ。	摩耗。 黒斑。	石英多 量含む。	底部完存。	10 – H
106	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 横タタキ 目。			斜板ナデ, 斜へラ削 り。	横タタキ 目後,縦 ハケ目。	縦へラ削 リ。	縦ナデ。	長 石, 石英含 む。	ほぼ完 存。	11-I
107	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。				斜ハケ目。			雲母細 片多量 含む。	口縁部 1/4 存。	10-H
108	横ナデ。	横 ナ デ, 横ハケ目。	横 ナ デ, 指頭痕残 す。			斜ハケ目 後,横ナ デ(指頭 痕残す。)。	縦,斜ハケ目後, 横ナデ。			砂粒を 含まな い。	口縁部 <u>1</u> 存。	9 – H
109	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		·	横ナデ。	斜ハケ目。			長石細 片含む。	口縁部 ほぼ完 存。	11-H
110	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							石英含 む。	口縁部 1 6 存。	10 – H
111	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横へラ削 リ。	横ナデ。			石英含 む。	口縁部 1 4 存。	15 – H
第235図 112	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横,斜ハ ヶ目。	縦,斜ハ ケ目。			石英含む。	口縁部 1 4 7 6	12-G
113	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜タタキ 目。			雲母細 片含む。	口縁部 1 4 7 4	10-I
第236図 146	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目 (摩耗)。 斜ヘラミ ガキ。	縦,横 へ ラミガキ。			石英含 む。	口縁部 1/5 存。	12-I
147	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ナデ。	横ナデ。			長石英, 野母む。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-F
148	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラミ ガキ。	横ナデ。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 8 存。	11-G
149	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横タタキ 目後,横 ナデ。			雲母含 む。	口縁部 1 6 6	"
150	横ナデ。	横ナデ。	横指ナデ (指頭痕 残す。)。			横ナデ。	右上りタ タキ目。			長 石, 石英含 む。	口縁部 1 7 7 5	"
151	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横ナ デ。黒斑。			横ナデ。	縦ハケ目 後,横ナ デ。黒斑。			長石含 む。	口縁部 1 4 存。	10-I
152	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	右上りタ タキ目。 黒斑。	縦,斜ナ デ。	摩耗。	長 石, 石英含 む。	完存。	11-G

第103表 第5層出土遺物観察表(7)

			成形	ましょ	び調整		沙鲵杀衣 跡					
挿図番号		□ #	永 部	頸	部	胴	部 部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
	口縁端部	内面	外面	内 面	外面	内面	外面	内面	外面	1354 -1-	AS IT IX	加工证图
第236図 153	横ナデ。	横ハケ目 後, 横 ナ デ。	横タタキ 目後,横 ナデ。黒 斑。			縦ハケ目 後,斜ナ デ。	横タタキ目後,横ナデ。 黒斑。	ハ ケ 目 (簾状)。	横ナデ。	雲母細 片含む。	完存。	12-G
第237図 154	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦,斜ハケ目。	縦,斜ハ ケ目。	縦,斜ハケ目。	横ナデ。	長石含 む。	口縁部 1 7 7 5	13-I
155	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			ハケ目。	ハケ目。			雲母細 片含む。 精緻。	口縁部 1 4 存。	10-H
156		斜ハケ目。	ヘラ痕残 す。			摩耗。	横タタキ目。			雲母細 片含む。	口縁部 1 4 存。	10-I
157	横ナデ後,凹線2条施す。	横ナデ。	横ナデ。			横へラミ ガキ。	横へラミ縦 ガキ。 ギラミボ キ。			長石雲か。 石雲む。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-H
158	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石, 石英含 む。	小片。	11-G
159	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。 斜ヘラミ ガキ。	横ナデ。			長石含 む。	口縁部 1 6 6	11-H
160	横ナデ後,凹 線2条残す。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			石英含 む。	口縁部 10存。	11-1
161	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		-	横ナデ。	横ナデ。			長 石, 石英含 む。	口縁部 1 8 7 8	10-G
162	摩耗。	横ハケ目 後,横 ナ デ。	摩耗。			横ハケ目 後,横 ナ デ。	摩耗。			石英細 片含む。	口縁部 1 6 6	12 – H
163	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。黒斑。	縦ハケ目。	斜ナデ。	縦ハケ目。	雲母細 片含む。	全体の $\frac{1}{2}$ 存。	12-I
164	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横 ナ デ。	斜ハケ目 後,斜 ナ デ。			斜ハケ目 後,横 ナ デ。	斜ハケ目 後,斜ナ デ。黒斑。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。	斜ナデ。	雲母細 片多量 含む。	口縁部を 一部次 がほぼ完 存。	"
165	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	縦ヘラ削 リ後,斜 ハケ目。	板 ナ デ (簾状)。	縦ヘラ削 リ。	長石製む。 お で で で で の で の で の で の の の の の の の の の	完存。	11-G
166	横ナデ。	斜ハケ目 後, 横 ナ デ。(磨 耗)。	横ナデ。			斜ハケ目 後, 横 ナ デ(摩耗)。	横ナデ。 斜ヘラ削 リ。	ハ ケ 目 (簾状)。	斜へラ削 り。	石英含 む。	完存。	9-H
167	横ナデ。	斜ハケ目 後,ナデ。	ナデ。	<u> </u>		斜ハケ目 後,ナデ。	ナデ。	斜ハケ目 後,ナデ。	ナデ(指 頭 痕 残 す。)。	雲母細 片多量 含む。	完存。	11-1
168	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。 横タタキ 目。	横ナデ。	斜ナデ。	石英含 む。	口縁部を 一部欠く がほぼ完 存。	12-I
169	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。			横板ナデ。	斜ハケ目。	板 ナ デ (簾状)。	斜ハケ目。	長石含 む。	ほぼ完 存。	11-G
170	横ナデ。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。	縦,斜ナ デ。	:		斜ハケ目。	/。無処。	ハ ケ 目 (簾状)。	斜ナデ。	石英含 む。	口縁部を 一部欠く がほぼ完 存。	"
171		斜ハケ目。	横タタキ 目 後, 斜 ナデ。			斜ハケ目 後, 一部 横ナデ。	横タタキ 目後,縦 ナデ。馬 斑。	斜ナデ。	横ナデ。	雲母細 片含む。	完存。	9 – H
172	摩耗。	斜ハケ目 (摩耗)。	摩耗。		•	斜ハケ目 (摩耗)。	摩耗。	ハ ケ 目 (簾状)。	摩耗。指 頭痕残す。	長石宴か。 お英母 で。	完存。	11-G

第104表 第5層出土遺物観察表(8)

			成形	およ	び 調 整	の痕	跡					
挿図番号	42 40 42	口箱	部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
	口縁端部	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面			
第238図 173	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。		·	横ナデ。黒斑。	縦ハケ目 後,横 ナ デ。	横ナデ。	横ナデ。	石英含 む。	口縁部 <u>1</u> 存。	12 - G
174	横ナデ。	斜板ナデ。 黒斑。	横 ナ デ (指頭痕 残す。)。			斜板ナデ。 黒斑。	斜 ナ デ (指頭痕 残す。)。	斜板ナデ。	縦斜ナデ。	雲母細 片含む。	完存。	10 – H
175		斜ハケ目。	斜ハケ目。			斜ハケ目。	斜ハケ目。	斜ハケ目。	縦ハケ目。	雲母細 片含む。	口縁部 1 7 7 3	11-G
176		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。 斜ヘラ削り 後,斜ナデ 黒斑。	縦ナデ。	指頭痕残 す。黒斑。	斜ナデ。	長 石, 石英含 む。	口縁部 2 7 7 8	"
177	横ナデ。	斜ハケ目。	斜ナデ。 黒斑。			斜ハケ目。 指頭痕残 す。	斜ナデ。 黒斑。	縦指ナデ (指頭痕 残す。)。	縦ナデ。 黒斑。	長石含 む。	口縁部を 一部欠に がほぼ完 存。	10-I
178	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	右上りタタ キ目,斜ハケー 目後,斜ナデ。			長英雲量 石 大型 日 大型 日 日 と 日 と け 日 は わ た む た む た む た む た む た む た む む む む む む	口縁部 10存。	"
179	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	-		横ナデ。	斜ハケ目。			長石含 む。	口縁部 1 8 7 8	15-H
180	横ナデ。	横ナデ。	横 ナ デ (ハ ケ 状 原体)。			斜ハケ目。 斜ヘラ削 リ。	斜ハケ目。			長石含 む。	口縁部 1/3 存。	11-G
181	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	斜ナデ。	斜へラ削 リ。	横ナデ。	製母細 片含む。	ほぼ完 存。	10 – H
182	摩耗。	横ナデ。	摩耗。			横ナデ。	摩耗。			長石, 石英, 雲母 む。	口縁部 <u>1</u> 存。	12-G
183	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			縦ヘラミ ガキ。	斜ハケ目。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1/4 存。	"
184	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 7 7 7 7	11-I
185	横ナデ。	横ナデ。	横,斜へ ラ削リ後, 斜ナデ。			横ナデ。	横へラ削り後,解れ			砂粒を 含まな い。	口縁部 <u>1</u> 存。	12-1
186	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1/4存。	11 - H
187	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長 石, 石英少 量含む。	小片。	10-G
188	横ナデ。	横ナデ。 黒斑。	横ナデ。			井形へラ ミガキ。	井形へラ ミガキ。 黒斑。	井形ヘラ ミガキ。	井形ヘラ ミガキ。	雲母細 片含み, 精緻。	杯部完 存。	11-F
189	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目。	横ナデ後, 縦ヘラミ ガキ。			砂粒を 含まな い。	口縁部 <u>1</u> 76。	10 - H
190	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			縦ヘラミ ガキ。	右 上 り, 左上りタ タキ目。			石英含 む。	□縁部 <u>1</u> 存。	"

第105表 第5層出土遺物観察表(9)

			成形	お よ t			物観祭表	((3)	<u> </u>		1
挿図番号				1		r	跡		II.	`# <i>+</i> -#	(1) (4-88)
神经苗分	口縁端部	内面	縁 部 	内 面	部 外面	内面	部 外 面	脚端部	胎土	遺存度	出土位置
第235図 114	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	· rj 🖽	71 10		長 石,石 英含む。	口縁部 1 8 存。	10-11
115	横ナデ。 黒斑。	横ナデ。	横ナデ。	ヘラミガキ。	摩耗。				長石細片 含む。	口縁部 1 4 7 4	11 – H
116	横ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	斜ハケ目。 横ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	横へラ削り。				雲母細片 含む。	口縁部 1 6 6	11-I
117	横ナデ。	斜ヘラミ ガキ。			縦ヘラミ ガキ。				雲母細片 含む。	口縁部 1 8 7 8 8	10 – H
118	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石,雲 母含む。	小片。	10-1
119	摩耗。	摩耗。	摩耗。						石英含む。	口縁部 1 7 7 5 7 8	10-G
120	横ナデ。	横ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	縦ヘラミ ガキ。	縦ナデ。				石英少量 含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-H
121	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						雲母含む。	小片。	10 – I
122	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長 石,石 英含む。	小片。	10-G
123	摩耗。	摩耗。	縦ヘラミ ガキ。	摩耗。	横ハケ目 後,縦へ ラミガキ。				石英含む。	2 170	11-H
124	横ナデ。 	縦ヘラミ ガキ。	横ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	斜ハケ目。				砂粒を含まない。	口縁部 1/8 存。	"
125	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	斜ハケ目 後,斜へ ラミガキ。				雲母含む。	口縁部 1 存。	"
126	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	横,斜へ ラミガキ。				長石含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-F
,127	横ナデ後,凹 線施す。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				石英含む。	口緣部 <u>1</u> 存。	11-H
128	横ナデ後,凹線1条施す。	斜ヘラミ ガキ。	縦ヘラミ ガキ。	摩耗。	縦ヘラミ ガキ。				石英含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	10-I
129	摩耗。	摩耗。	摩耗。						石英含む。	口縁部 1 6 6	10-G
130	摩耗。 黒斑。	摩耗。	縦ヘラミガ キ(摩 耗)。 黒斑。	摩耗。	摩耗。				大粒石英 大量含む。	口縁部 1 6 存。	11-H
131	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				雲母含む。	口縁部 1 存。	"
132	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ヘラミ ガキ。	斜ヘラミ ガキ。				雲母細片 含む。	口縁部 1/6 存。	"
133	横ナデ。	横ナデ。	横へラミ ガ キ(摩 耗)。	縦ヘラミ ガキ。	横ハケ目。				石英含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	12-H

第106表 第5層出土遺物観察表(10)

			<u> </u>	P10035	免り値	山土堰1	133 HQ 6 23 C 22 .	(40)			
		成形および調整の痕跡									
挿図番号	口縁端部	口線部		杯部		脚 部		脚端部	胎土	遺存度	出土位置
		内 面	外面	内 面	外面	内面	外面	יום עור דינו			
第235図 134	摩耗。	摩耗。	摩耗。 黒斑。	摩耗。	摩耗。 黒斑。				長石,石 英含む。	口縁部 1 存。	12-G
135	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目 (摩耗)。	摩耗。				石英少量 含む。	杯部 <u>1</u> 存。	10 – H
第236図 136	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 シボリケ 斜ハ横 後,横 デ。	縦 へ ラ ミ ガ キ。縦 ハ ケ 目。黒斑。	横ナデ。	長 石,石 英含む。	ほぼ完 存。	11-G
137						摩耗。	摩耗。	横ナデ後,凹線3 条施す。	大粒石英 含む。	脚部 <u>1</u> 存。	10 – H
138						斜ヘラミ ガキ。 横ナデ。	斜ヘラミ ガキ。 横ナデ。	横ナデ。	砂粒を含まない。	脚部 1 存。	10-G
139						横ハケ目。	縦ハケ目。	横ナデ後, 凹線1条 施す。	長石,石 英含む。	脚部 1/6 存。	10-H
140						摩耗。	摩耗。	横ナデ。	砂粒を含まない。	脚部 1 存。	10-1
141						横板ナデ。	縦ヘラミ ガキ。 横ナデ。	横ナデ。	長石,石 英含む。	脚部 1 存。	11 – H
142	•					横ナデ。	縦ヘラ削 リ後,横 ナデ。	横ナデ。	長石含む。	脚部-1 存。	10 – H
143	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					シボリ目。 縦板ナデ。	縦ハケ目 後,縦へ ラミガキ。	横ナデ後,凹線1条 施す。	砂粒を含まず精緻。	脚部 <u>1</u> 存。	11-H
144						シボリ目。 斜ヘラ削 り。	縦ヘラミ ガキ。横 ナデ。	横ナデ後,凹線2条 施す。	長石,石 英含む。	脚部一部欠。	10 – H
145		_				ナデ(摩 耗)。 黒斑。	摩耗。 黒斑。	ハケ目。	長石,石 英含む。	脚部ほぼ完存。	12-G

第107表 第4層出土遺物観察表(1)

,	第10/表 第 4 層出土遺物観祭表(1)											
		成形および調整の痕跡										
挿図番号	口縁端部	□∦	承 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
	m det vall min	内 面	外面	内面	外面	内 面	外面	内 面	外面			
第245図 1	斜ハケ目後, ヘラ描 鋸歯文施す。	横,斜ハケ目後,横ナデ。	斜ハケ目。							長 石, 石英含 む。	口縁部 1 4 存。	10-G
2	横ナデ,凹線3 条施す。	摩耗。	横ハケ目。							製母含む。	□縁部 1 存。	"
3	凹線8条施す。	横ナデ後,横ハケ目。	指頭痕残 す。 ハケ目。							長 石, 石英含 む。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-H
4	凹線3条施す。	縦ヘラミ ガキ。	横ナデ。							砂粒を 含まな い。	口縁部 1 4 存。	11-G
5	凹線7条施す。	横,斜ハ ケ目。 ハケ目。	斜ハケ目。		斜ハケ目。					大粒石 英含む。	口縁部 1/2 存。	12-F
6	凹線3条施す。	横ナデ。	横ナデ後, 斜ヘラミ ガキ。							雲母含 む。	口縁部 1 7 7 7 8	10-I
7	凹線4条,円形 浮文施す。	横ナデ。	指頭痕残 す。横次ハ ケ目後、 横ナデ。							長 石, 石英含 む。	口縁部 1 7 7 5	10-G
8	横ナデ後,竹 管文施す。	横ナデ。	縦ハケ目 後,横ナ デ。	横,斜ハ ケ目。	縦ハケ目。 横ナデ。					長 石, 雲母含 む。	口縁部 1 7 5 7 5	11-I
9	横ナデ後, 凹線7条, 竹管文施す。	横,斜,八, 付, 付, 付, 付, 付, 付, で,	斜ハケ目 後,横ナ デ。							雲母含む。	口縁部 1 6 6	11-H
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石英合 記録な。	口縁部 1 6 存。	11-I
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長 石, 石英含 む。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-G
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							雲母含 む。	口縁部 1 6 6	10-G
13	横ナデ。	横ナデ。	縦,斜ハ ケ目後, 横ナデ。	縦ナデ。	縦,斜ハ ケ目後, ナデ。					長石含 む。	□縁部 1 存。	11-H
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。					砂粒を 含まな い。	口縁部 1 8 存。	10-F
15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ハケ目 後,横ナ デ。	斜ハケ目。					雲母含む。	口縁部 1 4 存。	13-G
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					砂粒を 含まな い。	口縁部 1 4 存。	11-1
17	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	斜ハケ目。					雲母含む。	口縁部 1 4 存。	10-G
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					雲母含む。	口縁部 1 4 存。	12 – H
19	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。					雲母含む。	口縁部 1 5 7 5	10-I
20	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。					長石英 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	口縁部完存。	12-H

第108表 第4層出土遺物観察表(2)

				およ			沙観祭表					
挿図番号		□ &	承 部	頸	び調整	の痕	跡		₩ 17	n/. ,	`#-≠- ı#:	11.1.44.000
押囚钳力	口縁端部					胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
第245図 21	横ナデ。	横ナデ。	外面 科ハケ目。	横ナデ。	外面 斜,縦ハケ目。	内 面 ————————————————————————————————————		内面	外面	長石, 雲母: む。	口縁部 - 1 4 7 4	11-Н
22	横ナデ。	横ナデ後,横ハケ目。	横ナデ。	横ハケ目。	斜ハケ目。					雲母含 む。	口縁部 1 5 7 5	12 – H
23	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦,斜ハ ケ目。					雲母含む。	口縁部 1 4 存。	11-I
24	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。					砂粒と含い。 とない。	口縁部 1 6 6	10-J
25	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目 後,横ナ デ。					長 石, 雲母含 む。	口縁部 3 5 7 5	10-G
第246図 26	横ナデ。	(立上部) 機ナデ。 (立上で 以下) 世 サデ。	(立権) 上朝 大学(立下) 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	横ナデ。	斜ヘラミ ガキ。					長 石, 石英含 む。	口縁部 	11-H
27	横ナデ。	(立上部)横 ナデ。 (立上部以 下)横ナデ。	(立状がすよ) 上状がすよ) 部文を管。部横 で立下。							長 石, 石英含 む。	小片。	12 – H
28	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部 以下)横 ナデ。	(立) (立) (立) (立) (立) (立) (立) (以) (対) (が) (が) (が) (が) (が) (が) (が) (が							長石含 む。	口縁部 1 存。	10 – H
29	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部 以下)横 ナデ。	(立上部) 円の形容描述 関立で対象 関立で対象 関立で対象 リンデン (以ナデン。	Ī	į					石 英, 雲母含 む。	口縁部 1 6 6	11-I
30	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部 以下)横 ナデ。	(立管 対域) (立管 対域) (立管 対域) (立) (立) (立) (立) (立) (立) (立) (立) (立) (立							雲母細 片多む。	口縁部 <u>1</u> 存。	10 – H

第109表 第4層出土遺物観察表(3)

			成形	# # # # # #	び調整		が観察を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-				
挿図番号		□ #	录 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
	口縁端部	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外 面	内 面	外面			
第246図 31	横ナデ,凹線1 条施す。	(立上部) 摩耗。 (立上部 以下)摩 耗。	(立) 上デスを開いた。 (立) 上デスを開いた。 (位) 大学 (立) 上デスを開いた。 (下) 摩託。							長 石, 石英含 む。	口縁部 1/2 7 2 7 8	12 – H
32	横ナデ。	(立上部) 横射 かっぱい 横瀬落。 (立下デ・部横) がっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい か	(立上部) 横ナデ, ヘラ描鋸 歯文施す。	指 ナ デ, 剝落。						長 石, 大粒石 英含む。	□縁部 1 存。	13-G
33	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部 以下)横 ナデ。	(立ける) (立ける) (立ける) (立ける) (立はない) (立ている) (立ている) (立ている) (はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない		横ナデ。					長 石, 石英含 む。	小片。	11-G
34	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部 以下)横 ナデ。	(立上部) (立戸描解す。 (立下) (立下) (立下) (以アデ。	横ナデ。	横ナデ。					雲母微 細片含 む。	口縁部 10存。	10-G
35	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部) 以下)斜 ハケ目。	(立上部) ヘラ描緒す。 (立上) 以下下部) 摩耗。	横ナデ。 一部斜ハ ヶ目。	摩耗。	横指ナデ。	摩耗。刻目施す。			長石, 石英, 雲母含 む。	口縁部完存。	11-H
36	ナデ。	(立上部) 横ナデ (立上部 以下)横 ナデ。	(立刻波すのできた) おおり は の の の の の の の の の の の の の の の の の の	横ナデ。	横ナデ後,刻目施す。					長石英, 石英母 か。	口縁部 14存。	10-G
37	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部 以下)横 ナデ。	(立) 上横線4 条(立) 下が。 (立) 大横線4 条(立) 下が。	横ナデ。	綾杉文施す。					長石, 雲母含 む。	口縁部 1 2 7 2	11-G
38	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 櫛猫と (立上部) 一部 一部 で 一部 で で で で で で い で い で い で い で い で い で い							要母合む。	口縁部 1 8 7 8	10-G
39		(立上部) 指頭痕残 す。	(立上部) 櫛描波状 文施す。							長石, 石英含 む。	口縁部 1 8 存。	11-H
40	横ナデ,凹線1 条施す。	(立上部) 横ナデ。 (立上部 以下)横 ナデ。	(立上部) 凹線5条 施す。上部 (立下) ハケ目。							長 石, 石英多 量含む。	口縁部 ¹ 4存。	10-G

第110表 第4層出土遺物観察表(4)

	成形および調整の痕跡											
挿図番号		口縁部		頸 部		胴	部	底	部	│ │胎 土 │ 遺	遺存度	出土位置
	口縁端部	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外 面			
第246図 41	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部以下)横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部以 下)横ナデ。							長 石, 石英少 量含む。	口縁部 1 6 7 6	11-H
42	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部以 下)横ナデ。	(立上部) 横板ナデ。 (立上部以 下)横ナデ。							長石含 む。	口縁部 1 4 存。	10-H
第247図 43	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	斜ハケ目 後, 横 ナ デ。	左上り タ タキ目後, 斜ハケ目。	横 タ タ キ 目後,斜ハ ヶ目。			長 石, 雲母含 む。	口縁部 1- 4 4	10-G
44	横ナデ。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。	横ナデ。				斜ハケ目 後,横 ナ デ。			雲母多 量含む。	口縁部 1 4 7 4	12 – I
45	凹線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。							石英含 む。	口縁部 10存。	11-H
46				横板ナデ。	刻目施す。	縦指ナデ。	斜ヘラミ ガキ。			長 石, 石英含 む。	頸部 <u>1</u> 存。	11-F
47	横ナデ。	横ナデ後, 横ハケ目。	横ナデ。			横 ナ デ, 横へラ削 り。	横 ナ デ, 縦斜ハケ 目。			雲母含 む。	口縁部 1 6 6	11-I
48	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ, 斜ヘラ削 り。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。			長 石, 石英含 む。	口縁部 1 4 存。	10-G
49	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩 耗,指 頭痕残す。	摩耗。			長 石, 石英含 む。	小片。	10 I
50	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横,斜へ ラ削り。	縦,斜ハ ケ目。			長石含 む。	口縁部 1/6 存。	n,
51	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削 り。	斜ハケ目。			雲母含 む。	口縁部 1 3 存。	"
52	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横 ナ デ, 斜へラ削 り。	斜,縦 ハ ケ目。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 8 存。	" .
53	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	右上り夕 タキ目後, 縦ハケ目。			長 石, 石英含 む。	口縁部 1 4 存。	10-H
54	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横斜ハケ目。	斜ハケ目 後,ナデ。			雲母細片含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-G
55	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	縦,斜ハケ目。			長石, 製母細 片含む。	口縁部 1 4 7 4	11-H
56	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ, 斜ヘラ削 り。				雲母細 片含む。	口縁部 1 4 存。	n
57	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横へラ削り。	縦ハケ目。			長母片 御片 む。	口縁部 1 7 7 7 7 8	10-G
第248図 58	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目, 斜ヘラ削 り。	右上りタ タキ目後, 縦ハケ目。			雲母含む。	口縁部 1 6 6	11-H
59	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削り, 指頭痕残す。	斜ハケ目 後,斜 ナ デ。			雲母含 む。	口縁部 1/4 存。	11-I
60	横ナデ後,凹 線1条施す。	横ハケ目。	横ナデ。			縦ナデ。	横タタキ 目後,縦 ハケ目。			長石,石 英,奴 多量含む。	口縁部 1 7 5	11-H

第111表 第4層出土遺物観察表(5)

			成形	हा।। १ ८	び調整		炒既宗衣 琳			T	<u> </u>	
挿図番号		□ å	录 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	口綠端部	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	""	Ma IT-IX	加工证值
第248図 61	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜へラ削り。	縦,斜ハ ケ目。	13 EM	<u> 7г щ</u>	製母含む。	口縁部 1 4 存。	10-G
62	横ナデ。	横ナデ。	縦, 斜ハケ目			横 ナ デ, 縦へラ削 り。	縦,斜ハ ケ目後, 横ナデ。		-	長石含 む。	口縁部 1 4 存。	12 – H
63	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ, 横,斜へ ラ削り。	縦ハケ目。			長 石, 石英含 む。	□縁部 1/6 存。	10-I
64	横ナデ。	横ナデ。	縦,斜 ハ ケ目後, 横ナデ。			斜ナデ。	縦,斜ハ ケ目。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 4 7 4	10-H
65	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜ハケ目 (摩耗)。			雲母含 む。	口縁部 <u>1</u> 存。	10-G
66	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横タタキ 目後,縦 ハケ目。			長石含 む。	口縁部 1/6 存。	11-I
67	横ナデ,凹線2 条施す。	横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目 後、横 ナ デ。削り。	縦ハケ目。		_	雲母細 片含む。	口縁部 1 存。	10-G
68	凹線1条施す。	横 ナ デ (摩耗)。	横 ナ デ (摩耗)。			斜板ナデ, 縦ヘラ削 り(摩耗)。	斜ハケ目 (摩耗)。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 8 存。	"
69	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦,斜へ ラ削り。	斜タタキ 目後,斜 ハケ目。 摩耗。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 6 6	"
70	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ, 斜ヘラ削 り。	斜ハケ目 後,斜 ナ デ。			長石, 毎日 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	口縁部 1 4 4 4	11-I
71	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	縦,斜ハ ケ目。			製母含 む。	口縁部 1 8 7 8	10-G
. 72	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	•		斜ナデ。	縦,斜ハ ケ目後, 斜ナデ。			長石, 雲母含 む。	口縁部 1 4 7 4	11-Н
73	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。			横ナデ。	斜ハケ目 後,斜 ナ デ。			雲母含む。	口縁部 1 4 7 4	10-G
74	横ナデ。	斜ハケ目。	斜ハケ目。			斜ハケ目。	斜ハケ目。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 4 7 4	10 – I
75	横ナデ。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。	横指ナデ。			縦 ナ デ, 指頭痕残 す。	縦ナデ。			砂粒を ほど ない。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-1
76	横ナデ。	横ハケ目。	横ナデ。			斜,縦へ ラ削り, 指頭痕残 す。	斜,縦ハ ケ目(摩 耗)。			長石含 む。	口縁部 ほぼ完 存。	10-G
第249図 77	横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部以 下)横ナデ。	(立上部) 横ナデ。 (立上部以 下)横ナデ。			斜ナデ。	斜ハケ目。			砂粒を 含まず 精緻。	口縁部 ほぼ完 存。	11-H
78	摩耗。	(立上部) 摩耗。 (立上部以下)摩耗。	(立上部) 横ナデ後, 凹線2条施 す。 (立上部以 下)摩耗。			摩 耗,指 頭痕残す。	摩耗。			長石含 む。	口縁部 <u>1</u> 存。	10-1
79	横ナデ。	(立上部)横 ナデ。 (立上部以 下)摩耗。	(立上部) 検ナデ。 (立上部以 下)横ナデ。			摩耗。	横ナデ。			長石細 片含む。	口縁部 1 存。	12 – H
80	横ナデ。	(立上部)横 ナデ。 (立上部以 下)横ナデ。	(立上部)横 ナデ後,凹 線2条施す。 (立上部以 下)雄ナデ			横ナデ。	横ナデ。			雲母細 片含む。	口縁部 1 6 6	10-G

第112表 第4層出土遺物観察表(6)

r —				引12衣			沙 観祭衣	.(0)				
			成 形	およ	び調整		跡					
挿図番号	口縁端部	口組	部 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
第249図	Mt 1 -2	(立上部)横	外面 (立上部) 横ナデ	内面	外面	内面	外面	内 面	外面	砂粒を	口縁部	11 _ [
81	横ナデ。	ナデ。 (立上部以下)横ナデ。 (立上部)横	(立上部) 横ナデ。 (立上部以下)横ナデ。 (立上部)			横ナデ。	横ナデ。			含まな い。	1/ ₅ 存。 □縁部	11-I
82	横ナデ。	ナデ。 (立上部以 下)横ナデ。	(立上部) 凹線2条施 す。(立上 部以下) 横 ナデ。	·- <u>-</u> ·		横ナデ。	横ナデ。			雲母細 片含む。	1 存。	12 – H
83	横ナデ後,凹 線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			石英含 む。	口縁部 1/3 存。	11-G
84	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	斜ハケ目。			磐母細 片多並 含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	10-G
85	横ナデ。	斜ハケ目。	右上りタ タキ目後, 横ナデ。			斜ハケ目 後,ナデ。	右上りタタ キ目後, 大デ。右上後, タタキ目後, 経路ハケ目。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。		長石, 雲母含 む。	ほぼ完 存。	11-I
86	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	右上リタ タキ目後, 斜,縦ハケ 目。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 7 7 7 8	10-H
87	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ、斜ハケ目。			砂粒を 含まな い。	口縁部 1 8 存。	11 – H
88				_				斜ハケ目。	斜ヘラミ ガキ。	長石含 む。	底部完存。	10-G
89								横,縦り のり を しい。)。	ナデ(指 頭 痕 残 す。)。	長 石, 石英含 む。	小片。	10 – H
90								斜ハケ目 後, 横 ナ デ。	縦,斜ハケ目後,横ナデ。	長 石, 石英含 む。	底部 1 存。	11-H
91								縦,斜へ ラ削り。	縦,斜ハ ケ目後, 縦ナデ。	石英少 量含む。	底部 1 存。	"
92								ヘラミガ キ後,斜 ナデ。	摩耗。	長 石, 石英含 む。	底部完 存。	10-I
93								縦板ナデ。	縦,斜ナ デ。黒斑。	雲母細片含む。	底部完 存。	11-H
第251図 123	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。黒斑。			横ナデ。	斜ハケ目。 黒斑。	横ナデ。	斜ハケ目。	石英含 む。	口縁部 一部欠 くがほ ぼ完存。	15-I
124	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目。	横ナデ。	ハ ケ 目 (簾状)。	横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	雲母細片含む。	口縁部 1/2 存。	12 – H
125	横ナデ。	斜ハケ目。 斜ナデ。	横 ナ デ (指頭痕 残す。)。			斜ハケ目。	縦 ナ デ (指頭痕 残す。)。	ハケ目 (簾状)。	縦ナデ。	雲母多 量含む。	口縁部 1 3 存。	12-I
126	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	縦,横ナ デ。	板 ナ デ (簾状)。	縦指ナデ (指頭痕 残す。)。	砂粒を 含まな い。	口縁部 3 4 存。	10-G
127	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。			横ナデ後, 縦ヘラミ ガキ。	摩耗。			長石細片含む。	口縁部 1/2 存。	11-H
128	ナデ。		ナデ。					ナデ。		砂粒を 含まな い。	ほぼ完 存。	11-I
129	斜ハケ目。	斜ハケ目。	斜板ナデ。			斜ハケ目。	斜板ナデ。	斜ナデ。	縦,斜板ナデ。	長 石 細 片 含 む 。	口縁部 を欠ける ないで ないで ないで ないで ないで ないで ないで ないで ないで ないで	11-H

第113表 第4層出土遺物観察表(7)

				1113表		出土遺物		(/)			ı	
		I	成形	およ	び調整	の痕	跡					
挿図番号	口綠端部	□ *	永 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
		内面	外面	内 面	外面	内面	外面	内 面	外面			
第251図 130	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ヘラミ ガ キ(不 明瞭)。	斜板ナデ。			砂粒を 含まず 精緻。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-I
131	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦ナデ。	横タタキ 目,縦へ ラ削り。	縦ナデ。	横,右上 りタタキ 目。	長石含 む。	口縁部 を欠ほだ 存。	9-H
132	横ナデ。	斜ハケ目。	斜へラ削 リ。			斜ハケ目。	縦,斜へ ラ削り。	斜ナデ。	縦,斜へ ラ削り。	長 石, 石英含 む。	口縁部 <u>1</u> 存。	12 – H
133	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。	*******		斜ハケ目。	縦ナデ。	ハヶ目 (簾状)。	縦ナデ。	雲母含 む。	底部完存。	11-G
134	横ナデ。	ナデ。	横ナデ。			ナデ。		ナデ。		長 石, 石英含 む。	小片。	11-I
135	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目。	デ。	ハ ケ 目 (簾状)。	斜ナデ。	雲母細 片含む。	口縁部 2 7 7 8	11-F
136	横ナデ。 黒斑。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。	横ナデ。			斜ハケ目。	左上りタタキ目後,縦指おさえ(指頭 痕残す。)。	斜ハケ目。	横,斜へ ラ削り。	雲 母, 長石含 む。	完存。	11-H
137	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目。	縦,斜ハケ目。	ハヶ目 (簾状)。	右上りタ タキ目後, 横ハケ目。	雲母含 む。	口縁部 を一くが ほぼ完 存。	"
138	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	縦,斜ハ ヶ目。	横ナデ。		長 石, 石英含 む。	口縁部 1 6	"
139	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。	斜ナデ。	斜ナデ。	雲母多 量含む。	口縁部 10存。	"
140	横ナデ。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。	斜板ナデ 後,横 ナ デ。			斜ハケ目 後,横 ナ デ。	斜板ナデ 後,横 ナ デ。			長 石, 雲母多 量含む。	口縁部 1/4存。	"
141	摩耗。	摩耗。	縦,斜ハケ目。			摩耗。	縦,斜ハ ケ目。	11		長石含 む。	口縁部 1 7 7 3	"
142	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横,斜ハ ケ目。	縦,斜 ナ デ。	斜ハケ目。	縦,横 ナ デ。	録 母, 石英少 扯含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-G
143	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			石 英, 雲母細 片含む。	口縁部 1 4 4	11-H
144	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横斜ハケ目	斜ハケ目。			長石含 む。	口縁部 1 4 4	11-I
145	ナデ。	ナデ。				ナデ。				長 石, 石英含 む。	小片。	10 – H
146	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	横ナデ。	斜板ナデ。	縦ナデ。	長 石, 石英含 む。	完存。	12-I
第252図 147	摩耗。	横ナデ。	摩耗。			横ナデ後, 横へラミ ガキ。	摩耗。			長 石, 石英含 む。	口縁部 1 存。	10 – H
148	摩耗。	摩耗。	摩耗。							砂粒を 含まず 精緻。	口縁部 1 8 7 8	10-F
149	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長 石, 石英含 む。	口縁部 1 6 6	10-G

第114表 第4層出土遺物観察表(8)

								-						· ·
			成 形	t	ţ	び調	整	の痕	跡					
挿図番号	口綠端部	□ #	象 部	頸		部		胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
	口级地口	内 面	外面	内	面	外	面	内 面	外面	内 面	外面			
第252図 150	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。					右上りタ タキ目後, 横ナデ。	斜ハケ目。			長石, 石英含む。	口縁部 1 6 存。	10-I
151	横ナデ。・	横ナデ。	横ナデ。					斜ナデ。	斜ハケ目。			長石, 石英含 む。	口縁部 1 7 7 5	12-I
152	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					斜ナデ。	斜ハケ目 後,横ナ デ。			長 石, 石英含 む。	口縁部 1 4 存。	10-G
153								斜ハケ目。	縦,斜ハ ケ目後, 横ナデ。	斜ハケ目。	斜板ナデ。	長石含 む。	底部完 存。	11-H

第115表 第4層出土遺物観察表(9)

				およて	分		が した。テース・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・				
挿図番号			部	杯	部		部		胎土	遺存度	出土位置
	口縁端部	内面	外面	内 面	 外 面	内 面	外面	脚 端 部			
第249図 94	ナデ。	ナデ。	横へラミ ガキ。	摩耗。	横へラミ ガキ。				長石,石 英細片含 む。	口縁部小片。	11-F
95	摩耗。	摩耗。	摩耗。						長石含む。	口縁部 1 6 6	10-H
96	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				長石含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-H
97	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ナデ。	斜ヘラミ ガキ。				雲母細片 含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	10 – H
98		横ハケ目 後,縦 へ ラミガキ。	横ハケ目 後,斜へ ラミガキ。	横ハケ目 後,斜 へ ラミガキ。	斜ハケ目。				長石,石 英含む。	口縁部 1 4 存。	"
99	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				長石,雲 母細片含 む。	口縁部 1 4 存。	11-H
第250図 100	横ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	縦ヘラミ ガキ。	縦ヘラミ ガキ。	縦ヘラミ ガキ。				長石含む。	5 '' "	11-G
101	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				長石含む。		10-G
102	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				長石含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-G
103		摩耗。	縦ヘラミ ガキ。	摩耗。					長石,石 英含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	13-G
104	摩耗。	摩耗。	斜ハケ目, 縦ヘラミ ガキ。		摩耗。				長石含む。		11-H
105	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	斜ハケ目。				長石含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	10-G
106	摩耗。	縦ヘラミ ガキ。	摩耗。	縦ヘラミ ガキ。	摩耗。				長石,石 英含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	10-I
107	横ナデ。	横ナデ。	縦ヘラミ ガ キ,横 ナデ。	縦ヘラミ ガキ。	斜ハケ目。	-			長石含む。	口縁部 1 7 7 5 7 8	11-H
108	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				長石含む。	-	10-G
109	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				長石,大 粒石英含 む。	口縁部 <u>1</u> 存。	12-H
110	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				長石,石 英含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-H
111	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				石英含む。	5 17 0	10-I
112		斜へラミ ガ キ 著 い。)。	横ナデ。	斜ハケ目 後,斜 へ ラミガキ。	斜ハケ目 後,斜 へ ラミガキ。		-		石英含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	"
113						斜,横 ナ デ。	斜,横 ナ デ。	横ナデ。	長石含む。	脚部 1/9 存。	12 - I

第116表 第4層出土遺物観察表(10)

				711020	710 112		勿既示少				
			成形	およて	月 調整	の痕	跡				
挿図番号	口縁端部	□ #	录 部	杯	部	脚	部	脚 端 部	胎土	遺存度	出土位置
	- 10 AN AND LIP	内面	外面	内面	外面	内 面	外面	क्षियं भीत छ।			
第250図 114						シボリ目。 横 ナ デ, 一部斜ハ ケ目。	斜ハケ目。	横ナデ。	長石含む。	脚部 1/3 存。	10-G
115						斜,横ハ ケ目。	斜ハケ目, 横ナデ。	横ナデ。	長石含む。	脚部 <u>1</u> 存。	"
116						斜ハケ目 , 横ナデ。	横 ナ デ, 斜ハケ目。		長石少量, 石英含む。	脚部 3 存。	15 – I
117						横ナデ。	縦ヘラミ ガ キ,横 ナデ。	横ナデ。	長石含む。	脚部 1 存。	10 – I
118	<u> </u>					横ナデ。	縦,斜ハ ケ目,横 ナデ。	横ナデ。	砂粒を含 まない。	脚部 1 存。	11-G
119				斜,横 へ ラミガキ。	斜ハケ目。	斜板ナデ, 斜ハケ目。	斜ハケ目, 横ナデ。	横ナデ。	砂粒を含 まない。	脚部 3 存。	16 – I
120						シボリ目。 做ハケ目。	斜ハケ目。	横ナデ。	石英含む。	脚部 <u>1</u> 存。	15 – H
121						斜ハケ目。	縦,斜ハ ケ目。	横ナデ。	長石,石 英含む。	脚部 <u>1</u> 存。	11-G
122						摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石含む。	脚部 <u>1</u> 存。	11 – H

第117表 第4層出土遺物観察表(11)

						第 1	-		ぴ		-	整の	-	良 🏻								
挿図番号		杯		蓋		杯		į	}		_	髙		杯				<u> </u>	壺		遺存度	出土位置
		内 面		外 面	1	内 面		外	面		内	面		外	面		P	り 面		外 面		
第253図 179																1 2		回転ナデ。回転ナデ。	1 2	回転ナデ。回転ナデ。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-G
	1 2 3	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。																	□縁部 <u>1</u> 存。	10-G
. 181	1 2 3	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。																	全体の ¹ / ₃ 存。	11-H
182	1 2 3	仕上げナ デ。 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3	回転へラ 切り。 回転ナデ。																-	口縁部 <u>1</u> 存。	n
183	1 2 3	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3	回転へラ削 り後,ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。																	全体の ¹ 存。	10 – H
184	1 2 3	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3	回転へラ 削り。 回転ナデ。								·						•			口縁部 <u>1</u> 存。	11 – G
185					1 2	回転ナデ。回転ナデ	1 2	回車	伝ナデ。												小片。	11 – H
186					1 2	回転ナデ。回転ナデ	1 2	回車	伝ナデ。												口縁部 ¹ 存。	11-G
187					1 2 3 4	回転ナデ 回転ナデ 回転ナデ 回転ナデ	1 2 3 4	回車回車	伝ナデ。 伝ナデ。 伝へラ り。												口縁部 <u>1</u> 存。	10-F
188					1 2	回転ナデ	1 2	回車	伝ナデ。												小片。	10-G
189					1 2 3 4	回転ナデー回転ナデー回転ナデー回転ナデー	1 2 3 4	回車回車	伝ナデ, 伝ナデ, 伝へラ り。	,											口縁部 <u>1</u> 存。	11-F
190					1 2 3 4	回転ナデ 回転ナデ 回転ナデ 回転ナデ	1 2 3 4	回車町町	伝ナデ。 伝ナデ。 伝へラ り。	,											口縁部 <u>2</u> 存。	"

第118表 第4層出土遺物観察表(12)

			成形お	: よ ぴ	調整の	痕 跡			
挿図番号	杯	蓋	杯	身	高	杯	壺	遺存度	出土位置
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面 外 面		
第253図 191			1 回転ナデ。1 2 回転ナデ。2 3 回転ナデ。3 4 回転ナデ。4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転へラ 削り。				口縁部 <u>1</u> 存。	10-G
192			1 回転ナデ。1 2 回転ナデ。2 3 回転ナデ。3 4 回転ナデ。4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転へラ 削り。				口線部 <u>1</u> 存。	10 – H
193			1 回転ナデ。1 2 回転ナデ。2 3 回転ナデ。3 4 回転ナデ。4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転へラ 切り。				口縁部 <u>1</u> 存。	10-G
194			1 回転ナデ。1 2 回転ナデ。2 3 回転ナデ。3	回転ナデ。				口縁部 <u>1</u> 存。	"
195			1 回転ナデ。1 2 回転ナデ。3 1 回転ナデ。4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転へき 削り後, 回転ナデ。				口縁部-1 存。	"
196			1 回転ナデ。1 2 回転ナデ。2 3 回転ナデ。3	回転ナデ。回転ナデ。				口縁部 <u>1</u> 存。	12-H
197			1 回転ナデ。1 2 回転ナデ。2 3 回転ナデ。3	回転ナデ。回転ナデ。				口縁部 <u>1</u> 存。	11-G
198			1 回転ナデ。1 2 回転ナデ。3 1 回転ナデ。4 仕上げナデ。	回回転転り不のりますの				口縁部 <u>2</u> 存。	12 – H
199			1 回転ナデ。1 2 回転ナデ。2	回転ナデ。				口縁部 <u>1</u> 存。	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
200			1 回転ナデ。1 2 回転ナデ。2 ハケ目状 の痕跡。	凹線が施 されてい る回転ナ デ。				口縁部 <u>1</u> 存。	11-G
201			1 回転ナデ。1 2 回転ナデ。2	回転ナデ。				口縁部 1 存。	"
202			1 回転ナデ。1 2 回転ナデ。2	回転ナデ。				口縁部 <u>1</u> 存。	12 – F

第119表 第4層出土遺物観察表(13)

									成形	Į. J			僧出土1	-		c /	13)					l
挿図番号	•	杯				蓋		Г	成 形 杯		身	Т	調整の 高		痕 跡 ——— 杯	Γ			ts.		油左座	山土/六帶
神区田ろ	P		面	Т	外		面		 内 面	T		╁	 内 面	Γ	外面	H	内 i	至 面	_	N FF	遺存度	出土位置
第253図 203		,	IH.				Ш	1 2 3 4	回転ナデー回転ナデー回転ナデー回転ナデー	┺		0	rs (B)		7F (B)		P3 1	ш		外 面	口縁部 <mark>-1</mark> 存。	10-G
204								1 2 3 4	回転ナデー回転ナデー回転ナデー回転ナデー	1 2 3 4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転へラ 切り。							-			口縁部 1 存。	11-F
205								1 2 3 4	回転ナデ 回転ナデ 回転ナデ 回転ナデ	1 2 3 4	回転ナデ 回転ナデ 回転へラ 削り。	0									口縁部 <u>1</u> 存。	11-G
206								4 5	回転ナデ	5	回転へラ 削り後, 横ナデ。 回転ナデ。										高台部 ¹ 存。	n
207								5	ナデ。	5	横ナデ。横ナデ。										高台部 <u>1</u> 存。	11-H
208								3 4	回転ナデ。	3	回転へラ 削りで。 サデ。 回転ナデ。		·								底部 1/2 存。	10 – H
209								4 5	回転ナデ	5	回転へラ 削り後, ナデ。 回転ナデ。										髙台部 1 存。	16-I
210								2 3 4	回転ナデ。回転ナデ。回転ナデ。	2 3 4	回転ナデ。回転ナデの回転へラー削り。		·								口縁部 <u>1</u> 存。	10 – H
211												3 4 5	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	3 4 5	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。						脚部 <mark>1</mark> 存。	11-H
212			٠									3 4 5	摩耗。 摩耗。 摩耗。	3 4 5	摩耗。 摩耗。 摩耗。						杯, 脚部 1 4存。	11-1
213												5	回転ナデ。 回転ナデ。	4 5	回転へラ 削り。 回転ナデ。						脚部 1 存。	11-G
214									-			5	回転ナデ。回転ナデ。	4 5	回転ナデ。回転ナデ。						脚部 ¹ 存。	IJ

第120表 第4層出土遺物観察表(14)

						Mill				1111111111111			_		_			
					成	形	お	よび	調	整の	痕	跡						
挿図番号		杯		蓋	ŧ	不		身		髙		杯		- -	亞		遺存度	出土位置
	内	面	外	面	内	面	外	面	内	面	外	面		内 面		外 面		
第253図 215													4	回転ナデ。	4	回転ナデ 後,波 状 文。	脚部 <u>1</u> 存。	10-G
216											-	÷	5	回転ナデ。	5	回転へラ削り。	底部 1/3 存。	10 – H
217								-					1 2 3 4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3 4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	口縁部 ¹ 存。	15 – H

第121表 第4層出土遺物観察表(15)

					成	形	, t	よび	E C	問 整	の	19	夏島	东					-		
挿図番号	杯	:	ž	藍	· #	不		身		髙			杯				魏			遺存度	出土位置
ļ	内	面	外	面	内	面	外	面		内	面	3	ነ	面	1	内 面		外	面		٠
第253図 218															1 2	回転ナデ	. 2	回転回転	ナデ。ナデ。	口縁部 1/4 存。	10-F
219															1 2	横横ナかなている。)	1 2	横ナ	デ。デ。	口縁部 1 存。	11-H

第122表 第4層包蔵自然礫群伴出遺物観察表

			第1223			1		122 120 120 2		1	·	
		ı	成形	およ	び調整	1	跡		•			
挿図番号	口綠端部		禄 部	頸	部	胴	部	底	部	胎土	遺存度	出土位置
		内面	外面	内 面	外面	内面	外面	内 面	外面			
第258図 1	(立上部内面) 帽ナデ。(立上 部外面)帽ナデ 後,凹線3条施 す。	(立上部) 横ナデ。	(立上部) 横ナデ。	横ナデ。	縦, 横 ナ デ。(刻目 施かっ)。 縦ハケ目。					長 石, 雲母少 量含む。	$\frac{1}{3}$ 存。	11-G
2	,					摩耗。	貼付突帯 上に刻目。			長石含 む。	頸部 <u>1</u> 存。	"
3				横 ナ デ (指頭痕 残す。)。	縦,斜ハ ケ目。	斜ハケ目 後,指 ま デ(指頭 痕残す。)。	縦,斜ハ ケ目。			長 石, 石英含 む。	頸部 <u>1</u> 存。	"
4	横ナデ。凹線 施す。	横ナデ。	横ナデ。			横へき, (後デ痕 す。)。	縦ハケ目。 摩耗。黒 斑。		·	雲母細 片含む。	$\frac{1}{8}$ 存。	"
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目。	縦ハケ目 後,横 ナ デ。			長石含 む。	1 存。	n
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜板ナデ。			雲母細 片含む。	$\frac{1}{4}$ 存。	"
7		横ナデ。	横ナデ。			縦へラ削 り。	横タタキ 目 後,斜 ハケ目。			雲母細 片含む。	$\frac{1}{5}$ 存。	"
8							•	斜ハケ目 後,指ナ デ。	横タタキ 目後, 横 ナデ。黒 班。	砂粒を 含まな い。	底部完 存。	"
9								斜板ナデ。	縦,斜ハ ケ目。	雲母細 片含む。	底部 <u>1</u> 存。	"
10								斜ナデ。	斜ハケ目 後,斜ナ デ。黒斑。	雲母細 片含む。	1 存。	"
11								縦へラ削 り。	斜タタキ 目。格子 状の部 あり。	砂粒を 含まず 精緻。	底部完 存。	11
12								ヘラ削り。 摩耗。	斜ハケ目 後,斜へ ラミガキ。 黒斑。	長石含 む。	底部 1/2 存。	"
13						指頭痕残 す。	縦,斜ハ ケ目。	指頭痕残 す。	斜ハケ目。 黒斑。	長石大 粒含む。	胴部 1 存。	j)
14		横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	斜ナデ。 黒斑。	斜ハケ目。	斜ナデ。 黒斑。	砂粒を 含まな い。	完存。	"
15	横ナデ。	横ナデ。	右上りタ タキ目。			横ナデ。	右上りタ タキ目。	横ナデ。	右上りタ タキ目。 黒斑。	長石含 む。	完存。	"
16	横ナデ。凹線 1条施す。	横ナデ。	右上りタ タキ目。			横,斜ハ ケ目。	右上り <i>タ</i> タキ目。	_		砂粒を 含まな い。	1 存。	"

第123表 第3層出土遺物観察表(1)

				512338	37.07 自	ш-ж	沙 既宗衣	.(-)				
			成形	およ	び 調 整	の痕	跡					
挿図番号	口縁端部	口絲	永 部	頸	部	胴	部	底	部	胎 土	遺存度	出土位置
	口家鸡口	内面	外面	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外 面			
第261図 1	刻目施す。	横ハケ目。	縦ハケ目 後,横 デ。							砂粒を 含まな い。	口縁部 1 5 7 5	10.11-1
2	へラ描文施す。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。	縦ハケ目。					砂粒を 含まな い。	□縁部 1/4 4	10-G
3	横ナデ後,凹 線1条施す。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。					石 英, 雲母含 む。	口縁部 1 存。	11-H
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長 石, 袰母細 片含む。	口縁部 1 4 7 4	"
5	凹線2条施す。	横ナデ。	縦,斜ハケ目後,横ナデ。							砂粒を 含精緻。	口縁部 1 7 7 5	,,,
6	(立上部内面) 横ナデ。 (立上部外面) 横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後,横 ナ デ。	摩耗。	縦ハケ目。					長石, 雲母細 片含む。	口縁部 1 4 7 4	11-G
7	横ナデ。	横ナデ。黒斑。	横ナデ。							雲母多 量含む。	口縁部 1 7 7 7 8	10-G
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石含 む。	口縁部 <u>1</u> 存。	12 – H
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	斜ハケ目 後,縦,桁頭 けデ。指頭 痕残す。			長片英含 石・細石片 か。	口縁部 1 4 存。	11 – H
10								斜ナデ。	横,斜ハケ目後,横ナデ。	長石含 む。	底部完 存。	, ,,,
11								摩耗。	縦,斜ハ ケ目後, 縦ナデ。	長石多 量,石 英含む。	底部 1/2 存。	n
12								斜ナデ。	斜ナデ。	石 英,雲母多 量合む。	底部完 存。	JI
13						縦ヘラ削リ, 斜ハケ目後, 縦ナデ。	横タタキ目, 縦斜ハケ目 後,縦ナデ。	縦斜ハケ 目後,縦 ナデ。	縦斜ハケ 目 後,縦 ナデ。	長石少 量含む。	底部完 存。	"
16		横ナデ後, 沈線1条 施す。	縦,斜ハケ目後, 横ナデ。							長 石, 石英含 む。	小片。	10 – H
17		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	斜ハケ目 黒斑。	斜ナデ。	斜ハケ目。	雲母含 む。	口縁部 1 8 存。	10-G
18		横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。 黒斑。	斜ナデ。	斜ナデ。	長石, 雲母含 む。	口縁部 1 7 7 5	n
19						横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ヘラミ ガキ。	長石少 量含む。	底部完存。	10-F

第124表 第3層出土遺物観察表(2)

			成 形	およて	グ調整	の痕	跡				
挿図番号	口緣端部	□ .#	录 部	杯	部	脚	部	脚端部	胎土	遺存度	出土位置
	口移场的	内 面	外面	内 面	外面	内 面	外面	加州市司			·
第261図 14	摩耗。	摩耗。	摩耗。				-		長 石,石 英含む。	口縁部 <u>1</u> 存。	10-F
15	摩耗。	摩耗。	摩耗。	•					長石,石 英含む。	口縁部 1 6 6	10-H

第125表 第3層出土遺物観察表(3)

						成形	お	ţ	び	1	問整の		痕跡							
挿図番号		杯	_	蓋		杯		身			高	_	杯		L		壺		遺存度	出土位置
第262図 23		内 面		外 面		为 面		外 [面		内 面		外 面 	Í	2 4	内 面 回転ナデ 青海波文 残す。	t	外 面	口縁部2 3 存。体,底 部ほぼ完 存。	12-I
24	2	仕上げナ デ。 回転ナデ。	2 3	回転ナデ。 回転ナデ。															端部 <u>1</u> 7存。	9-H
25	1		1	回転へラ 削り後, 回転ナデ。		-													頂部小片 (つまみ付)。	10 - F
26	1	回転ナデ。	1	回転へラ 削 り 後, 回転ナデ。															頂部 1/4 存 (つまみ付)。	9-H
27	1	回転ナデ。	1	回転へラ 削 り 後, 回転ナデ。							,								頂部小片 (つまみ付)。	11-H
28	1 2 3	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3	回転へラ 削り。 回転ナデ。 回転ナデ。															ほぼ完存。	10•11-I
29	3 4	横ナデ。 横ナデ。	3	横ナデ。		-													端部 <u>1</u> 存。	11-H
30					1 2 3	回転ナデ。回転ナデ。	1 2 3	回転ナ 回転へ 削リ	デ。										口縁部 ² 存。	12-G
31					1 2 3	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3	回転ナ 回転へ 削 回転ナ	デ。 ラ 炎, デ。										口縁部 <u>1</u> 存。	11-H
32					1 2	回転ナデ。回転ナデ。		回転ナ	・デ。										口縁部 <u>2</u> 存。	12-G
33					1 2 3 4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。 仕上 デ。	1 2 3 4	回回削回回削転転り転転り	デラチラ										口縁部 <u>1</u> 存。	11-F
34					1 2 3	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	1 2 3	回転ナ 回転ナ	デ。デ。										口縁部 <u>1</u> 存。	"

第126表 第3層出土遺物観察表(4)

						_	成形		<u>ئر کی د</u>	910	調整の	-	痕跡	_			_				
挿図番号		杯		蓋	ŧ		杯		身		髙		杯	T		Š	Ī			遺存度	出土位置
	内	面	Γ	外	面		内 面		外 面		内 面		外 面	1	内	面		外	面		
第262図 35						1 2	回転ナデ。 回転ナデ。	1 2	回転ナデ。											口縁部 <u>1</u> 存。	13-G
36						1 2 3	回転ナデ。回転ナデ。	1 2 3	回転ナデ。 回転へラ 削り後, 回転ナデ。											□縁部 <u>1</u> 存。	10-G
37						1 2	回転ナデ。回転ナデ。	1 2	回転ナデ。											口縁部 <u>1</u> 存。	n,
38						1 2 3	横ナデ。横サデ。	1 2 3	横ナデ。 横ナデ。											口縁部 1 存。	11 – H
39						2 3 4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	2 3 4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転へラ 削り。											□縁部 <u>1</u> 存。	10 - I
40						2 3 4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転ナデ。	2 3 4	回転ナデ。 回転ナデ。 回転へラ 削り。											口縁部 <u>1</u> 存。	10-F
41						4 5	回転ナデ 後,仕上 げナデ。 回転ナデ。	5	回転へラ 削り。 回転ナデ。										- ,	高台部 <u>1</u> 存。	11-H
42						5	回転ナデ。 回転ナデ。	5	回転ナデ。 回転ナデ。											高台部 <u>1</u> 存。	12 – H
43						4 5	回転ナデ。 回転ナデ。	4 5	回転ナデ。 回転ナデ。											高台部 ¹ 存。	11 – H
44						5	摩耗。 回転ナデ。	4 5	回転ナデ。 回転ナデ。									·		高台部 ¹ 存。	n,
45		_				5	回転ナデ 後,仕 上 げナデ。	4 5	回転へラ 削り後, ナデ。 回転ナデ。											髙台部 ¹ 存。	12-G
46						4 5	摩耗。	5	摩耗。											底, 高 台 部 1 存。	12 – H

第127表 第3層出土遺物観察表(5)

										成形	_	-		-				_]観祭表 (跡	- 10					
挿図番号			5	_		蓋		_		杯		<i>-</i> 10	身			高		7,1	·····································	_		壺		遺存度	出土位置
押囚留与	p		面	Т	外		面	-	-	 为 面	ī				内	面	7		 ト 面	┝			外 面	20.17.2	11 11 11 11
第262図 47			Щ			-	Ш		4 5		\dashv	1	回転ナデ。		ra	(HI		ĺ	r (d)		7		, ш	髙台部 ¹ 存。	11-H
48									3 4 5	回転ナーロ転ナー	デ。 デ。 デ。	3 4 5	回転ナデ。回転ナデ。回転ナデ。											髙台部 1/4 存。	n
49																				1 2	回転ナデ。	1 2	回転ナデ。 回転ナデ。	口縁部 <u>1</u> 存。	n
50																				1 2	回転ナデ。	1 2	回転ナデ。 回転ナデ。	口縁部 1/4 存。	n
51																				1 2 3	横ナデ。 横ナデ。	1 2 3	横ナデ。 横ナデ。 横ナデ。	□縁部 1 存。	<i>II</i>
52																				2	横ナデ。	2	横ナデ。	口縁部 <u>1</u> 存。	n
53																				1 2	回転ナデ。	1 2	回転ナデ。回転ナデ。	口縁部 <u>1</u> 存。	12 – H
54																			11.50-11.00	1 2	回転ナデ。	1 2	回転ナデ。回転ナデ。	口縁部 <u>1</u> 存。	10-F
55																				1 2	回転ナデ。青海波文残す。	1 2	回転ナデ。 格子状タ タキ目後, 回転ナデ。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-I
第263図 56																				12	回転ナデ。	1 2	回転ナデ。回転ナデ。	□縁部 1 存。	11-F
57																				34	回転ナデ。	34	回転ナデ。 タタキ目。	頸部 <u>1</u> 存。	10-G
58																				3	横ナデ。 横ナデ。 青海波 残す。	3	横ナデ。 格子状タ タキ目後, 横ナデ。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-H

第128表 第3層出土遺物観察表(6)

						成	714 形	お	ょ			周整の	_				-			
挿図番号		杯	 蓋	 i		杯				ł		髙		杯		Š	ž	-	遺存度	出土位置
	内	面	外	面		内 i	面	3	*	面		内 面		外 面		内 面		外 面		
第263図 59															2		ļ l	横ナデ。 摩耗。	口縁部 <u>1</u> 存。	11-F
60						•					2 3 4	回転ナデ。 回転ナデ 仕上げナ デ。 回転ナデ。	2 3 4 5	回転ナデ。 回転サデ。 回転ナデ。 削転ナデ。					脚部完存。	"
61											23	回転ナデ。回転ナデ。	2 3	回転ナデの回転へラ削り後、回転ナデの					口縁部 <u>1</u> 存。	11 H
62											3 4		3 4 5	回転ナデ。回転ナデ。回転ナデ。					脚部完存。	12-H
63		,			-										1 2 4	横ナデ。斜ハケ目。	1 2 4	横ナデ。 回転ナデ。 斜ハケ目。	口縁部 ¹ 存。	n
64															4 5	回転ナデ。回転ナデ。	4 5	回転へラ 削りを の り か り か か か か た う か り か り か り か り か り り か り り り り り り り	底部完存。	10•11-I
65															4	横ナデ。	4	回転ナデ, 回転へラ 削り後, 横ナデ。	胴部 <u>1</u> 存。	11-H
66															4 5	回転へラ 削り。 回転り。 削り。	5	回転ナデ。回転ナデ。	底部 ¹ 4存。	<i>n</i>
67															1 2	回転ナデ。回転ナデ。	1 2	回転ナデ。回転ナデ。	口縁部 ¹ 存。	11-F

第129表 石器一覧表

		,			
挿図番号	遺物名称	位置	出土遺構• 層序名	特記事項	材質
第89図 1	砥 石	15, 16-H	S B 01	2面に使用痕が残る。	砂岩
" 2	n,	. "	"	3面に使用痕が残る。	安 山 岩
第 141 図	"	11 – H	S T 16	2面に使用痕が残る。	頁 岩
第 146 図	"	"	S T 17	3面に使用痕が残る。	安山岩
第 158 図	"	10 - G	S T 18	2 面に使用痕が残る。	頁 岩
第159図3	打製石包丁	"	"	挟入り。刃部の摩耗が著しい。	サヌカイト
" 2	不 明	"	"	穿孔のある自然石。	砂岩
第160図4	削器	"	S T 18 第 1 号主体部	刃部は鈍い両面加工。	頁 岩
<i>"</i> 6	打製石包丁	"	".	·	結晶片岩
<i>n</i> 5	削 器	11	"	調整のある剝片。	サヌカイト
第265図1	砥 石	12 – G	III 層	2 面に使用痕が残る。	安 山 岩
" 2	打製石包丁	10 - G	. "	抉入り。	サヌカイト
第255図1	砥 石	"	IV 層	2 面に使用痕が残る。	頁 岩
" 2	"	11 - G	"	2面に使用痕が残る。	安山岩
<i>n</i> 3	磨製石斧	10 - G	n	蛤刃磨製石斧。刃部欠損。	安 山 岩
第256図4	"	13 – G	"	柱状磨製石斧。基部に敲打痕 残る。	緑色片岩
<i>n</i> 5	磨 石	12 - H	"	側縁部の一部に敲打痕残る。	砂岩
<i>"</i> 6	削 器	15 – I	"	•	サヌカイト
<i>"</i> 7	打製石包丁	12 - F	n ·	外湾刃タイプ。	サヌカイト
第241図1	11	10 - G	· V 層		サヌカイト
<i>"</i> 2	不明	12 - G	n	穿孔のある自然石。	砂岩

第130表 鉄製品一覧表

挿図番号	遺物名称	位置	出土遺構・ 層序名	特記事項	遺存状態
第91図 1	刀子	15 – H	S B 02		先端部のみ存。
" 2	"	16 - H	S B 03		刃部の一部が存。
<i>"</i> 3	ヤリガンナ	10, 11-G	S B 05	茎部に比して刃部幅の拡がら ない形態。	ほぼ完存。
第118図1	"	11 – I	S T 11	茎部に比して刃部幅がやや拡 がる形態。	刃部のみ存。
" 2	打グワ	11 – H	S T 12	長方形の鉄板の両側縁部を折 り返す形態。	ほぼ完存。
<i>"</i> 4	刀 子	12 – I	S T 15		先端部のみ存。
<i>"</i> 3	鏃	"	"		鏃身部完存。
<i>n</i> 5	ヤリガンナ	11 – H	S T 16	刃部は反を有する。	基部を欠くがほぼ完存。
<i>"</i> 6	鏃	10 - G	S T 18	鏃身部は柳葉形の形態。	先端部を欠く。
n + 7	不明	"	"		器形復元不可能。
第 211 図	鏃	12 – G	S X 06	鏃身部はかえしを有する形態。	鏃身部完存。
第243図1	不明	12 – F	III 層	釘状の形態であり, 先端部が 屈曲する。	基部を欠く。
" 2	鏃	11 – H	IV 層	銅鏃の模造品と考えられる。	鏃身部完存。
" 3	不明	"	"	両端部が肥厚する棒状製品。	ほぼ完存。
" 4	ヤリガンナ	11 – I	"	茎部に比して刃部幅がやや拡 がる形態。	先端部と茎部を欠く。
<i>n</i> 5	"	10 - G	".		刃部のみ存。
. " 6	不 明	10 - H	"	先端部の尖る棒状製品。	基部を欠く。
<i>n</i> 7	"	15 – H	"	板状製品。	器形復元不可能。
<i>"</i> 9	"	11 – F	. "	基部が屈曲する形態。	n
<i>"</i> 8	鏃	11 – G	"		茎部のみ存。
<i>"</i> 10	"	11 - F	"	鏃身部は柳葉形の形態が考え られる。	先端部と茎部を欠く。
<i>"</i> 11	不 明	10 - F	V 層	刃部は刀子状の形態を呈する。	ほぽ完存。
<i>"</i> 12	刀 子	10 - H	".	背部に屈曲を有することから 鉄鎌の可能性あり。	刃部の一部が存。
<i>"</i> 13	不 明	11 – G	"	刃部は柳葉形の形態。	先端部を欠く。
<i>"</i> 14	鎌	12 – I	不明		刃部の一部が存。





(1)NR8301全景(東から)



(2)NR8301全景(南から)



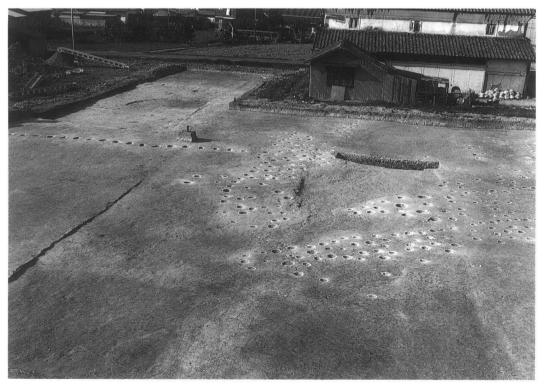
(1)NR8304全景(西から)



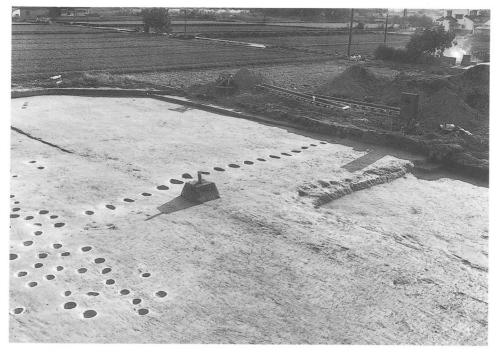
(2)NR8301遺物出土状況



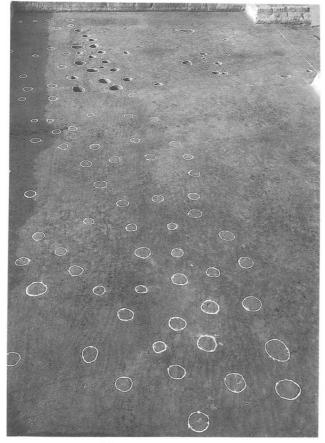
(1)NR8301遺物出土状況



(2)ピット群全景(南から)



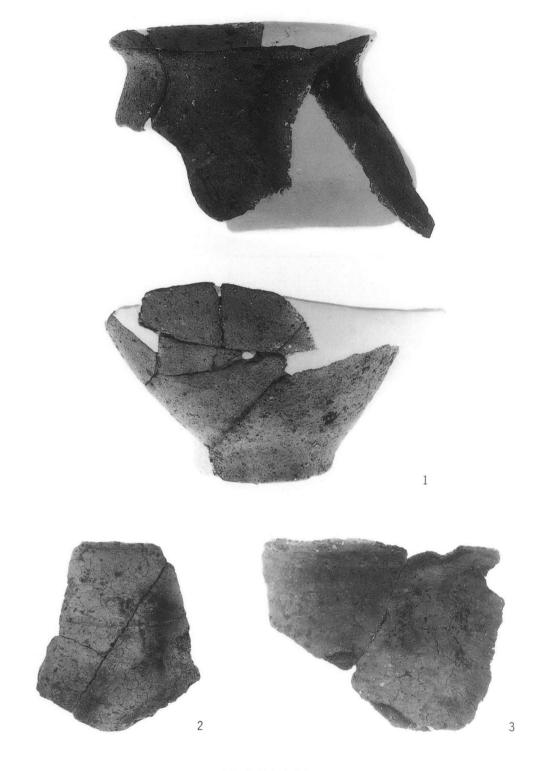
(1)ピット群近景(東から)



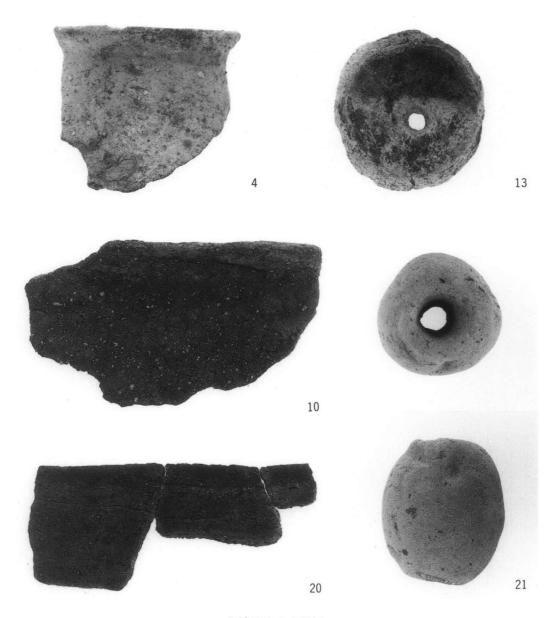
(2)ピット群近景 (南から)



NR8419・NR8420・NR8421全景(南から)



A 地区出土土器(1)



A地区出土土器(2)

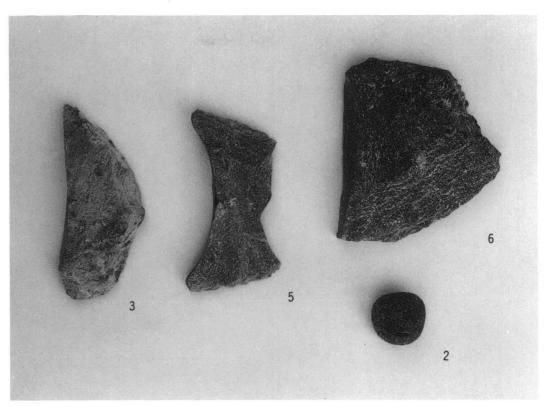


1

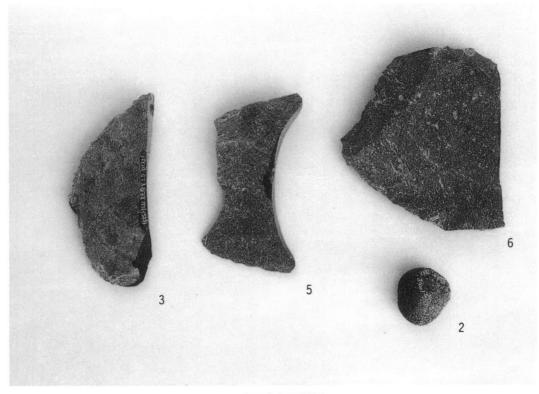
(1) A 地区出土石器(1)



]



(1) A 地区出土石器(3)



(2) A 地区出土石器(4)

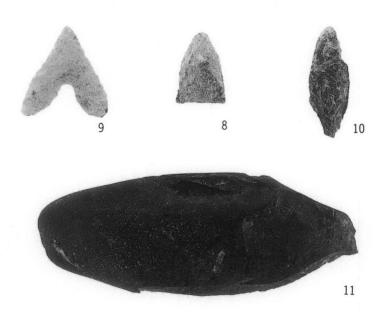


4

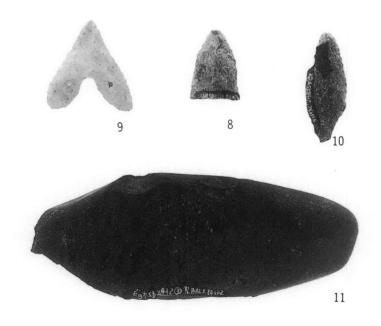
(1) A 地区出土石器(5)



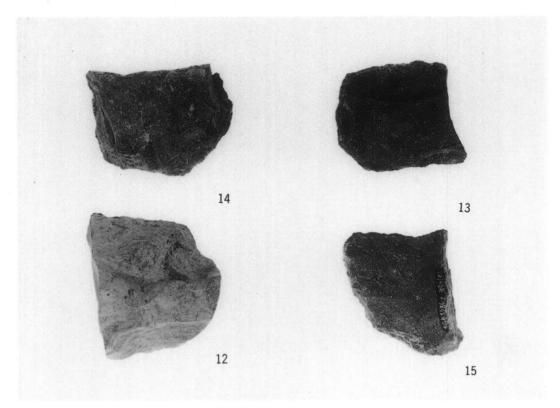
4



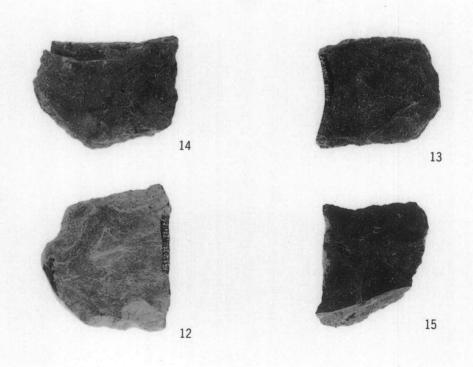
(1) A 地区出土石器(7)



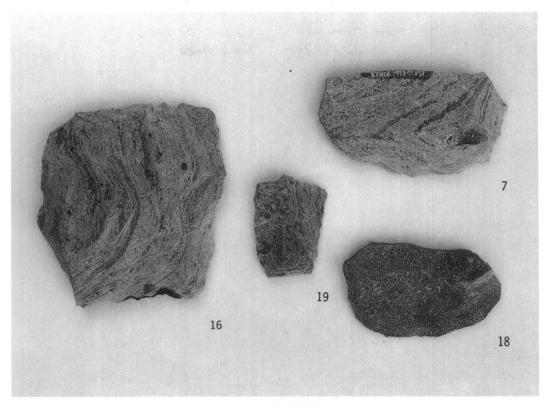
(2) A 地区出土石器(8)



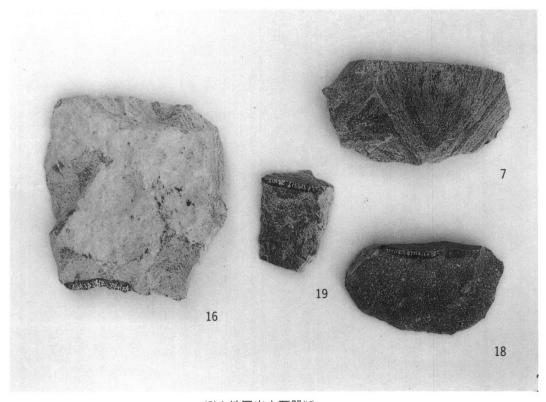
(1) A 地区出土石器(9)



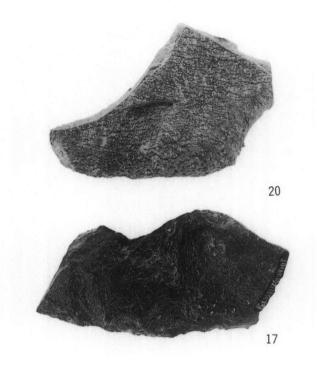
(2) A 地区出土石器(10)



(1) A 地区出土石器(11)



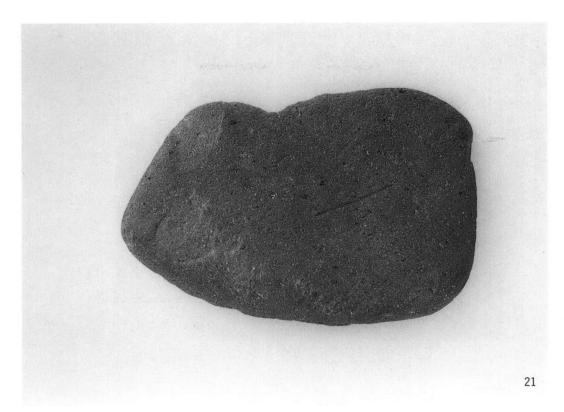
(2) A 地区出土石器(12)



(1) A 地区出土石器(13)



(2) A 地区出土石器(14)



(1) A 地区出土石器(15)



(2) A 地区出土石器(16)



B₃地区全景写真



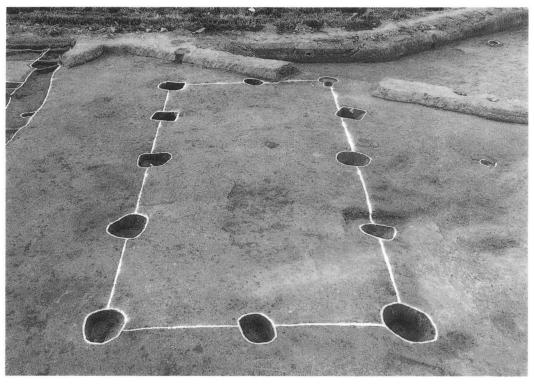
(1)B₃地区遠景写真(西から)



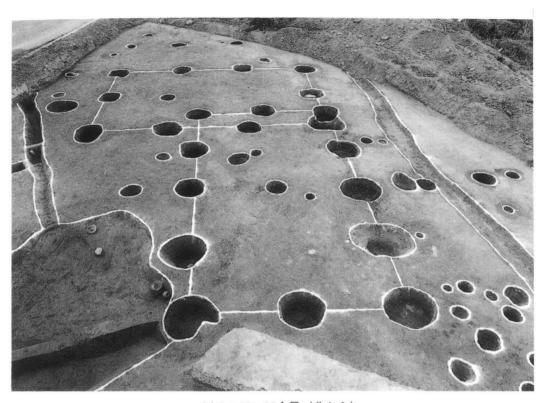
(2)B₃地区遠景写真(北から)



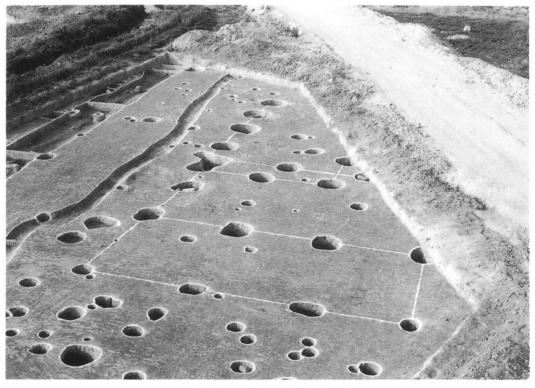
(1)SB01全景(北から)



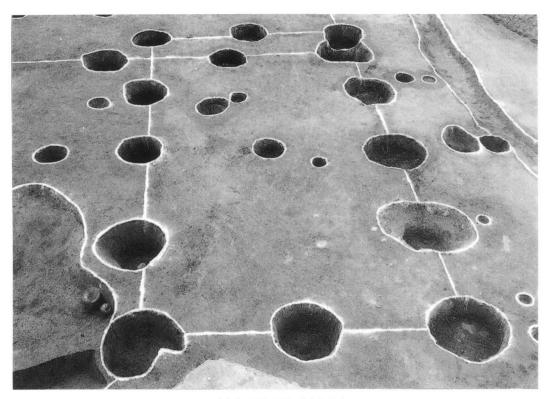
(2)SB01近景(東から)



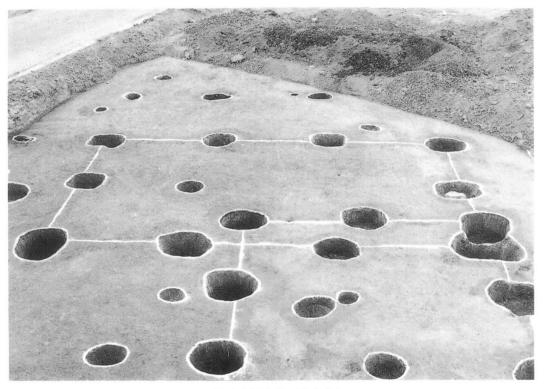
(1)SB02・03全景(北から)



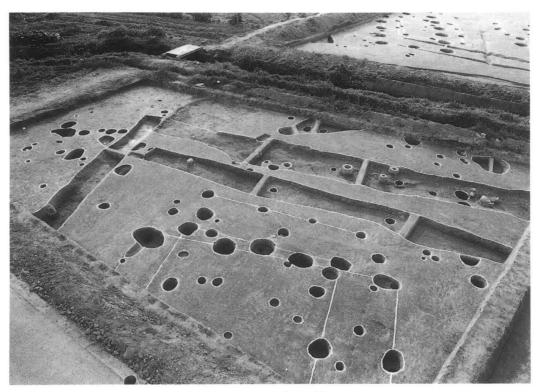
(2)SB02・03全景(南から)



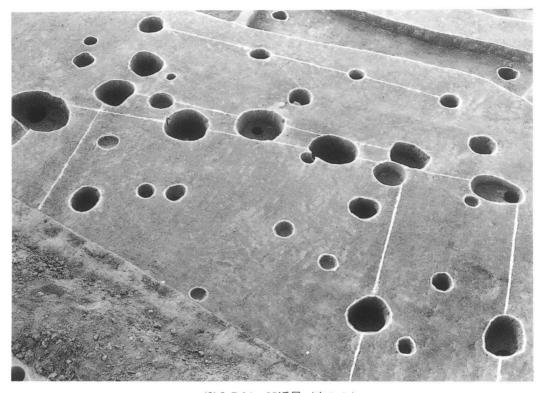
(1)SB02全景 (北から)



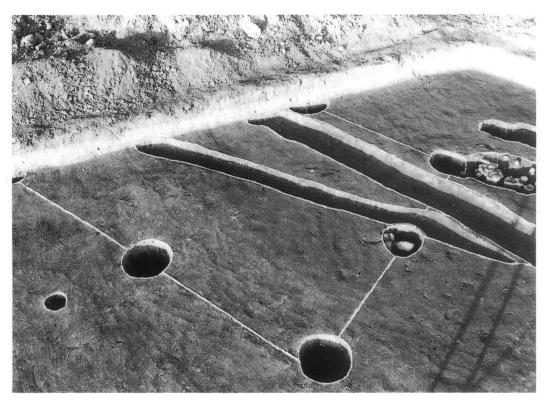
(2)SB03全景 (北から)



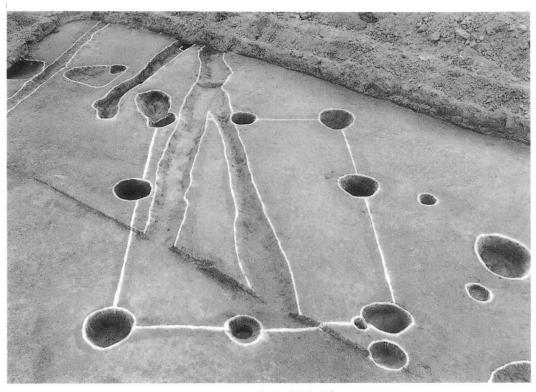
(1)SB04・05全景(東から)



(2)SB04・05近景 (東から)



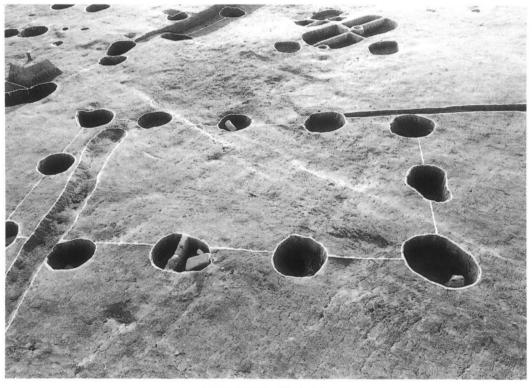
(1)SB06近景(南から)



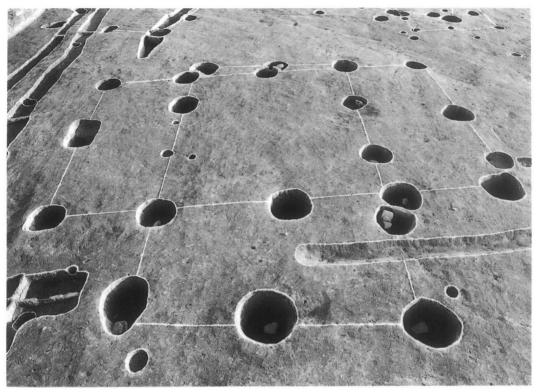
(2)SB06全景 (北から)



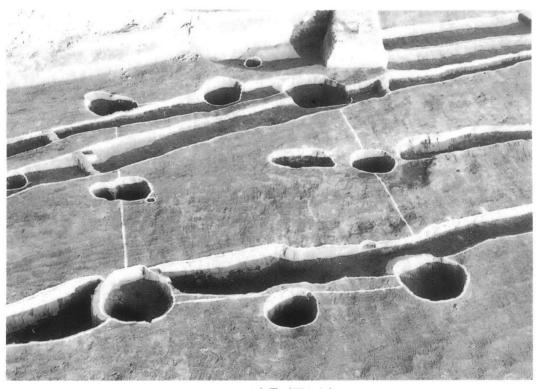
(1)SB07全景 (東から)



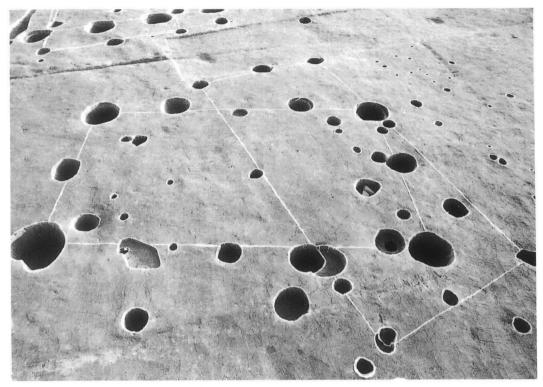
(2)SB07近景 (東から)



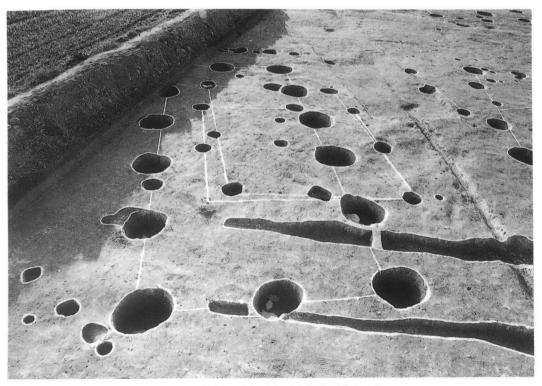
(1)SB08・09全景(北から)



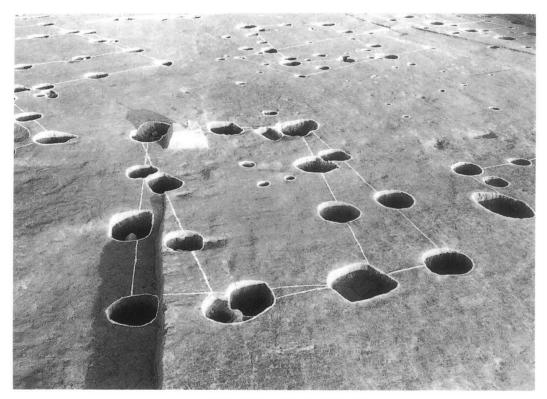
(2)SB10全景 (西から)



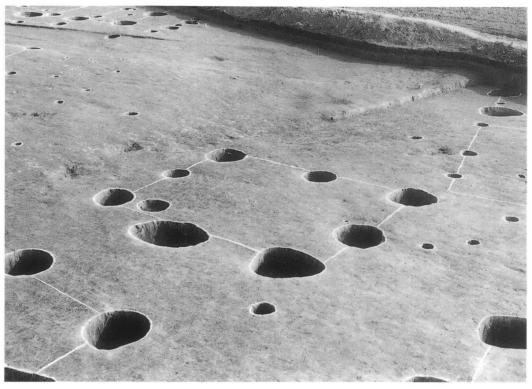
(1)SB11・12全景(北から)



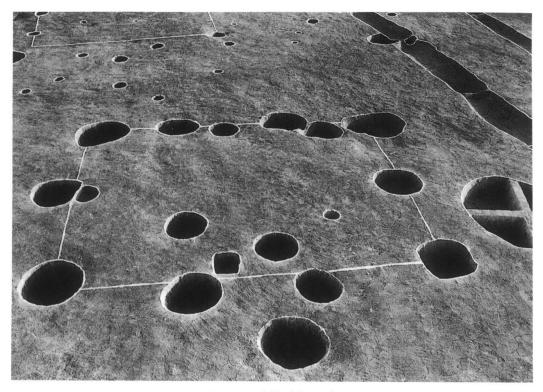
(2)SB13・14・15全景(東から)



(1)SB16・17全景 (西から)



(2)SB18全景 (北から)



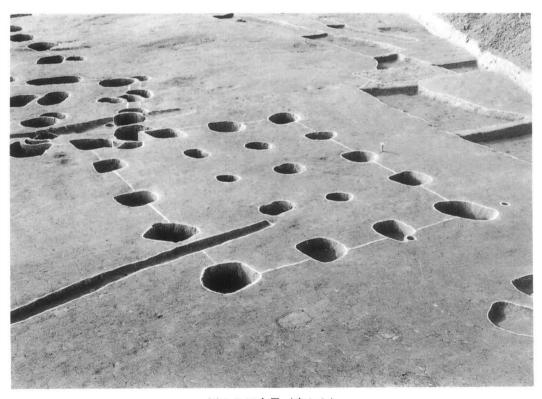
(1)SB21全景(北から)



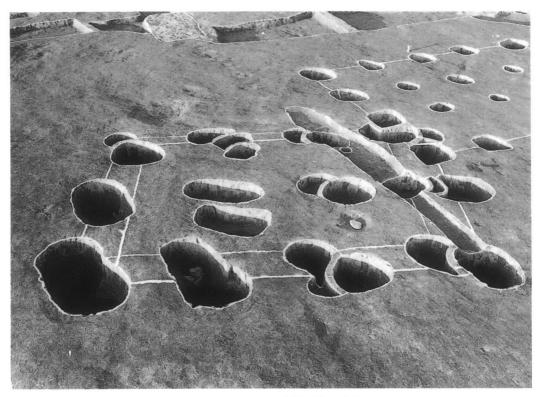
(2)SB22~25全景(東から)



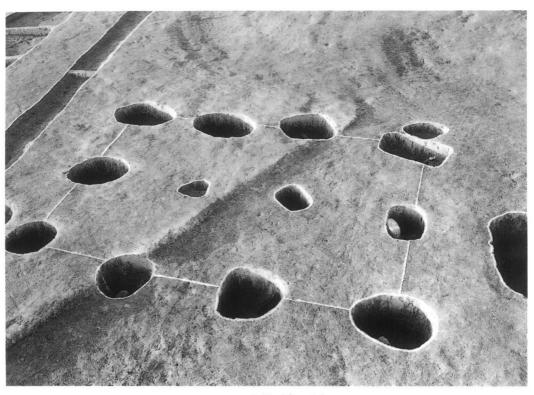
(1)SB22全景(南から)



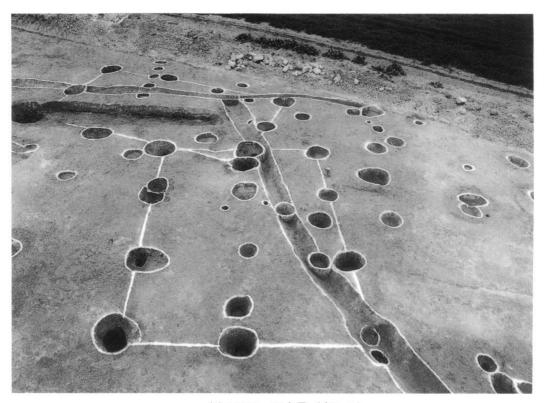
(2)SB22全景 (東から)



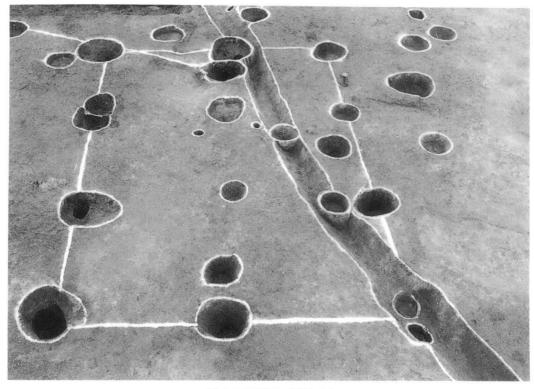
(1) S B 23・24全景(南から)



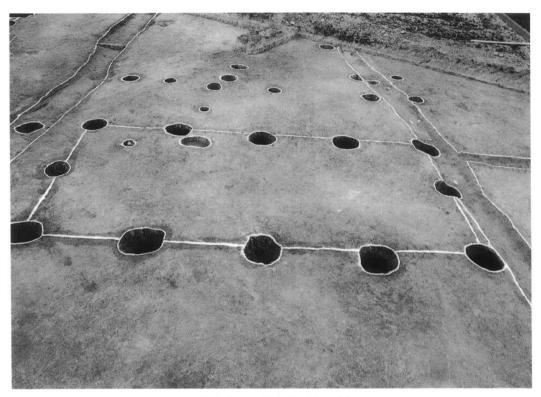
(2)SB25全景(南から)



(1)SB26・27全景(南から)



(2)SB27近景(南から)



(1)SB28・29全景(南から)



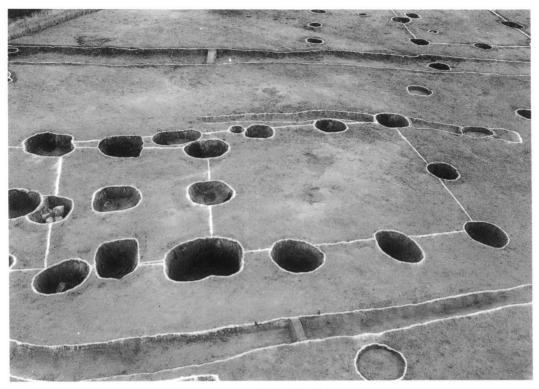
(2)SB31・32・33全景(南東から)



(1)SB30・31・32全景 (西から)



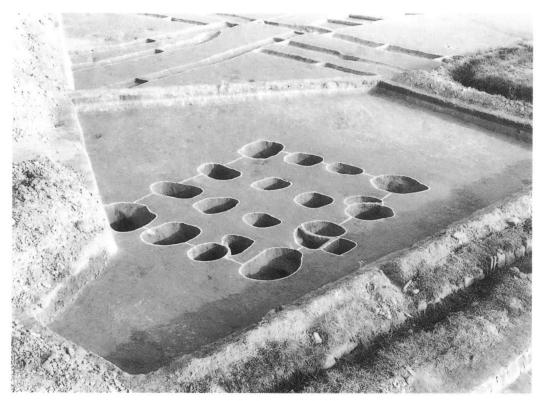
(2)SB31近景(西から)



(1)SB32近景 (西から)



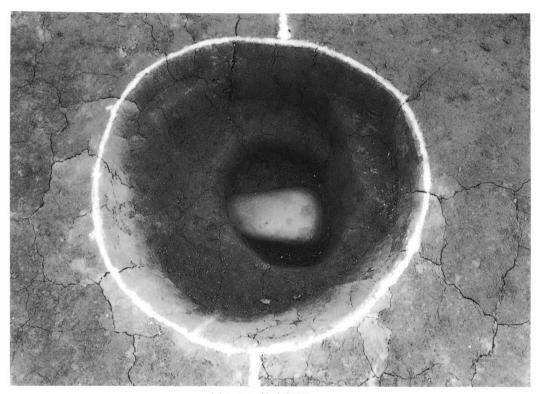
(2)SB33近景 (東から)



(1)SB34全景(北から)



(2)SB34全景 (南から)



(1) S B 13柱穴根石



(2) S B 09柱穴根石



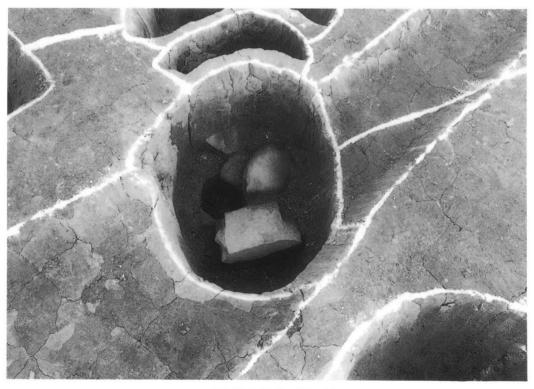
(1) S B 08柱穴根石



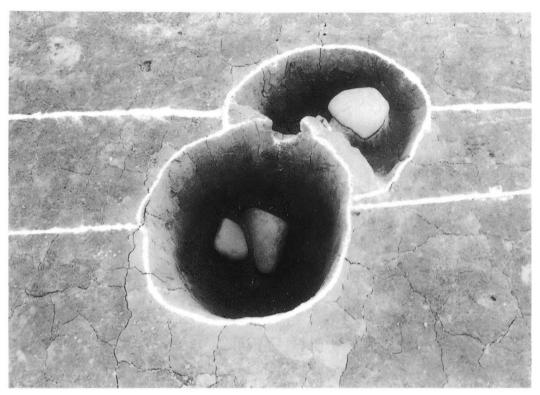
(2)SB07柱穴詰石(南から)



(1)SB08・09柱穴詰石 (西から)



(2)SB24柱穴詰石 (西から)



(1)SB08・09柱穴詰石(北から)



(2)SB25柱痕検出状況(西から)



(1)SK01 (北から)



(2)SK26 (西から)